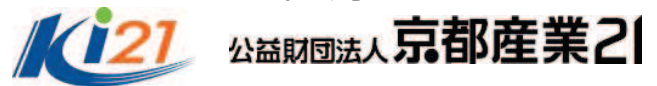


2026年度 事業計画書

2026年3月



2026年度事業計画書概要

2026年度は「第6次中期計画」の3年目
「共感・共鳴・共創」をモットーに、さらなる連携により伴走支援を強化

I ワンストップ相談サービス

- ・「ワンストップ相談センター（R7/4開設）」に新たに「生産性向上支援センター」を開設
- ・府補助事業も活用し、人手不足時代に対応した中小企業の生産性向上を支援強化

II 販路開拓支援

- ・「京都ビジネス交流フェア・西日本広域商談会」（従来を刷新しR8/2開催）の確実な成果獲得
- ・さらなる集客の質と量の向上とマッチング拡大に向け次回バージョンアップ

III イノベーション推進

- ・ATVK 立地10社の本格稼働と歩調を併せ、多様な企業・ヒトの交流により成果を創出
- ・半導体振興「半導体マップ」を活用「冷却技術」等強みを活かし半導体産業へ参入促進
- ・スタートアップ エンジェルコミュニティ交流会や資金支援を通じ伴走支援を強化

IV 地域活性化（拠点支援）

- ・北部やけいはんなで地域の企業・スタートアップの強みを活かしビジネスマッチング促進
- ・特に北部では若手人材の確保・定着を支援強化。けいはんな万博の成果を積極活用

V その他の産業振興

- ・中小企業の成長促進、物価高騰・人手不足対策等中小企業の課題に対応し補助事業を実施
- ・試作や航空・宇宙、自動化支援分野にチャレンジする中小企業グループを支援

VI 総務

- ・財団バックオフィス分野のDX化を推進（給与・経理システムの導入等完了、補助金事業のDX推進等）により業務を効率化し、支援能力を最大化

2026年度 事業計画

目 次

事業計画

1 要約版	4
I ワンストップ相談サービス	
1 窓口相談等	9
2 京都府よろず支援拠点	11
3 計画策定・認定事業	12
4 専門家派遣事業	12
5 京都府中小企業応援隊事業	13
6 金融・経営一体型支援体制強化事業	13
7 プロ人材の確保支援	14
8 プロフェッショナル人材活用補助金	16
9 中小企業と大企業との交流会	16
10 事業承継支援	16
11 (補助金) M&A 型事業承継支援補助金	18
II 販路開拓支援	
1 ビジネスマッチング支援	19
2 ビジネス交流フェア 2027	21
3 西日本合同広域商談会 2027	21
4 海外販路開拓支援	22
5 景況調査	23
6 京都中小企業技術顕彰	23
III イノベーション推進	
1 アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都	25
2 ATVK イベントの実施	27
3 ATVK 専門部会の開催	28
4 半導体産業の振興	28
5 フードテック産業の振興	32
6 医療・介護分野への参入促進 (京 MED)	34
7 スタートアップ支援	37
8 京都エンジェルコミュニティ交流会等	39
9 地域活性化雇用創造プロジェクト	39

IV 支援拠点	
1 KICK 管理運営	41
2 京都経済センターの管理運営	44
3 北部地域産業の活性化	46
4 北部地域産業の活性化（研修事業）	48
5 北部商談会	48
V その他の産業振興推進	
1 （補助金）京都エコノミックガーデニング支援強化事業	49
2 （補助金）「産学公の森」推進事業	50
3 （補助金）共創型ものづくり等支援事業	51
4 （補助金）海外出願支援事業	51
5 （補助金）米国関税措置緊急対策事業	52
6 （補助金）経営基盤強化推進事業費補助金・奨励金	52
7 （補助金）賃上げ実現緊急支援事業	53
8 経営人材育成事業	53
9 （補助金）京都府生産性向上・人手不足対策事業	54
10 伝統産業等の振興	54
11 試作産業の振興	55
VI 総務	
1 評議員会理事会の運営	55
2 新春事業	56
3 中小企業地域資源活用等促進事業	56
4 広報・情報提供事業（クリエイティブ、HP、メルマガ等）	57
5 財団内部のDX推進	57
6 職員の人材育成	58
7 第6次中長期計画の推進	59
支援成果事例一覧	60
業務改善一覧	62
8 財団概要	64
イベント表 2025年度事業実績	65
2026年度事業計画	74

I-1 生産性向上支援センターの設置 ②6 事業計画 2

新規

課題と対応

- 深刻な人手不足や労働力供給の逼迫に対応するため、中小企業ワンストップ相談センターに「生産性向上支援センター」を新設
- 府の補助金も活用しながら、複数回の現場訪問を基本とした徹底した伴走支援によって、中小企業の省力化等を通じた生産性向上を阻害する諸課題の解決を支援

2026年取り組む項目

2026年度KPI

生産性向上（特に労働投入量の効率化）取組計画に基づく伴走支援の完了数

40社

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ・ センターの開設及び府生産性向上補助金の実施
- ・ 支援案件の掘り起こし・広報
- ・ 生産性向上取組計画策定支援（140社）
- ・ コーディネータ（サポーター）による伴走支援

中小企業等の生産性向上を徹底的に伴走！
国がよらず支援拠点内で実施する無料の支援です。

2026年4月開設予定

中小企業、小規模事業者の
「よろず」支援拠点
生産性向上
支援センター

こんな悩みを
ひとりで抱えて
いませんか？

- ☑ 「残業が減らず、人が定着しない…」
- ☑ 「本当は見直したいが、手作業が当たり前に…」
- ☑ 「忙しさに追われ、改善に手を付けられない…」

生産性向上支援センターは、中小企業等の皆さまに寄り添い、
「今の現場に合った」次の一歩を一緒に考えます。

- ① 生産性向上の「プロ」支援
生産性向上に関する知識豊富な「プロ」が、現場に合った「次の一歩」を一緒に考えます。
- ② 無料・複数回の現場訪問
「相談したいけれど…」そんな場合でも、ご安心ください。サポーターが何度も、無料で、現場へ伺います。
- ③ 補助金活用にもメリット
センターの支援を受けると、府産出補助金（一部）の採算審査において優待が受けられます。（※要）

質問・相談・予約は、
お近くの「よろず支援拠点 生産性向上支援センター」まで、お気軽にお問い合わせください。

お近くの拠点を探す <https://yoroazu.jp/qa/pbase/>

センターで働きたい方はこちら <https://yoroazu.jp/qa/recruit/>

※ 補助金の申請、採算審査は別途必要です。 ※ 採算審査は補助金・補助金申請書提出後、採算審査委員会にて採算審査が行われます。採算審査の結果、採算が認められれば、補助金の申請が認められます。 ※ 採算審査の結果、採算が認められれば、補助金の申請が認められます。採算審査の結果、採算が認められれば、補助金の申請が認められます。

I-7 プロ人材の確保支援 ②6 事業計画

2025年度取組結果

外部人材の活用による地域企業の経営課題解決等を後押しするための人材マッチングのサポートを実施
2025年度実績：成約件数277件（一般プロ人材123件、副業・兼業154件。前年度比156%）
副業人材活用促進のための新規補助金（補助率8/10）により副業人材の成約数が増加

2025年度からの課題

一般プロ人材（常勤雇用）の成約件数は高水準を維持するも取次件数は低調
関係機関とさらなる連携による支援や展示会、SNSの活用等認知度向上の取組が必要

2026年取り組む項目

2026年度KPI

自社の企業価値を高めるために必要なプロフェッショナル人材（中核人材）の確保を支援
《通年実施》

250件（156件^②）

- ① 企業訪問や専門家派遣等を通じて、企業の課題抽出や解決に向けた助言等を実施
- ② 大企業との連携や副業兼業人材の活用等《大企業との交流会 年1回実施》
- ③ 金融機関、民間人材ビジネス会社、支援機関、業界団体等とのプラットフォームの強化



KPI達成に向けた具体的なアクション

- ① 特に北部の中小企業のスタートアップ、伝統産業等経営課題解決を重点支援
- ② 商工会・会議所と連携した副業・兼業を中心とした個別相談会の実施
- ③ 副業・兼業人材活用促進事業補助金（40,000千円）の重点的活用

2025年度
《大企業との交流会》

ワンストップ相談サービス

I-10 事業承継支援 ②6 事業計画

2025年度取組結果

「京都企業～承継ナビ」（後継者マッチングプール）や補助金を活用した「後継希望者」と「後継者不在事業者」とをマッチングし伴走支援を実施

2025年度実績：マッチング件数18件（前年度比58%）、同成約件数5件（前年度比56%）

2025年度からの課題

新規後継希望者が減少：2024年度17名→2025年度10名
事業承継を希望する問い合わせは減少・事業承継支援機関との連携頻度の減少

2026年取り組む項目	2026年度KPI
第三者承継の推進《通年実施》 ① 承継人材の掘り起し強化 ② 業界団体との連携による後継者を求める企業の発掘強化 ③ M&A型事業承継支援補助金による承継企業への支援等	マッチング件数25件（18件②） 同成約研修5件（5件②）



2025年度 京都老舗の会と共催 事業承継セミナー

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ① 商工会・会議所、中央会事業承継支援機関との連携強化による企業の掘り起し
- ② 「M & A型事業承継支援補助金（5,000千円）」による承継企業への支援
- ③ 財団内のマンパワーの強化支援

販路開拓支援

II-1 ビジネスマッチング支援 ②6 事業計画

2025年度取組結果

特別展を伴った京都ビジネス交流フェア2026、2県が新規参加する西日本合同広域商談会2026を開催

成功事例：ビジネス交流フェア2026 (2/18,19)
 成果：参加201企業・24団体は過去最高、来場者数5,800人から6,200人と約7%増
 ★特別展を設けるなど、明確な目的を伴った来場者を増やす工夫が功を奏し、商談の質的向上を図った※

2025年度からの課題

- ① 中小企業の受注機会の一層の創出
- ② 新規顧客獲得に先立ち、重点顧客を明確にした上での獲得支援

※25年度のビジネス交流フェア、広域商談会、※3月後半より本格的なフォロー調査を開始し、KyotoJapanの各事業は年度末集計 新年度初旬にかけて結果を取りまとめる

2026年取り組む項目	2026年度KPI
企業訪問数および、フェア等を通じた中小企業の受注機会の創出によるマッチング件数の増加	3,600件（739件※） 2026年1月末現在

KPI達成に向けた具体的なアクション

- 個別マッチングを強化⇒日常の企業訪問増加
- ビジネス交流フェアを進化⇒発注企業等の優良来場者の増加と新規マッチング促進
- 広域商談会を活用した発注企業招致 ⇒ 新規発注先の獲得
・参加府県の更なる拡大を図り、各府県と協力して新たな発注企業の開拓を推進

2026年度は、「京都発・グローバルニッチ戦略展」は名称・テーマを再考のうえで開催し、来場者の質的向上を一層図る

2025年度取組結果

多様な国への販路開拓にチャレンジ

- ・共同出展事業
(インドIMTEX、NEPCON ASIA(深圳)、METALEX VIETNAM 2025)
- ・「京都POP UPストア」を世界11カ所に設置
- ・バイヤー招聘事業→京都ビジネス交流フェアにも招聘

成功事例① 海外出展 3回

成果: 海外出展におけるマッチング件数121件 (前年54件)

成功事例② 初のインドでの共同出展 (工業系6社)

~人口増や産業発展を見据え~

成果: 出展者の1社はインド進出に向けて本格準備開始
他5社も現地企業との連携に向けてコンタクト継続中

2025年度からの課題 (京都企業にマッチする国・展示会の探求)

- ①工業系でのインド出展は手応えがあったが実商談に向けてステップが必要
- ②伝統工芸は展示先の海外で感触は良好、さらなる販路拡大の工夫を要す

2026年取り組む項目

2026年度KPI

海外関連マッチング件数

130件 (121件②)

海外関連成立件数

5件 (3件②)

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①出展前の周到な事前準備
- ②展示会中のきめ細やかな対応 (現地言語によるチラシ配布、視認性工夫等)
- ③出展後のフォロー
- ④海外へ挑戦する府内中小企業の開拓



[2025: IMTEX FORMING KYOTOブース]



[2025: NEPCON ASIA KYOTOブース]

2025年度取組結果

入居企業 全区画10社操業を目指したが6社操業
ビジネス交流博から入居企業コラボ、アートコラボ創出
部会から5つのコラボ・イベント (寺CAREアート等) 開催

濱田プレス工藝株式会社 (立地企業)

京都大学土佐先生とのコラボのデジタルサイネージドレスを万博・ビジネス交流博でPR
成果: 立地企業との具体的なマッチング創出
今後の進展に期待

2025年度からの課題

- ①入居企業を核としたアート視点でのさらなる協業の創出
- ②入居企業以外での活動からの協業・自主財源獲得



万博会場での展示発表

2026年取り組む項目

2026年度KPI

部会・アートコラボ・産業21連携等の協業プロジェクト創出

10件 (8件②)

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①立地企業町内会開催等から財団が支援しての協業: 3件
- ②部会・財団連携からの協業創出: 4件
- ③ATVK博等のイベントからの協業: 3件

・自立運営に向けた収入増加の取組強化

若手経営塾等の開講による収益確保
連携事業推進から協賛金獲得、外部へATVKのPR強化で施設利用増加

入居企業の状況

準備中	整備中	操業済		
(株)シロク	ヘッドスプリング(株)	濱田プレス工藝(株)	HESTA大倉(株)	アンカーシップ・パートナーズ(株) [竣工済]
(株)日本サルベージサービス [部分操業]	KANA YA(株)	マクセル(株)	KPMGコンサルティング(株)	日本テレネット(株)

イノベーション
推進

Ⅲ-4,5 半導体産業の振興 ②6 事業計画

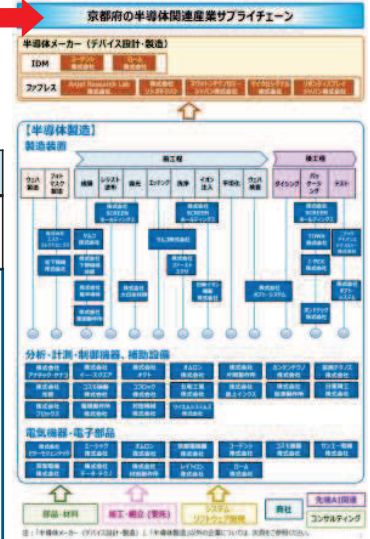
2025年度取組結果

先期開催セミナーから課題解決：最新の「冷却技術研究会」
最新動向把握・マッチング：SEMICON展示会2回、
フォーラム2回、サロン8回、セミナー1回

冷却技術研究会(2026.2/2)参加企業27・団体37
成果：具体的マッチング機会創出
連携・マッチング要望(25件)
企業間オープンイノベーション期待

2025年度からの課題(半導体マップ活用)

- ①新たな課題抽出と支援展開
- ②課題テーマに沿ったセミナー・サロン開催からの支援(研究会)



2026年取り組む項目	2026年度KPI
半導体振興での研究会等の連携事例及び中小企業参入のためのチャレンジプロジェクトの実施件数	6件(5件 ^②) 2026年1月末現在

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①半導体マップからの課題抽出・解決(マッチング支援)1件
- ②光半導体技術研究会の発足(SU・産学連携):1件
- ③冷却研究会継続:1件
- ・半導体産業参入のための最新動向把握等で振興事業継続
SEMICON Taiwan・SEMICON JAPAN出展、半導体サロン・セミナー開催、
ビジネス交流フェア特別展継続(イベント行事で計3件)

イノベーション
推進

Ⅲ-6 フードテック産業振興 ②6 事業計画

2025年度取組結果

31社の食品企業訪問から課題抽出→解決提案
伴走支援等の連携事例7件
食品製造業情報発信：ビジネス交流フェアフードテック特別展

株式会社本田味噌本店への支援
中技セン食品工場自動化セミナーからの支援
成果：同社とチーム京都との協業創出
工場内の生産性向上に補助金支援で最適提案
同社と綾部市立吉美小学校とのマッチング

2025年度からの課題(31社食品企業訪問から)

- ①「部分最適の自動化」→「全体最適の自動化」へ
- ②手作業の工程や重労働工程の対策後回し。設備投資費用が不足
- ③同業・他社との交流がなく閉鎖的で情報不足



2026年取り組む項目	2026年度KPI
フードテックの連携事例・連携体組成件数	5件(7件 ^②) 2026年1月末現在

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①試作ネットやチーム京都等の連携で最適化提案:2件
- ②動力を使わない投資費が安いからくり改善で設備導入推進:1件
- ③中技センと協業セミナー、展示会出展等:2件
- ・食品商品全体のフードテック対応
京都府農林水産部企画連携10月：フードテックEXPO



イノベーション
推進

Ⅲ-8 スタートアップ支援 ②⑥事業計画

2025年度取組結果

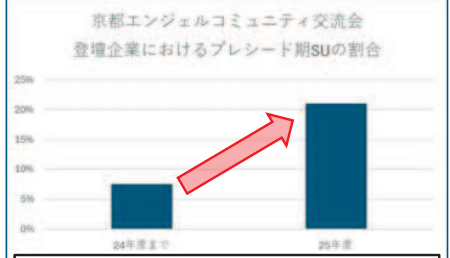
エンジェルコミュニティ交流会3回（13社）、スター創生事業1回（5社）開催。大手企業プロ人材マッチング7件（目標3件）補助金活用支援（件数比率）47.7%（目標50%）以外KPI達成

株式会社MOXY

生分解性ポリマーの超精密3Dプリンタ
成果：事業コンセプト立案・経営資金の調達等、交流会登壇から財団他部門連携や日本政策金融公庫からの経営資金の獲得支援

2025年度からの課題

- ①プレシード期寄りのSU企業発掘強化
- ②資金調達が難しいプレシード期SUへの調達支援



2026年取り組む項目	2026年度KPI
有望スタートアップ早期掘り起こし	19社（13社 ^㉕ ） 2026年1月末現在
伴走支援	57件（40件 ^㉕ ） 2026年1月末現在

GAPファンド等を絡めた大学への早期アプローチを実施しエンジェルコミュニティ登壇企業の2割強がプレシードSUに。更なる強化

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①プレシード期SU企業の早期発掘に向けた大学等との連携
- ②財団の補助金獲得からの支援
他機関、金融機関・VCとの個別マッチング
（新規）財団の資産運用益からの資金支援
- ・京都府のスタートアップ創出事業に協力（IVSや展示会出展等）

拠点支援

Ⅳ-3 北部地域産業の活性化 ②⑥事業計画

2025年度取組結果

- ・ものづくり人材の育成・確保
- ・宇宙産業進出を目指す新規入居企業の誘致
- ・研修事業56回開催（^㉔57回）

成功事例①：研修事業受講者数増加 801人←^㉔672人
成果：受講者は増加し北部人材育成に貢献
成功事例②：北部商談会 2回開催予定（3月に1回）
成果：商談会＋工場見学を実施

2025年度からの課題（北部地域の特色を捉えた支援）

- ①産業の地域性を理解した商品開発等支援の重要性（繊維・食品重点）
- ②不足するリソースを保管する異業種マッチングが必要
- ③宇宙産業進出を目指す企業の掘り起こしとマッチング支援



新入社員研修

2026年取り組む項目	2026年度KPI
新商品・新技術開発等への伴走支援件数	3件（3件 ^㉕ ） 2026年1月末現在



ものづくり基礎技術習得研修

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①企業訪問等によるニーズ把握の強化
- ②若手人材の企業へ定着率向上に焦点を当てた人材育成を充実
- ③北部での展開が期待される航空宇宙産業進出に向けた伴走支援

お客様相談室は、京都府よろず支援拠点を活用しつつ、財団内外との連携強化して
迅速な中小企業の課題解決を支援

○連携：同席面談、同行訪問

KPI (お客様相談室)	2025年度目標	実績 ※2026年1月末現在	(参考) 支援開始数
(1) 財団内外との連携による課題解決数*	30件	31件 (㊤14件)	54件 (㊤30件)
(2) 事業実施後のフォローによる課題解決数*	15件(㊤5件)	17件 (㊤13件)	26件

*「課題解決」とは、相談者が財団に相談をした当初の目的（足元の課題）の達成・解決とする。収益力の強化、経営者の自走化を促す全社的な本質的な経営課題解決支援に限るものではない。

<参考> お客様相談室 相談実績 (2026年1月末現在 189社291件 (㊤ 144社393件))

<取組>

○さらなる組織内外との連携強化

- ・組織改正による、お客様相談室・よろず支援拠点・事業継続創生支援センターの一体化 (中小企業ワンストップ相談センターの創設)
- ・定期的な連携会議の開催等による、財団内他部門との連携強化

○計画策定や技術顕彰受賞企業等へのフォローアップ強化

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	㊤4,690 千円 (府補助金ほか)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	4	2	3

財団内外連携による事業継続・営業人材獲得の支援

有限会社美住電線商会

きっかけ・課題

電線や部材の卸売・加工販売を行う小規模事業者。売上減少の中、代表者が病気で倒れ、事業継続が危ぶまれる状況の中で金融機関の紹介を受け相談。

- ◆最優先課題：営業に強い人材の確保
- ◆課題：売上・販路拡大



支援内容

緊急性が高いため週1回ペースでの財団内外連携による支援を開始

<お客様相談室>
・支援全体への同席
・採用面接への同席、不慣れなIT操作等への丁寧なサポート

<よろず支援拠点>
・求める人材像の整理、報酬設計、面接質問の整理、採用面接への同席、応募者の選定、採用後の営業の支援

連携

<事業継続・創生支援センター>
・求人票作成を含む副業人材マッチング制度活用や補助金活用の支援

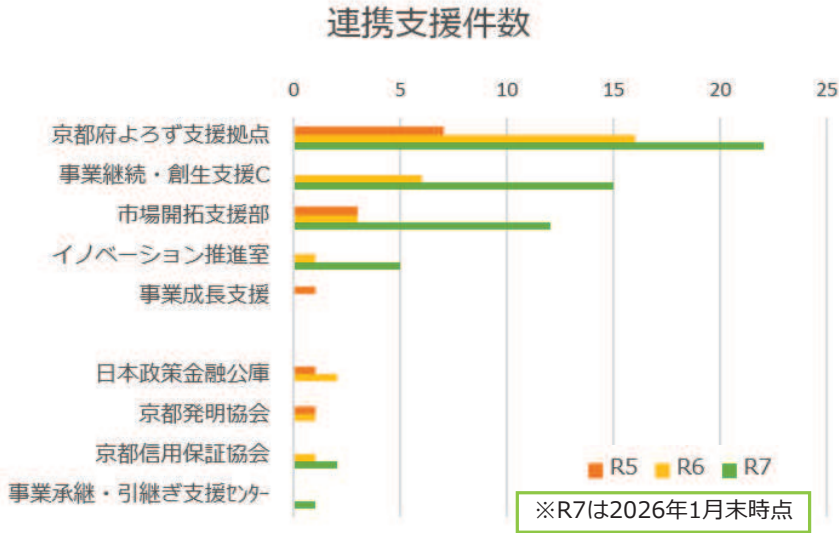
<金融機関>
・支援面談への同席
・販路先紹介

成果

- ・応募者約20名
- ・納得する営業人材の採用に成功
- ▶7社へ営業を展開→1社成約
- ▶採用人材にて販促物作成や市場調査までカバー
- ▶従業員が明るくなった

1. 分析

連携支援件数が増加 : ②④30件 → ②⑤54件 (26年1月末時点)
 連携支援による課題解決件数が増加 : ②④14件 → ②⑤31件 (26年1月末時点)



○中小企業ワンストップ相談センターに集結した、お客様相談室、よろず支援拠点、事業継続・創生支援センターの連携が促進 (1.7倍に増加)

【よろず支援拠点との連携】
 営業・販売方法、原価計算・管理が多い傾向
 【事業継続・創生支援センターとの連携】
 IT人材確保、営業・販売人材確保が多い傾向

○事業実施後のフォローによる課題解決をする場合、お客様相談室単独解決よりも財団内外との連携支援による解決が多くなる傾向 (2.8倍)

2. 評価

課題解決のための連携支援が加速

○お客様相談室、京都府よろず支援拠点及び事業継続・創生支援センターを「中小企業ワンストップ相談センター」として一体化し、中小企業等の抱える人材確保や生産性向上、売上拡大等の課題の迅速な解決を実施

2026年度 KPI (お客様相談室)	目標
(1) 財団内外との連携による課題解決数*	35件(②⑤30件)
(2) 事業実施後のフォローによる課題解決数*	20件(②⑤15件)

*「課題解決」とは、相談者が財団に相談をした当初の目的 (足元の課題) の達成・解決とする。収益力の強化、経営者の自走化を促す全社的な本質的な経営課題解決支援に限るものではない。

KPI達成に向けた具体的なアクション

○さらなる組織内外との連携強化

・事業者からの相談を起点に、中小企業ワンストップ相談センター内の連携をはじめ、財団内外との情報共有や意見交換等を行い、連携による実効性の高い課題解決を生み出すハブ機能を強化

○計画策定や技術顕彰受賞企業等へのフォローアップ強化

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	5,734千円 (府補助金ほか)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	4	2	3

新規

課題と対応

- 深刻な人手不足や労働力供給の逼迫に対応するため、中小企業ワンストップ相談センターに「生産性向上支援センター」を新設
- 府の補助金も活用しながら、複数回の現場訪問を基本とした徹底した伴走支援によって、中小企業の省力化等を通じた生産性向上を阻害する諸課題の解決を支援

2026年取り組む項目

生産性向上（特に労働投入量の効率化）取組計画に基づく伴走支援の完了数

2026年度KPI

40社

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ・ センターの開設及び府生産性向上補助金の実施
- ・ 支援案件の掘り起こし・広報
- ・ 生産性向上取組計画策定支援（140社）
- ・ コーディネータ（サポーター）による伴走支援

2026年4月開館予定

中小企業等の生産性向上を徹底的に伴走！
国がよらず支援拠点内で実施する無料の支援です。

中小企業 小規模事業者の
「よろず支援拠点」
生産性向上支援センター

こんな悩みを
ひとりで抱えて
いませんか？

- ☑ 「残業が減らず、人が定着しない…」
- ☑ 「本当は見直したいが、手作業が当たり前になっている…」
- ☑ 「忙しさに追われ、改善に手を付けられない…」

生産性向上支援センターは、中小企業等の皆さまに寄り添い、
「今の現場に合った」次の一歩と一緒に考えます。

- ① 生産性向上の「プロ」支援
生産性向上に関する知識豊富な「プロ」が、現場に合わせた「よろず」の一歩と一緒に考えます。
- ② 無料・複数回の現場訪問
「相談したいけれど…」そんな場合でも、ご安心ください。サポーターが何度も、無料で現場へ伺います。
- ③ 補助金活用にもメリット
「よろず」の支援を受けると、府の生産性向上補助金（一歩助）の採択審査において加点が図られます。（予定）

質問・相談・予約は、
お近くの「よろず支援拠点 生産性向上支援センター」まで、お気軽にお問い合わせください。

よろず支援拠点一覧 <https://yoroazu-am.jp/gp/base/>

センターで働きたい方はこちら
サポーター公募情報 <https://yoroazu-am.jp/gp/recruit/>

中小企業診断士・弁護士・税理士・社労士・IT・デザイン等の専門家が、中小企業・小規模事業者、創業予定者等の売上拡大や経営改善など、経営上のあらゆるお悩みの相談に対応。本部及び京都経済センター内に相談窓口を設置し、ワンストップ相談サービスを充実。

【主な実績】	項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (26年1月末)
	相談対応件数（件）	3,543	4,956	3,963	5,420	3,263	4,180	5,269
	来訪相談者数（者）	1,825	1,277	1,277	1,478	1,677	2,904	3,211
	成果確認件数*（件）	135	238	236	297	380	118	238
	ネットワーク活動件数（件）	247	197	173	192	346	503	461

※よろず支援拠点全国本部のカウントに基づく数値
「相談対応件数」は㉔カウント方法の変更により減少、㉕カウント方法変更により増加傾向
*成果確認件数…従来の課題解決件数にかわり24年度から導入。カウント方法が変わるとともにカウント開始が最低四半期経過後の翌月からとなったため24年度の件数は減少。

<2026年度 課題・計画>

- 利益拡大・成長を目的としたフェーズ2支援の本格化
- 経済的インパクトが見込まれる事業者への重点支援
- 生産性向上に向けた伴走支援の実施

担当部門	お客様相談室（よろず支援拠点）			
予算額（財源）	149,207千円（国受託金）			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	2	40-50	3

中小企業研究開発等応援事業等

「京都府中小企業応援条例」に基づく研究開発等事業計画の認定や「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画の承認に係る相談、助言からフォローアップまで

<2025年度 計画>

申請前支援の強化により、スムーズな申請に繋げ、申請数及び、承認・認定事業者を増やす。
承認・認定後の計画実行時における伴走支援の強化により、計画の実現性の向上に繋げる。

<2025年度（～2026年1月末まで）の主たる実績>

- ①京都府元気印中小企業認定制度 認定企業数20件（⑳28件）、<新>過年度認定企業実行支援5件
②経営革新計画承認制度 承認企業数11件（⑳26件）、<新>過年度承認企業実行支援11件

<2026年度 課題・計画>

- 事業者への制度紹介の強化
 - ▶財団全体で制度理解を高めることで、事業者への制度紹介機会を拡大し、必要としている事業者が制度を活用できる体制を構築する。
- 計画の実現性の向上
 - ▶過年度承認・認定企業への実行支援を強化する。
- 各振興局との連携を強化
 - ▶各振興局の担当者変更時等でも安定した連携が図れるよう、制度運用や企業支援に関する情報共有を行う。

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	2,500千円（京都府補助金）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディ ネータ等	嘱託等
	1	2	2	-

専門家派遣事業等

中小企業者等に経営課題解決のための専門家を派遣

<2025年度 計画>

現在の事業者ニーズを的確に捉え、不足する専門家を随時追加・更新していくことで、迅速に経営課題の解決をはかれる体制を構築し、利用事業者の満足度の向上に繋げる。

<2025年度（～2026年1月末まで）の主たる実績>

- 民間専門家を登録（計163名）し、19社に延60回派遣（⑳29社延93回）
 - 業種：製造業52.6%、小売・サービス業36.9%、その他10.5%
 - 目的：「生産性向上・経営改善」78.9%、HP掲載用写真指導10.5%
 - 内容：経営全般31.6%、ISO26.3%、DX・情報化15.8%

<2026年度 課題・計画>

- 同一事業者の複数課題への対応
 - ▶経営課題が複雑化しているため、より多くの課題解決に資するよう利用ルールの検討を行う。

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	2,250千円 (京都府補助金+負担金収入)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディ ネータ等	嘱託等
	1	1	-	-

京都府中小企業応援隊事業

京都府から委嘱を受けた財団職員が、企業の強みや弱みを把握した上で、経営の安定・改善からイノベーションなどの創出につなげるサポートを実施。必要な先には、中小企業持続経営支援補助金（ステップアップ枠・<新>特別経営支援枠）を交付

<2025年度（～2026年1月末まで）の主たる実績>

■財団応援隊員：80名

訪問支援企業数：1,314社（延べ4,707社）※～2025年12月末まで

窓口支援企業数：1,130社（延べ3,950社）※～2025年12月末まで

補助金（ステップアップ枠） 交付実績：16件、3,196千円（②19件 4,319千円）

<新>補助金（特別経営支援枠） 交付実績：5件、979千円

<2026年度 課題・計画>

○採択後のフォローアップ

▶採択企業に対して定期的なフォローアップを行い、進捗状況の確認と課題の抽出を実施し、必要に応じて次の支援につなげる。

○取組の多様性や先駆性の確保

▶応援隊員が企業の強み・弱み分析を丁寧に行い、企業固有の課題を明確化する

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	5,700千円（京都府補助金）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	35	32	12

金融・経営一体型支援体制強化事業

コロナ禍の影響を受けた企業に対し、金融機関とも連携して事業転換に係る経営相談を実施するとともに、チャレンジ補助金を交付

<2025年度（～2026年1月末まで）の主たる実績>

①専門家派遣回数：383回（②598回）

②中小企業持続経営支援補助金（チャレンジ枠）

確定件数：28件（②36件） 確定額：10,728千円（②18,844千円）

<2026年度 課題・計画>

○資金繰りや経営状況の変化による事業内容変更の把握

▶交付決定後、事業期間中に1回以上の面談等によるフォローを行う

○民間金融機関との連携強化

▶制度活用事例の共有等周知方法を工夫する

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	35,000千円（京都府補助金）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	2	-	1

外部人材の活用による地域企業の経営課題解決等を後押しするための人材マッチングのサポートを実施

項目	2025年度 実績	前年比 (%)	2024年度 実績
全国 6位 成約件数	277	156%	178
一般プロ人材	123	135%	91
全国 2位 副業・兼業	154	177%	87

<取組内容>

(2026年1月末現在)

- ・ 副業人材活用促進のための新規補助金（補助率8/10）により副業人材の成約数が増加
④87件→⑤154件（77%up）
- ・ 経営課題を把握し適切なマッチングを支援

担当部門	事業継続・創生支援センター			
決算見込 (財源)	22,884千円 (京都府受託金・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1 (兼務)	1 (兼務)	4	1 (兼務)

<事例> 副業者と採用企業の声

副業者：経験やスキルを活かせ大きなやりがいを感じた。
企業：当社にない知見を活かしていただき、安心して仕事を任せることができた。

拠点支援

ワンストップ相談
サービス

重点

北部地域産業の活性化 ← プロ人材の確保支援

人材確保が特に困難な北部地域においてプロ人材確保を重点支援

ヒロセ工業株式会社

課題

・ 人手不足が進行する中、プロ人材事業は全体として成果を挙げているが、北中部地域での人材確保支援には依然苦戦

対応

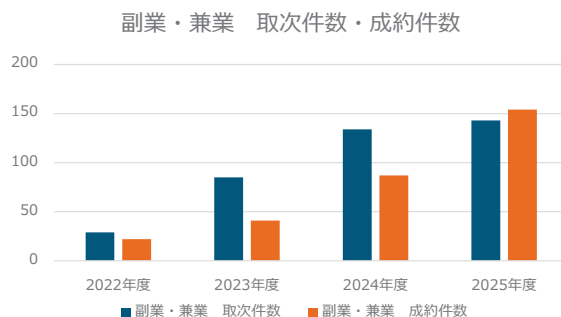
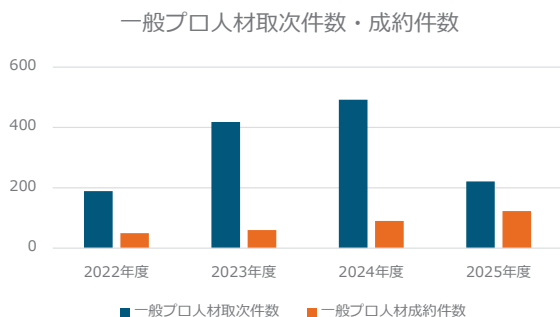
・ 特に北部地域に重点に置き、金融機関や商工会等との連携強化
人材確保セミナーの開催、企業への伴走支援等を通じ、副業を含めたプロ人材確保支援を推進

成果事例

【業種】ヒロセ工業(株) 精密加工を得意とするアルミ材の加工業
【課題】若手職員退職に伴う人材の確保、生産管理と製造ラインを連携させるリーダー人材の確保・育成
【成果】新たな技術職員1名の採用（常勤雇用）を実現
人材育成についても継続中
【要因】住居等受入環境整備に尽力/自社の魅力に加え北部地域全体の魅力発信（地域の職住環境PR）



一般プロ人材（常勤雇用）の成約件数は高水準を維持するも取次件数は低調
副業・兼業の取次件数・成約件数は高水準を維持



(2026年1月末現在)

<課題> 関係機関とさらなる連携による支援や
展示会、SNSの活用等認知度向上の取組が必要

自社の企業価値を高めるために必要なプロフェッショナル人材（中核人材）の確保を支援《通年実施》

- ① 企業訪問や専門家派遣等を通じて、企業の課題抽出や解決に向けた助言等を実施
- ② 大企業との連携や副業兼業人材の活用等《大企業との交流会 年1回実施》
- ③ 金融機関、民間人材ビジネス会社、支援機関、業界団体等とのプラットフォームの強化

2026年度 KPI	
成約件数	250 (156)

※()は前年度KPI
2026年1月末現在

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ① 特に北部の中小企業の経営課題解決を重点支援
- ② 商工会・会議所と連携した副業・兼業を中心とした個別相談会の実施
- ③ 副業・兼業人材活用促進事業補助金（40,000千円）の重点的活用

担当部門	事業継続・創生支援センター			
予算額 (財源)	29,068千円 (京都府受託金・京都府補助金) 40,000千円 (副業・兼業補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1 (兼務)	1 (兼務)	4 (兼務)	1 (兼務)

プロフェッショナル人材活用補助金（一般プロ、副業・兼業）

プロフェッショナル人材を活用した場合の経費補助（紹介手数料、移動費）

<活用企業数>

一般プロ人材	18件	1,800千円
副業・兼業	2件	200千円

担当部門	事業継続・創生支援センター			
予算額 (財源)	2,000千円 (京都府受託金・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1(兼務)	1(兼務)	4	1(兼務)

中小企業と大企業との交流会

中小企業の経営課題等の解決のため、大企業に在籍する人材をアウト、副業等により活用するための交流会の開催

<参加社数>

中小企業	8社
大企業	7社

担当部門	事業継続・創生支援センター			
予算額 (財源)	83千円 (京都府受託金・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1(兼務)	1(兼務)	4	1(兼務)

「京都企業～承継ナビ」（後継者マッチングプール）や補助金を活用した「後継希望者」と「後継者不在事業者」とをマッチングし伴走支援を実施

項目	2025年度実績	前年比(%)	2024年度実績
マッチング件数	18	58%	31
マッチング成約数	5	56%	9

(2026年1月末現在)



「京都企業～承継ナビ」HP
(後継者マッチングプール)

課題解決に時間と手間を要する中、これまでの地道な支援と引継ぎ支援センターやプロ人材との連携・案件の共有による支援を実施

担当部門	事業継続・創生支援センター			
決算見込 (財源)	24,816千円 (京都府受託金・京都府補助金) 5,000千円 (M&A型事業承継支援補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1(兼務)	1(兼務)	3	1(兼務)

本業回帰を企図した事業譲渡 × 後継希望者による事業承継型創業

課題

譲渡側⇒本業（中華料理店）回帰のためコロナ禍に起業したクレープ販売業の事業譲渡を検討
譲受側⇒事業承継（クレープ販売業）による創業を検討

譲受側への支援内容：

- マッチングプールへ後継希望者登録
- 承継候補先の探索に必要な伴走支援
- 日本政策金融公庫創業融資の活用
- M&A型事業承継支援補助金の活用

結果：本業回帰のための事業譲渡と事業承継型創業を同時に実現！

松蕾堂（飲食業（創作京和菓子））



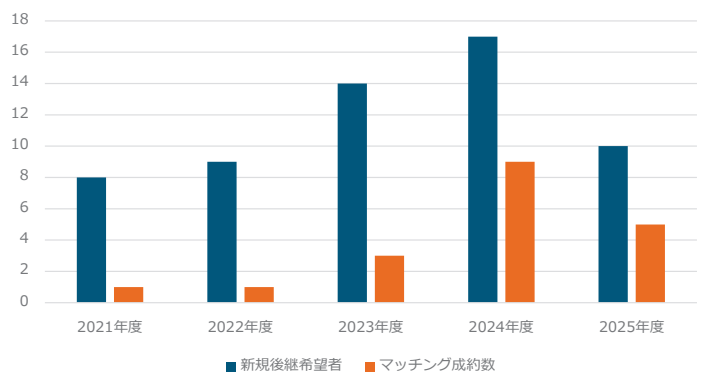
○新規後継希望者が2024年度17名から
2025年度10名と減少傾向

- 要因：
- ・承継ナビへの問い合わせはあるが事業承継を希望する問い合わせは減少
 - ・事業承継支援機関との連携頻度の減少

○マッチング件数、
マッチング成約数が減少

- 要因：
- ・譲受・譲渡企業二一ズの齟齬

新規後継希望者・マッチング成約数



(2026年1月末現在)

○第三者承継の推進《通年実施》

- ①承継人材の掘り起し強化
- ②業界団体との連携による後継者を求める企業の発掘強化
- ③M&A型事業承継支援補助金による承継企業への支援等

2026年度 KPI	
マッチング件数	25 (18)
マッチング成約件数	5 (5)

※()は前年度KPI
2026年1月末現在

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①商工会・会議所、中央会事業承継支援機関との連携強化による企業の掘り起し
- ②「M&A型事業承継支援補助金（5,000千円）」による承継企業への支援
- ③財団内のマンパワーの強化支援

担当部門	事業継続・創生支援センター			
予算額 (財源)	18,632千円 (京都府受託金・京都府補助金) 5,000千円 (M&A型事業承継支援補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ 等	嘱託等
	1 (兼務)	1 (兼務)	2	1 (兼務)

■ M & A 型事業承継支援補助金

事業譲渡や廃業・縮小等中小企業の課題解決のために要する経費補助



(活用企業数)

9件 5,000千円

担当部門	事業継続・創生支援センター			
予算額 (財源)	5,000千円 (京都府受託金・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ 等	嘱託等
	1 (兼務)	1 (兼務)	2	1 (兼務)

新規取引先の開拓、事業拡大、新分野への進出などのビジネスマッチングにより、中小企業の受注機会を創出・拡大に努めた

[ビジネスマッチングの4つの手法]

- ①個別マッチング（取引あっせん）
- ②京都ビジネス交流フェア（出展ブースによる商談）
- ③西日本合同広域商談会（ビジネス交流フェア同日開催）
- ④Kyoto Japan事業（海外販路開拓）

2025年度 KPI	目標		実績	
マッチング件数	3,500	(2,800)	2280	(3,374)
成立件数	300	(280)	211	(282)

※2026年3月末現在の数値を記載
 ※（ ）内は前年度数値

担当部門	市場開拓支援部			
決算見込(財源)	44,489千円(負担金・京都府補助金・全国協会受託金等)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	囑託等
	1	5	2	1

半世紀前の環境測定表示装置の故障復旧のためのマッチング ～老朽化設備修復と地域環境対応の継続～
 日本板硝子株式会社舞鶴事業所 / 共進電機 株式会社

課題

日本板硝子(株)舞鶴事業所の工場管理室からの相談案件。

工場の外に設置している“SO2(二酸化硫黄)測定表示装置”の修理の依頼。
 約45年前に製造の測定数値の電光掲示板式掲示が表示不能となり、当時の装置製造企業からも「修理不可」との回答。本装置を修理できる業者を新たに探す必要が生じた。

支援内容

- ・地域住民との間で協定があり、表示装置の装置普及が急務の状況。
 - ・当時の図面・回路図・仕様書が残るのみ。
- ⇒ 一品物の電気設備を長年手掛けている高い技術力を持った共進電機(株)を選定しマッチングを実施。さらに複数回の打合せと故障箇所・原因の調査から修理まで伴走支援を継続。

成果

- ・現状の姿のまま修理復旧させたい依頼企業の要望を叶える。
- ・短期間で修理を終え、掲示板表示はこれまでと寸分変わらずに復旧。
- ・本件に対応した共進電機(株)は保守の切り札として当社の新たなパートナーとなる。

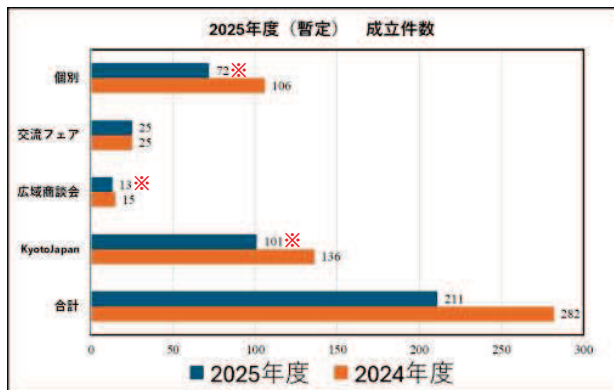
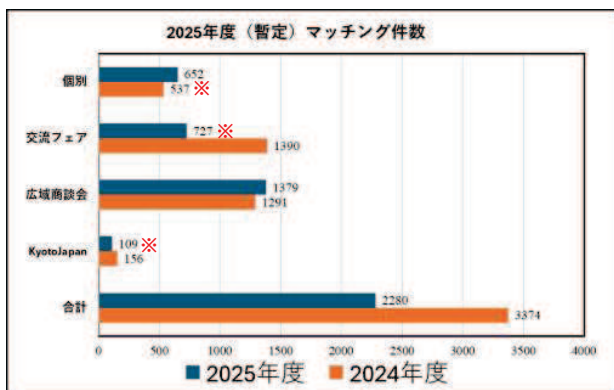


故障し表示しなくなった古い表示装置



マッチングとその後の伴走支援で復旧

＜マッチングと成立件数の推移＞



➡ マッチング件数は前年を上回るペースだが、成立件数は伸び悩む

● 要因の分析

受発注双方の企業への積極的なアプローチによりマッチング依頼を多く受けることに繋がったが、案件の難度が上がり成立に至る割合が減少

※ビジネス交流フェア、広域商談会、Kyoto Japanの件数調査については、現在調査中であり、大きく増加する見込み

(参考) ビジネス交流フェア内
マッチングステーションの様子



- ・ 企業訪問や京都ビジネス交流フェア開催等を通じて中小企業の受注機会を創出
- ・ 2026年度は重点を明確にし（府内企業の新規顧客獲得支援）、販路開拓を伴走支援

2026年度 KPI	マッチング件数		成立件数	
マッチング件数	3,600	(年度末に集計)	300	(年度末に集計)

※2025年度のビジネス交流フェア、広域商談会、KyotoJapanの各事業は年度末集計

担当部門	市場開拓支援部			
予算額 (財源)	45,000千円（負担金・京都府補助金・全国協会受託金等）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	5	2	1

KPI 達成に向けたアクション

○個別マッチングを強化 ⇒ 日常の企業訪問の強化

新規発注先となる企業（発注企業）への訪問強化と関係醸成、職員の個別支援・マッチングのスキルアップ

○ビジネス交流フェアを進化 ⇒ 発注企業等の優良来場者の増加と新規マッチング促進

- ・ 交流フェアのテーマやメッセージをより明確化し、来場者増を目的にした強いメッセージを発信
- ・ 発注企業ニーズの詳細把握による、発注企業とのマッチング精度を向上

○広域商談会を活用した発注企業招致 ⇒ 新規発注先の獲得

- ・ 参加府県の更なる拡大を図り、各府県と協力して新たな発注企業の開拓を推進

<開催日等>

日時：2027年 2月18日(木)～19日(金)
会場：京都パルスプラザ

<実施結果>

来場者数：目標 6000名 → 結果 6200名 (㊴ 5800名)
マッチング：目標 1600件 → 結果 727件 (調査集計中のため3/6時点の数値)
(㊴ 1390件)

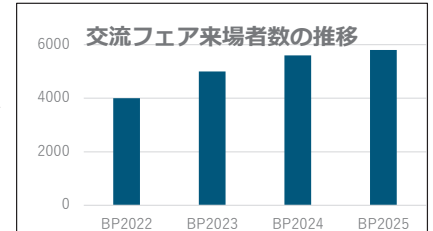
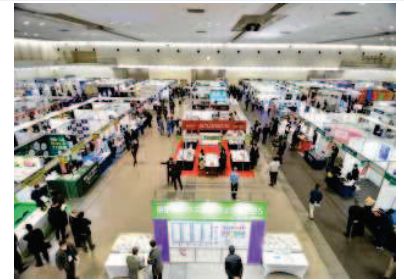
新規取組：半導体・フードテック特別展を設置、ステージイベントの開催、交流ゾーン(ちょっとよってBAR設置)、学生・求職者の受け入れ

<課題、評価、今後の対応>

《実施内容》新規顧客獲得に向け、テーマやストーリー性に工夫を凝らして開催し、同時開催の西日本合同広域商談会との相乗効果を狙った。

《課題》更なるマンネリ化の払拭と、広域商談会との相乗効果の向上。

《計画内容》西日本合同広域商談会との相乗効果を一層高めつつ、テーマやストーリー性を強化のうえ、特徴ある展示商談会として全国から多くの来場者を集める。



担当部門	市場開拓支援部			
予算額(財源)	36,354千円(負担金・京都府補助金・地域資源助成金等)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	5	1	1

<2026年度 開催日等>

日時：2027年 2月18日(木)～19日(金)(ビジネス交流フェアと併催)
会場：京都パルスプラザ

<実施結果>

参加企業数：発注側/目標 160社 → 結果 170社 (㊴ 154社)
受注側/目標 450社 → 結果 477社 (㊴ 428社)
商談件数：目標 1400件 → 結果 1379件 (㊴ 1291件)
成立件数：調査中 (㊴確定件数51件、追加見込件数39件)
成立金額：調査中 (㊴確定額 29,953千円、追加見込額10,756千円)

※()は前年数値
2026年1月末現在

<課題、評価、今後の対応>

《実施内容》新たに2県(島根県、広島県)の参加による拡大開催。

《課題》ビジネス交流フェア(展示会)との間でより高い相乗効果の発揮。

《計画内容》山口県、長崎県をはじめとする中国、九州地方の各県の更なる参画を促し、全国区の合同広域商談会となる足掛かりとする。

担当部門	市場開拓支援部			
予算額(財源)	4,000千円(京都府補助金・国補助金)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	2	-	1



府内産の伝統工芸品や食品、中小製造業等の海外販路開拓を支援

- ① 国際見本市への「京都ブース」出展や商談会開催
- ② 「京都POP UPストア」の設置
- ③ バイヤー招聘事業

→多様な国への販路開拓にチャレンジ

（2026年度は、インドIMTEX2027、第3回ギフト・ショー in ソウル、国際ホテル・レストランショーに出展予定）

担当部門	市場開拓支援部			
予算額（財源）	2,250千円（京都府補助金・国補助金）			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	1

具体的なアクション

○出展前の周知な事前準備

ジェットロ「海外ミニ調査サービス」、中小機構「海外展開ハンズオン支援」の活用等による現地取引に係る有用情報の把握

○展示会中のきめ細かい対応

効果的なブースデザイン、現地言語によるチラシの配布等、視認性の向上

○出展後のフォロー

個社ごとの課題の洗い出しと、課題解決に向けた伴走支援の継続実施

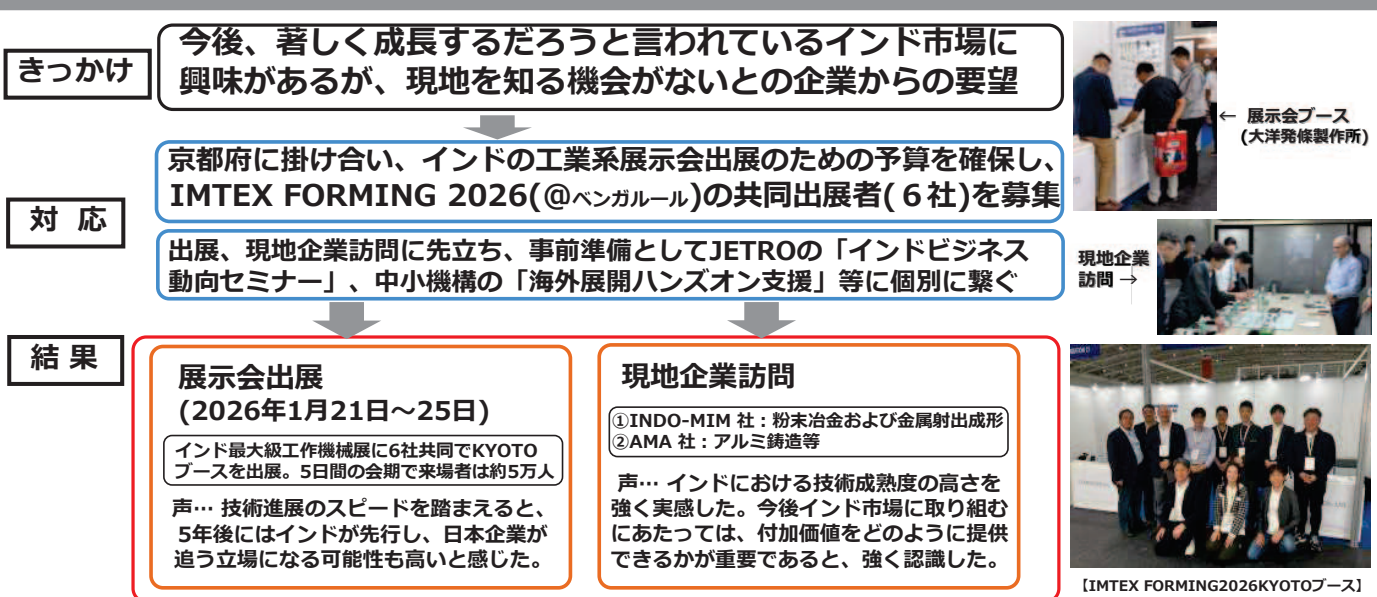
○海外へ挑戦する府内中小企業の開拓

海外ビジネスセンター等と連携したセミナー等による海外ビジネスの啓蒙活動
海外販路開拓の足がかりとなる「京ものテスト販売」登録事業者の掘り起こし



[2025 : NEPCON ASIA KYOTOブース]

インド展示会への出展から今後のビジネス展開のヒントを掴む 株式会社名高精工所 他5社



府内受注企業（財団登録企業を対象）の受注動向を把握し、受発注取引あっせんの円滑な推進に資することを目的に4半期ごとに実施

<調査の概要>

○実施期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施期間			★			★			★			★

○対象

京都府内全域 機械金属製造業関係企業 300社

▶北部地域機械金属業界景況調査（北部支援センター実施）については綾部市以北5市2町の機械金属関係企業 177社 が対象

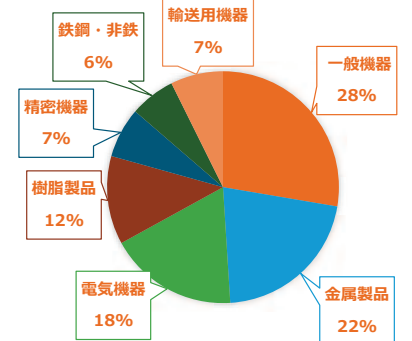
<問題点>

受注企業の調査のみでは長期的な動向を把握することが困難

<2026年度のアクション>

発注企業への訪問ヒアリングを並行して実施

調査対象企業の内訳（計300社）



担当部門	市場開拓支援部			
予算額(財源)	150千円程度（独自財源）			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	-	1	-	1

オリジナリティのある技術・製品開発により産業の発展・振興に貢献した府内中小企業及びその技術者の功績を表彰

表彰式：2025年11月12日（水） 京都府立府民ホール・アルティ
 応募：19社 受賞：6社19名 累積：延べ221社781名(33年間)

	開発した製品名	企業名
技術大賞	配管あと付け伝熱フィン『巻冷-MAKUREI』	(株)最上インクス
優秀技術賞	高精度自動離着陸・航行ドローンによる3D測量技術	(株)アース・アナライザー
	オートテンション機構	N K E(株)
	太陽電池セル全数検査用高精度・長寿命プローブバー	共進電機(株)
	外乱光対策と低電流化を実現した二重変調方式の赤外線センサー	竹中エンジニアリング(株)
	緩み止め機能付きワザド FRPボルト、ナット	(株)横井製作所
優秀技術者賞	上記企業の技術者19名表彰	



担当部門	お客様相談室			
決算見込(財源)	1,480千円（一般財源）			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	2

初の自社プロダクトの広報・販路拡大 株式会社最上インクス

背景・きっかけ・課題

■ 自社プロダクト開発
会社への脱皮

これまでの量産請負・試作品加工で培った技術・ノウハウ・社風を活かし、自社プロダクト開発会社への脱皮を目標に設定

■ 転換

工場の熱問題の解決に社会的ニーズがあることを確信。そこから自社プロダクト「巻冷」を開発、販売開始

■ 課題

「巻冷」の広報・販路拡大

⇒技術顕彰へ応募

支援内容・取り組み

🏆 技術大賞受賞

📢 広報支援

製品概要を分かりやすく噛み砕き、広報資料としてプレスリリースを行い、マスコミへアピール
財団による広報支援（取材記事の作成・紹介資料をUP）

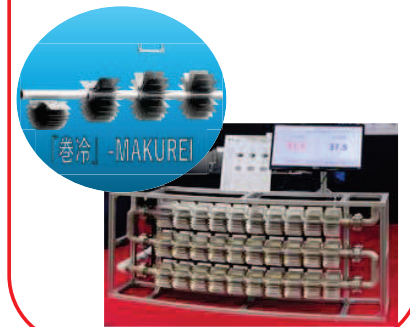


🤝 機会創出支援

- ・ 企業マッチングの提案
- ・ 京都ビジネス交流フェア
ステージ企画として大学教授とのトークセッションを実施。また、展示ブースにてデモ機を設置し、視覚的な効果を訴求
- ・ プレゼンテーション
賀詞交歓会など、多数の企業が集まる交流の場でのプレゼン機会を提供
また、最新の「冷却技術」をテーマにした研究会での登壇「巻冷」の紹介

成果

- マスコミからの取材獲得
 - 「巻冷」専用WEBページのアクセス数増加
 - ビジネスマッチングの機会の増加（商談3件）
- ⇒認知度向上
⇒販路拡大



項目	2025年度実績値	分析・評価
応募・受賞数	応募19件、受賞企業6社（@25社、7社）	過去5年間で最低応募件数 →対策が必要
連携支援件数（新規取組）	8件	調査段階から課題を深掘りし、他部署と連携した具体的な支援を展開 →経営改善、事業展開、販路開拓等へ貢献
展示会商談件数	476件（@前年度192件、前々年度184件） ※技術顕彰事業説明等29件	受賞技術製品のデモ機の設置や来訪しやすいよう展示コーナーの改善、またステージプログラムによる効果 →コーナーにおいて初の商談へつながった（3件）
外部取材件数	2件	マスコミ取材の獲得、企業HPへのアクセス数増加を実現 →認知度向上に貢献

課題

- 応募件数の回復
- 受賞企業等への財団全体でのフォローアップを強化



京都ビジネス交流フェア 技術顕彰コーナー

○京都府中小企業技術センター等関係機関との連携を強め、より一層候補企業の掘り起こしを図る

○申請書の構成や記載項目を改善し、事業者が応募しやすい仕組みを構築する

○受賞企業には財団による伴走支援を包括的に提供する価値を明確化し、そのメリットを積極的に発信することで、応募件数の回復と受賞企業のさらなる事業成長につなげる



京都ビジネス交流フェア
技術顕彰コーナーにて

2026年度スケジュール

3～4月 公募
6～9月 調査・審査
11月 表彰式
27年2月 京都ビジネス交流フェア

担当部門	お客様相談室			
予算額(財源)	2,709千円(一般財源)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	2

入居企業、部会参画企業等とともに、ATVK発の連携とイノベーションを創出

2025年度 KPI	目標	実績
①入居企業全区画操業	10社	6社(他に竣工1社)
②コラボ創出	8件	8件

担当部門	イノベーション推進部			
決算見込(財源)	39,774千円(府補助金等)			
執行体制【村長1】	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	2	2

①入居企業の状況 : 準備中 : 整備中 : 操業済

(株)シロク	ヘッドスプリング(株)	濱田プレス工藝(株)	HESTA大倉(株)	アンカーシップ・パートナーズ(株)【竣工済】
(株)日本サルベージサービス【部分操業】	KANAYA(株)	マクセル(株)	KPMGコンサルティング(株)	日本テレネット(株)

②コラボ創出の内訳 2026年1月末現在

取り組み項目	2025年目標	2025年実績	内容
入居企業や部会でのコラボ	5件	5件	ビジネス交流博を契機とした入居企業のコラボ、フェムテック部会での協業など
アートコラボ事業創出	3件	3件	デジタルサイネージドレスの万博活用、VRコンテンツのイベント展開、AI作曲体験

プレス等金属加工にとどまらず新事業領域の展開を支援

濱田プレス工藝株式会社

課題

京都・宇治田原町に主力工場とR&Dセンターを設置。金型製作から自社で行うことのできるプレス加工をはじめ、レーザー加工、溶接、塗装などの事業に取り組んでいるが新たな顧客を開拓したい。
さらに新たな事業領域としてLED照明器具、デジタルサイネージに取り組んでおり、販路と連携先を拡大したい。

現状・対応

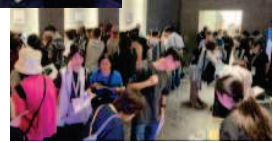
・ATVK参画を機に京都大学土佐先生とのコラボによりデジタルサイネージドレスを制作し、ニューヨークファッションウィークに出展

成果

・デジタルサイネージドレスを活用し、ATVKプロジェクトとして大阪・関西万博に出展。ATVKでのアートイベントにも展示し、PRに活用している。
・ATVKビジネス交流博を契機にATVK入居企業の生産工場となれるよう商談中



万博会場



○〔目標〕入居企業 全区画10社操業⇒〔実績〕6社操業

→残り4社

1社 建物竣工済 操業開始に向けた設備とスタッフ訓練中

3社 未着工 詳細設計、建築確認等の手続き中

○〔目標〕コラボ件数8件→実績8件（入居企業、4部会等）

⇒ビジネス交流博での入居企業の計画発表と相互交流を実施

入居企業の取組を互いに認知・交流することで、コラボのきっかけとなった。

○ 課題

- ・入居企業を核としたアート視点でのさらなる協業の創出と人材育成推進
- ・各種協業やイノベーション促進によるATVK自立運営に向けた自主財源確保

ATVKの管理運営を通じて以下を行う

- ・入居企業10社を中心としたアートとテクノロジーの融合による新たな産業創造の具現化
- ・「ATVK若手経営塾」等、スタートアップ企業の育成や次世代を担う人材育成を推進

2026年度 取り組む項目	2026年度KPI
入居企業操業開始	10社
部会・アートコラボ・産業2.1連携等からの協業プロジェクト創出	10件

担当部門	イノベーション統括本部			
予算額(財源)	36,220千円(府補助金等)			
執行体制【村長1】	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	2	2

KPI達成に向けた具体的なアクション

継続取組：入居企業10社の早期操業、連携支援、人材育成

- ①「ATVK博」開催、アート部会連携で4部会参加企業の協業推進
- ②若手経営塾等の開講による人材育成と収益確保

新規取組：自立運営に向けた収入増加の取組強化

- ①連携事業推進による協賛金獲得
- ②外部へのATVKのPR強化による施設利用数増加



ATVK博等の開催

- ・入居企業10社の操業開始を踏まえ、国内外の投資家やスタートアップ企業等をターゲットに、あらためてATVKをPRしオープンイノベーションの具現化を図るビジネス交流イベントを実施するとともに、地域と連携し「子どもの能力開発」につながるワークショップや体験企画、ブース出展を実施

・ [1日目]

- ①ビジネス交流博(BtoB向け) 7,8月予定

・ [2日目]

- ②子ども探究博(BtoC向け) 10月予定

⇒入居企業を核としてビジネスマッチングによる新事業創出や次世代の人材育成につなげる。

2025年度実施事業一覧

専門部会の開催 ⇒ 会員等による事業展開につなげていく

事業内容	日時	参加者数	備考
【フェムテック部会】			
健康経営セミナー	7月15日	51人	企業に生かされる子育ての力をテーマに講演
寺CARE 2025 OMOIYARI&フェムテック	11月3日～9日	1,200人	女性の健康状態見える化体験等
【子どもの能力開発部会】			
京都こども探究博(イオン桂川)	8月20日	1,000人	ものづくり体験、企業展示協力等
京都こども探究博(ATVK)	10月19日	1,000人	ものづくり体験ワークショップ等
【ロボティクス部会】			
省人化・生産性向上ロボットセミナー	3月5日	30人	自動搬送ロボットについて講演・実演
【その他】			
ATVKビジネス交流博	9月26日	80人	入居企業等による講演と交流会

研究者や当該分野で先行する企業との協力のもと具体的なテーマを設定し、府内中小企業がメインプレイヤーとなる研究会・勉強会を発足

2025年度 KPI	目標	実績
半導体振興での研究会等の連携事例及び中小企業参入のためのチャレンジプロジェクトの実施件数	5件	8件



①フォーラムの様子

先期開催セミナーから課題解決の研究会を発足

<実施内容>

- ①最新の「冷却技術」テーマにした研究会を開催(2026年2月2日)
- 半導体マップ作成等を通じ課題抽出・解決支援のプロジェクトを創出
- ②AI時代に向けたものづくり産業振興戦略フォーラム開催(VLSIと連携)(2025年6月10日)
- ③SEMICON Taiwanへの出展(2025年9月10日～12日)
- ④半導体セミナーの開催(2025年10月29日)
- ⑤SEMICON JAPANへの出展(2025年12月17日～19日)
- ⑥半導体やAIに絡めたサロン(勉強会)を開催(7月から毎月)
- ⑦グローバルニッチ戦略展〈半導体特別展・マップの公開〉開催(2026年2月18日～19日)
- ⑧AIが創るものづくり未来フォーラム開催(2026年3月16日)

開催日・場所	活動名	概要	評価・課題等
2026年2月2日 京都府産業 支援センター	最新の「冷却技術」を テーマにした研究会	半導体関連産業に不可欠な熱冷却に関し、最新の「材料、技術、素材」の紹介及び交流会	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数37名、大手や他府県企業も含め申込者の欠席が無く、注目度の高さがうかがい知れた。 登壇各社とのマッチング希望25件あり(3/2現在) 登壇企業同士のオープンイノベーションのきっかけづくりにもなった
9月10日～12日 台湾	「SEMICON TAIWAN 2025」出展	府内企業6社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	<ul style="list-style-type: none"> ブース来訪者数：延べ200人以上 商談件数：各企業5件程度の商談有り 初出展のため手探りの準備、ブース全体の見せ方に工夫が必要
10月29日 からすま京都 ホテル	セミナー、トークセッション：「新しい電子デバイス、光デバイスの紹介と今後の動向」	テーマ：新しい電子デバイス、光デバイスの紹介と今後の動向	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数64名・大変満足及び満足86.8% 事業戦略や商品開発を考える上で大変参考になったと好評を得、今後の開催にも期待の声多数
12月17日～19日 東京	「SEMICON JAPAN 2025」出展	府内企業8社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	<ul style="list-style-type: none"> 名刺交換481枚、商談33件、フォローが必要な案件69件 参加者からは新たなニーズの気づきや問合せもあり、概ね良かったとの評価。
7月～1月 京都府産業 支援センター他	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	半導体・AIに係る最新情報などの紹介及び交流会	<ul style="list-style-type: none"> 計8回開催 参加人数221名 多岐にわたるテーマにより開催し、参加企業同士の交流は進んだ。 次年度はもう少しテーマを絞る必要あり

現状・課題

生成AIの普及によるデータセンター等で冷却の課題増大
半導体マップを元にした企業訪問からも半導体用商材で冷却の課題

冷却研究会の開催(2026/2/2)



冷却に関わる新商材を持つ企業3社を抽出/冷却に関わる課題解決に向けた研究会開催

(株) 最上インクス

配管あと付け伝熱フィン
配管に伝熱フィンをあつ付け
配管内の流体温度を下げる
放熱量2.8倍UP
配管1mあたり4%温度低減効果



三洋化成工業(株) 「サーマップ」

ウレタン系放熱ギャップフィラー
界面制御技術、ウレタン樹脂設計技術により高熱伝導率と低粘度を両立させ放熱効果を上げる
・高熱伝導率(4.0W/mK)
空気層の熱伝導率は0.024W/mK
167倍の熱伝導率を達成



(株) ジーマックス

冷却部品として採用が増えているペルチェ素子
「70°C→0°Cに」等の豊富な仕様のペルチェ素子を提供



成果

マッチングの可能性

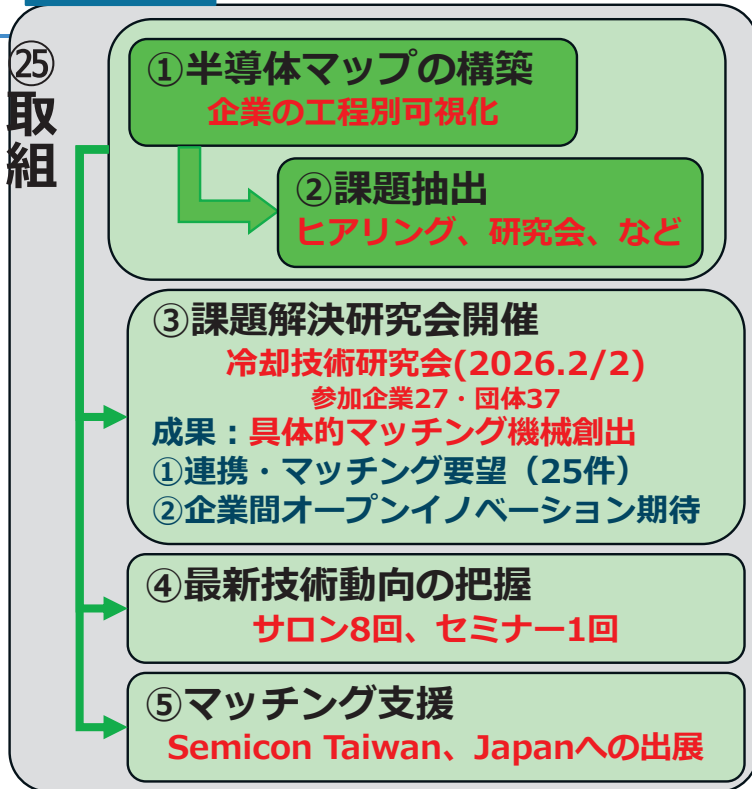
・大企業や府外を含め参加人数37名。登壇各社とのマッチング希望25件

事例1：プリント基板に使う熱拡散インクに活用（大手印刷メーカーとのマッチング）

事例2：電気機器などの発熱体の小型化による熱拡散（半導体電源メーカーとのマッチング）

事例3：熱伝導率の良いセラミックスでフィンの作製（セラミックメーカーとのマッチング）

②⑤
取組



今後の展開

【方針】 点から面への支援強化!
【施策】

- ① 課題解決研究会継続開催
→ 新技術関連の連携強化 (例：光半導体)
- ② サロン、セミナー開催
→ 最新技術動向等の把握、課題抽出
半導体人材育成
- ③ Semicon Taiwan・Japan等への出展
→ 展示会等によるマッチング支援
- ④ 半導体マップのブラッシュアップ
→ 企業の可視化と課題抽出

【予想効果】

新規課題探索、マッチング機会の創出

— 今期のテーマとしては、企業間連携の促進や中小企業の課題解決に結びつく研究会・サロン（勉強会）等の継続した実施（点から面への展開！）

2026年取り組む項目	2026年度KPI
半導体振興での研究会等の連携事例及び中小企業参入のためのチャレンジプロジェクトの実施件数	6件

担当部門	イノベーション推進部統括担当			
予算額 (財源)	30,000千円 (京都府分担金・京都市分担金)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	囑託等
	1	1	2	-

課題：半導体関連産業への参入による京都府中小企業の成長と発展

KPI達成に向けた具体的なアクション（「冷却技術」研究会が成功事例で水平展開）

- ① 課題解決研究会の継続開催（2件）
 - ・ 冷却技術研究会（中小企業間連携）の継続
 - ・ 光半導体技術研究会の発足（SU・産学連携）
- ② 企業連携・研究会・サロン実施による課題抽出・解決支援を創出（2件）
 - ・ 半導体の最新動向把握と、課題抽出・解決支援
 - ・ ビジネス交流フェアでの半導体特別展示による課題抽出・解決支援
- ③ SEMICON Taiwan・Japanへの出展（京都府連携）（1件）
 - ・ 展示会によるマッチング支援
- ④ 半導体マップのブラッシュアップ（1件）
 - ・ 企業間連携や参入支援の方向性を明確にした支援

Ⅲ-4 半導体産業の振興 AI時代に向けた京都ものづくり産業の成長戦略実行委員会の取組

フォーラム2回、サロン8回、セミナー1回、展示会2回 参加人数延べ550人

開催日・場所	活動名	概要	参加人数等
6月10日 ホテルグランヴィア京都	AI時代に向けたものづくり産業振興戦略フォーラム ※トークセッション及び交流会	世界3大半導体国際学会の一つである「VLSIシンポジウム」と連動	201人
7月23日 京都府産業支援センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：化合物電子デバイスの技術とビジネス	21人
8月21日 京都大学	産学交流会：AI時代に向けた京都のものづくり産業を支える微細加工・評価・分析技術	テーマ：半導体を始めとする京都のものづくり産業の成長	60人
8月22日 京都府産業支援センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：SEMICON JAPAN展示会を例に業界を俯瞰	22人
9月10日～12日 台湾	「SEMICON TAIWAN 2025」出展	府内企業6社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	-
10月17日 京都経済センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：光電誘合に必要なデバイスと要素技術	22人

事業22

開催日・場所	活動名	概要	参加人数等
10月29日 からすま京都ホテル	【セミナー】 電子デバイス、光デバイスに焦点を当てた新しい技術と今後の動向について解説及び登壇者によるトークセッション	テーマ：新しい電子デバイス、光デバイスの紹介と今後の動向	64人
11月14日 京都府産業支援センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：IBMの取組と量子コンピューターの現在地	21人
12月5日 京都経済センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：半導体リソグラフィの最前線	19人
12月17日～19日 東京	「SEMICON JAPAN 2025」出展	府内企業8社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	-
1月22日 京都経済センター	AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン	テーマ：半導体参入の「壁」と勝機	26人
3月5日 ATVK	製造現場における搬送自動化をテーマに自律移動ロボット（AMR）の基本的な仕組みや導入検討時のポイントについて解説	【ATVKロボティクス部会】 ロボット搬送自動化のための実践セミナー	30人
3月16日 からすま京都ホテル	【フォーラム】 AIの最新動向を交えながら、AIがもたらすものづくりの未来像を解説	テーマ：AIで切り拓くものづくりの未来	64人

「京都府、KICKと連携し、技術開発等の支援を通じてフードテック産業創出に向けて取り組むこと（財団中期計画）」を念頭に据え、将来のフードテックヒル構想に寄与すべく、食品業界への支援強化を図る

2025年度 KPI	目標	実績
フードテックの連携事例・連携体組成件数	3件	5件

<実施内容>

	目的	計画（手段）	実績（結果）
P	食品製造業が抱える課題を知る	食品製造業への企業訪問18社	食品製造業への企業訪問31社
D	課題に対し解決策を提案する	提案18件	提案31件
C	提案した解決策が採用される	伴走支援等の連携事例3件	伴走支援等の連携事例7件
A	食品製造業対象の情報発信を行う	①BPフードテック特別展（2/18-19） ②セミナー開催（2/25）	①24社出展 ②参加者数31名



大分類	中分類	2025年度	コンタクト	支援	課題① 全体最適 に課題	課題② 重労働 が多い	課題③ 設備担 当不在
1次	農業	北澤農園★（水耕）、GCJ★（気相）、日本砂栽培協会★（砂） 古畑園（製茶）、京都ノバネロの里（ノバネロ）、福寿園（製茶）	6				
	漁業	リージョナルフィッシュ（スマート養殖）	1				
	畜産	鶏と卵の研究所（卵）、平林乳業（牛乳）→マッチング支援	2	1	1/1	1/1	1/1
2次	食材	半兵衛麩（麩）★→マッチング・補助金支援、 SOUNATURE→マッチング支援、山梨製餡（餡）★→マッチング支援、湯葉弥（湯葉）、 コトコトビール★	5	3	1/3	2/3	2/3
	調味料	本田味噌本店（味噌）★→マッチング・補助金支援 小野甚味噌醸造→マッチング支援、カモシカ（発酵製品）	3	2	1/2	1/2	1/2
3次	中食	土井志ば漬本舗（漬物）★→マッチング支援、大安（漬物） もり（漬物）★→マッチング・補助金支援、小川珈琲（珈琲）★ KYOZUKE（漬物）★→マッチング支援、ロマンライフ（洋菓子）→マッチング支援、中利缶詰（菓子用原料）→マッチング支援	7	5	5/5	4/5	4/5
	外食	都給食（給食）→マッチング支援、サン食品★（弁当）、外尚（食材卸）、ビストロdeナカガワ（洋食）Bistro Chic（ジビエ）、	6	1	1/1	0/1	1/1

連携組成事例7件のうちの1件／株式会社本田味噌本店への支援

① 出会い

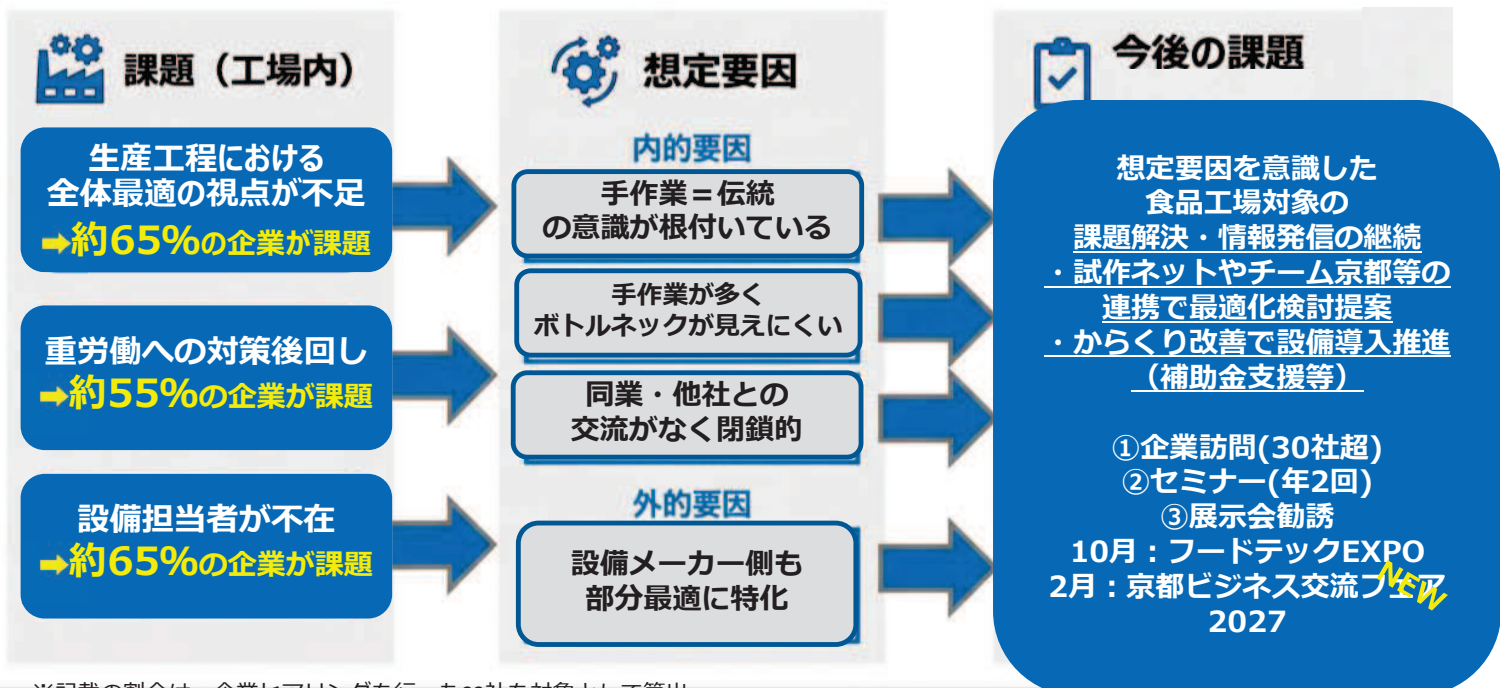
食品工場自動化セミナー
(中技セン主催 産業21共催)
に同社会長が参加

② 工場訪問

後日フォローとして
中技センと産業21で同社工場訪問

③ 課題解決支援

工場内の課題を中心にヒアリング。
工場内の生産性向上に関する課題解決支援提案
→成果：補助金申請・交付決定(京都エコノミックガーデニング I コース)
工場のある綾部市でのブランディング強化提案
→成果：同社と綾部市立吉美小学校とのマッチング成立
同社による出前授業の企画実施、地元メディアにて紹介



※記載の割合は、企業ヒアリングを行った33社を対象として算出

方針

「京都府、KICKと連携し、技術開発等の支援を通じてフードテック産業創出に向けて取り組むこと（財団中期計画）」、「京都府のフードテック構想」を意識し活動する。

基本的な考え方

- ・方針を意識し、府内食品製造業への企業訪問やセミナー開催を通じて情報発信を行う。
- ・情報発信を通じ、関係構築し、各社の生産性向上に寄与する。
- ・生産性向上により生まれる余力で、従来できなかった同社の挑戦(新商品開発等)を支援する。

項目	2026年度 KPI
フードテックの連携事例・連携体組成件数	5件

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ①食品製造業への企業訪問（年30社）を通じた課題ヒアリング
 - ②①の課題をふまえたセミナー開催：年2回（上期×1回・下期×1回）
 - ③各種展示会出展勧誘：年2回
（10月：フードテックEXPO、2月：京都ビジネス交流フェア2026）
 - ④中技センとの同行・連携による課題解決伴走支援：10件
- ・試作ネットやチーム京都等の連携で最適化検討提案（補助金支援等）
 - ・動力を使わない投資費が安いからくり改善で設備導入推進（補助支援等）

担当部門	イノベーション統括本部			
予算額 (財源)	2,000千円			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	1	-

京MED参画メンバー企業の自然発生的な連携及び相互協力を促進し、メンバーにチームへの主体的な参画を促す

<実施内容>

京MEDの取組PR及び参画企業の連携案件獲得に向けた展示会等への出展

- ①メディカルクリエーションふくしま2025への出展（10月29日～30日）
 - ②ユーザー評価会in三菱京都病院(11月3日、2026年2月13日)
 - ③ビジネス交流フェアにおける産学連携ブース出展（2026年2月18日～19日）
 - ④メンバー交流会開催予定（2026年3月17日）
- ※医療関係者のニーズ発表、発想AIによるニーズ・シーズマッチングシステムの紹介

①ふくしま出展



②評価会



イベント	概要	所感・課題
Medtec Japan 2025（見学） 2025/4/9～11	Medtec Japan 2026に共同出展するため、会場や展示内容の様子、来場者層などを見学。会期後に、個社で出展した京都企業3社へ出展のメリット等をヒアリングした。	病院で使用するような医療機器や医療機器に関連する部品の展示が多く、医療関係のものづくり企業の出展に向いていると感じた。個社での出展企業へのヒアリングでも出展してよかったとの回答であったため、本展示会への出展は需要があるのではないかと感じた。
京MED事業計画説明会（総会） 2025/5/30	会員に、昨年度事業報告および今年度事業計画を説明。また、アドバイザーからの自己紹介、昨年度出展した“メディカルジャパン”での共同出展企業からの出展報告を実施。	会員がイベントに積極的に参加しなくなるよう進めていく必要があると感じた。会期後アンケートより、展示会共同出展にかかる参加費が高いと出展は難しいとの意見が多かった。
メディカルクリエーションふくしま2025 2025/10/29～30	京MEDとして出展。メンバー会員8社から商材を借りて展示し、各企業の商材・技術を企業に代わって紹介・PR。	企業および京MEDの紹介がしやすく、来場者にも理解してもらいやすいため、来年度も継続したい。出展位置が出口付近で人通りが少なかったため、人通りの多い良い出展位置の確保を目指す。
病院でのユーザー評価会 in 三菱京都病院（病院内覧会） 2025/11/3	三菱京都病院内に、メンバー会員2社が出展。出展する企業が希望する病院従事者の方に確実に来てもらえるよう、病院と企業とで日程調整して開催。	企業より、希望する病院従事者のみの参加であったことで、製品改良に繋がる具体的な意見交換ができて良かったとの感想があったため、今回の開催方法を継続していく。また、医師の参加率を上げること、ユーザー評価会を実施してもらえる他の病院を開拓することが必要である。
Kansai Medical CoreTech 展示会 in 島津製作所（見学） 2026/1/15	関西医療機器産業支援ネットワーク（近畿経済産業局）主催の展示会。島津製作所内での開催であり、京都府内企業も7社出展のため見学。	出展企業より、島津製作所の研究者に興味を持ってもらえてよかったとの声があった。京都の中小企業にとって、島津製作所の研究者だけでなく、出展する関西圏の企業との繋がりができる良い機会であると感じた。
令和7年度中小機構主催クワスター交流会（神戸医療産業都市クワスター交流会） 2026/1/29	神戸医療機器開発センター（MEDDEC）の事業化支援の取組みや成果、課題等について紹介する講演会に参加。	京MED会員より、京都は医療関係に力を入れていないのご意見がよくあるため、神戸市・神戸医療産業都市推進機構・神戸大学の連携により医療業界参入企業への支援体制が整っている点を京都も見習わないといけないと感じた。

病院でのユーザー評価事業による
医療文書AIサービス『みんなの地域連携室』[®]のブラッシュアップ

エニシア株式会社

課題

- ・ 医師の文書作成時間削減/負担の軽減を通じて、医師の働き方改革、地域医療連携の強化、より診療に集中いただける環境づくりに貢献する。

現状・課題

- ・ 一般的に紹介状は医療カルテ等の情報をもとに医師が直接作成する。医師の業務量削減のため、自動作成が期待される。同社では自社開発のAIをメインに独自の匿名処理技術により、情報流出対策を講じている
- ・ 紹介状や退院時サマリの作成における、現場の従事者のニーズをヒアリングし、より強固なシステムを構築する。

成果

- ・ 2回の評価会（2024年1月、2025年11月）に参加いただき、計29名の医療従事者（医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、地域連携室、事務員）にヒアリング
- ・ 医師や看護師の負担軽減に寄与するものとして評価は高く、改善点や機能追加のリクエストもあり、随時ブラッシュアップ出来た
- ・ 2026年1月現在で、4病院で試行的に利用中で近く有償提供開始予定



○分析・評価

自社技術の展開や積極的なPRなどに意欲的に取り組む参画メンバーの支援のため展示会などを中心に取組を進めた。

⇒ ふくしまの展示会において、商材を借用し、事務局が説明するスタイルに変更したが、出展企業の負担感は少なく、かつ一定、名刺交換及び商談へと繋ぐことができた。（名刺交換41枚、面談20企業等）

○今後の課題

引き続き、取組や伴走支援等から医療・介護分野への参入や企業の成長・発展に繋げる必要がある。このため、

- ①展示会においては、京都府から個別ブースで出展する企業との連携を図るなど、可能な限り良い出展場所の確保及び商材展示の継続→出展による成功体験共有
- ②シーズ・ニーズのマッチングを展開できる仕組みづくりの支援
- ③ユーザー評価会実施施設の拡充と医師が参加しやすい日程検討

京都府中小企業の医療・介護分野参入促進に寄与する取組を推進

医療参入を目指すチーム（京MED）内での自主的な連携で

継続的な課題解決やビジネスチャンス創出

担当部門	イノベーション推進部統括担当			
決算額 (財源)	2,700千円+自主財源 (京都府受託金(地プロ) ・自主財源(KIIC会費))			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	1	-

【26年度の事業計画・予定】

- ①京MED： セミナーや情報交換会の開催
展示会への出展
 - ・ 4月 Medtec Japan 【初出展】
 - ・ 10月 メディカルクリエーションふくしま2026
 ユーザー評価会（2回程度）、製品アドバイス会
- ②医療・介護等機器相談窓口による相談対応
- ③ビジネス交流フェアにおける産学連携ブース出展

コミュニティ型伴走支援推進、スタートアップ掘り起こし戦略的成長支援を継続しEXITまで支援

2025年度 KPI	目標	実績
有望スタートアップ早期掘り起こし	19社 (19社)	13社
伴走支援	57件 (57件)	40件
補助金活用支援 (件数比率)	50%以上(52.9%)	47.4%
マッチングイベント開催	(エンジェル)年3回 (3回) (スター創生)年1回 (1回)	3回 1回
大手企業プロ人材とのマッチング支援	3件 (1件)	7件

※ () は前年度数値

<取組>

- ・ 京都エンジェルコミュニティ交流会、京都発 スター創生事業の開催による、有望スタートアップの掘り起こしとコミュニティの充実
- ・ 外部機関と連携したビジネスマッチングや各種課題解決に向けた伴走支援
- ・ 補助金や人材活用等、財団の持つ支援施策を集中的に提供

担当部門	イノベーション統括本部			
決算見込額 (財源)	3,400千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	囑託等
	1	3	3	-

京都工芸繊維大学発研究シーズの事業化支援

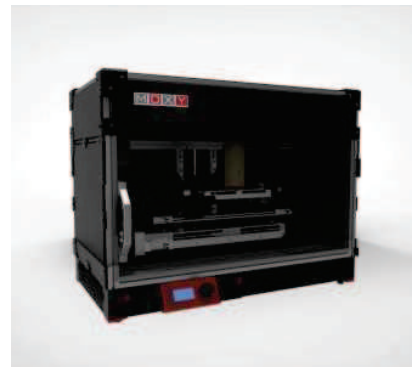
株式会社MOXY

プレシード（創業前）期スタートアップ掘り起こしに注力する中、京都工芸繊維大学の学内誌記事をきっかけとして、同大学バイオナノファイバー研究室の研究シーズの事業化を支援した事例

- 課題：①事業コンセプトの立案と計画の策定
②経営資金の調達
③ビジネスモデルの確立と契約書の作成

- 対応：①京都エンジェルコミュニティ交流会登壇によるエンジェルアドバイザーからの経営アドバイス
②日本政策金融公庫とのビジネスマッチング
③京都府よろず支援拠点と連携した専門家相談

成果：開発した超精密3Dプリンタは既に国内外の複数社から具体的な問い合わせがあり、受注見込み。
日本政策金融公庫からの経営資金の獲得にも繋がった。



同社開発の超精密3Dプリンタ
生分解性ポリマーのナノレベルでの精密な加工が可能で、再生医療に必要な足場材の製造などへの応用に期待できる

◆分析・評価

課題1：プレシード期寄りのSU企業発掘

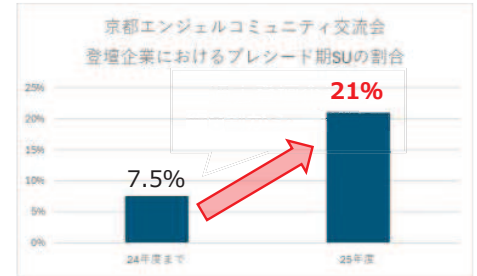
他機関との連携や協業事例を創出し、戦略的成長支援を促進するためにはSU企業の更なる早期発掘が必要

評価：GAPファンド等を絡めた大学への早期アプローチを実施し
エンジェルコミュニティ登壇企業の2割強がプレシードSUに

課題2：資金調達ที่難しいプレシード期SUへの調達支援

補助金活用に関する支援ニーズが高まる一方、プレシード期SUへは財団補助金以外の更なる資金調達支援が必要

評価：他機関、金融機関・VCとの個別マッチングにより
資金調達事例を複数創出 ※支援成果事例参照



プレシードSUの登壇割合が3倍近く増加

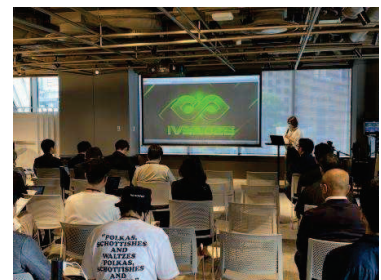
◆今後の支援の方向性

- ・プレシード期SUの発掘と成長支援に向け、大学への早期アプローチを継続する
- ・発掘したSUの早期成長支援を目指し、外部機関との連携を強化するため、エンジェルコミュニティやIVSをはじめとする交流機会の創出・拡充

オール京都のスタートアップ・エコシステム構築（2.0）に向け、他機関との連携強化により、起業予備軍やスタートアップが抱える資金調達、人材獲得等の課題の解決を伴走支援し、起業や早期成長を促進

2026年度KPI	目標
有望スタートアップ早期掘り起こし	19社（13社）
伴走支援	57件（40件）
補助金活用支援（件数比率）	50%以上（47.4%）
マッチングイベント開催	年4回（4回）
大手企業プロ人材とのマッチング支援	1件（7件）

※（ ）内は前年度実績
2026年1月末現在



エンジェルコミュニティやIVSをきっかけとしたコミュニティの拡充を行い、外部機関と連携した早期成長支援事例を創出する

KPI達成に向けた具体的なアクション

- ・プレシード期SU企業の早期発掘に向けた大学等との連携（継続取組）
 - ・伴走支援を中心としたKPIの目標達成
 - ・GAPファンド等を絡めたSUの早期発掘
- （新規取組）
 - ・エンジェルコミュニティをはじめとする交流機会を活用したコミュニティ拡充と外部連携強化

担当部門	イノベーション統括本部			
予算額（財源）	2,890千円（京都府補助金）			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	3	3	-

- ピッチ交流イベント「京都エンジェルコミュニティ交流会」《年3回実施》、「京都発 スター創生事業」《年1回実施》開催によりビジネスマッチングを促進
- ディープテックを中心とした有望なスタートアップ企業を掘り起こし、登壇をきっかけとした経営アドバイス、マッチングにより、資金調達・協業を支援

<25年度までの実績>

- ① 京都エンジェルコミュニティ交流会
これまでに15回開催、93社が登壇

<交流会（1～15回）の実績>

マッチング	80件（10件）
投資・融資	95件※（19件）
協業	44件（2件）
実証実験への協力等	24件（5件）

※登壇がきっかけとなり約430億円の資金調達につながっている

（ ）内は今年度実績



京都エンジェルコミュニティ交流会
（株）MOXY 小原代表の登壇の様子

- ② 京都発スター創生事業

これまでに14回開催、延べ117社が登壇投資・融資93件（内25年度6件）、約292億円の資金調達につながっている。

京都府地域活性化雇用創造プロジェクト

イノベーション創出や大学等との連携を支援することにより質の高い雇用を創出
（厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用）

【実施事業】 京都産業牽引人材創出事業、統括マネジメント事業

K P I		目標（人）		実績（人）
京都府地域活性化 雇用創造プロジェ クト	全4事業	良質雇用	285	504
		正規雇用	404	768
	うち財団事業 （京都産業牽 引人材事業）	良質雇用	97	180
		正規雇用	133	241

（1月末現在）

コーディネータの伴走支援や各種セミナーの開催等により財団事業を含む全ての事業で目標を達成見込み

担当部門	雇用創出センター			
決算額（財源）	131,370千円（京都府受託金）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディ ネータ等	嘱託等
	1	4	10	5

2013年度から7つのプロジェクトを実施
⇒累計で21,280人の雇用を創出（1月末現在）

コーディネータによる伴走支援及びセミナー等の開催

[課題] 府内ものづくり企業のイノベーションの創出とその担い手人材確保

[対応] ①コーディネータ10名による伴走支援（延べ1,517社等）
（2026年1月末現在）
②中小企業の経営者や従業員等に対しセミナー等を開催
〈236名参加〉（2026年1月末現在）
・半導体セミナー、・DX人材育成セミナー、・AI入門セミナー
・経営実践講座、・雇用対策セミナー、・京都ビジネス交流フェアにおける一般求職者、学生向けセミナー等



[成果] 目標に対し良質雇用約1.8倍、180名の雇用創出、正規雇用で約1.8倍の成果（2026年1月末現在）

◆京都産業牽引人材創出事業

【実施内容】

府内ものづくり企業のイノベーション創出や社会課題解決に向けた取組を支援することにより質の高い雇用創出を図る。

- ・ コーディネータ 11名による企業への伴走支援
- ・ 半導体フォーラム、京MEDセミナー、フードテックセミナー、DX人材育成支援セミナー等の開催
- ・ 展示会への出展
- ・ ビジネス交流フェアにおける一般求職者、学生向けセミナー 等

2026年度 K P I		目標 (人)	
京都府地域活性化雇用創造プロジェクト	全4事業	良質雇用	469
		正規雇用	676
	うち財団事業 (京都産業牽引人材事業)	良質雇用	147
		正規雇用	221

KPI達成に向けたアクション (PDCAを徹底・成果を横展開)

○他団体への委託事業を含む4事業全てで目標達成に向けて

定期的にタスクフォース会議を開催し事業間で横断的連携

(情報共有、好事例は水平展開、共通する課題について議論し解決を図る)

○財団が実施する「京都産業牽引人材創出事業」での目標達成に向けて

コーディネータ11名が雇用創出センターの査配の下、他部署と連携を図りながら府内企業のイノベーションを促進し雇用創出を図る

担当部門	雇用創出センター			
予算額 (財源)	131,370千円(京都府受託金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣 OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	4	11	5

KICK入居企業やけいはんな進出企業の伴走支援で新規プロジェクト創出

補助金事業やKICK内の交流会等を活用、けいはんな進出企業との橋渡しで入居企業の新規協業創出を支援

KPI	目標	実績
補助金採択プロジェクトの創出	3件	3件

(※1月末時点)



廃材をアップサイクルした植物の活用材「鉄フルボさん」

伴走支援にて3件の補助金獲得を支援

- ・(株) CONNEXX SYSTEM (KICK内) : 「産学公の森推進事業補助金」※車載用中古バッテリーパックを用いた急速充電器 (EnePOND式EV Charger : EEC) の実用化に向けた開発
- ・ソラリスバイオ(株) (けいはんなプラザ内) : 「KIC-Net市場調査」※細胞凍結保存液市場の市場規模と動向、分野・使用目的別市場動向
- ・(株) TSK (D-egg内) : 「産学公の森推進事業補助金」※鉄触媒で生成する有機物の植物促進剤への適応

担当部門	けいはんな支所			
実績見込 (財源)	173,783千円 (事業収益・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	3	3	2

※1月末時点

世界初有機フリー凍結保存液と培地の販路拡大

ソラリスバイオ株式会社

けいはんなプラザ入居審査時から継続して伴走支援を実施。単発ではなく継続的に寄り添うことで、企業の成長フェーズに合わせた包括的なサポートを実現した事例。

課題：新たな人脈づくりと経営基盤強化

年間17回以上の訪問とマッチングによる伴走支援

支援内容

販路開拓：京都大学SU企業3社、大企業複数社、大学、大規模商談会での**マッチング**、大規模医療展示会京都ブース**出展補助**
市場調査：補助金活用による**再生医療分野の市場調査**
体制整備：プロ人材と連携した**人材紹介支援**

連携支援
 本部 (CFT・プロ人材) × KICK



世界初の有機フリーの凍結保存液

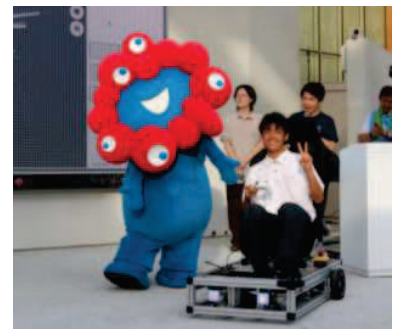
成果：試作品の提供・実証フェーズへ進展、大学との共同研究協議開始、再生医療分野ネットワーク拡大・販路拡大加速

けいはんな万博のテーマに関連する新規研究開発プロジェクトの創出

2025年度KPI	目標	実績
けいはんな万博を起点としたプロジェクトの共創	1件	1件

日時：2025年9月30日（火） 場所：大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンリボーンステージ
 来場者：約3,000名 目的：けいはんな企業並びに実証実験・新規研究開発のPR

企業名	テーマ
エースジャパン株式会社	森林再生とカーボンニュートラルについて 学生による劇やクイズ、ピッチ
イーセップ株式会社×株式会社Keigan	グリーンエネルギーとロボット支援について ロボット操縦体験、グリーンエネルギーを使用したデモンストレーション
ミツフジ株式会社	未来のヘルスケアについて 大学×企業による産学連携トークセッション



[分析]

- 入居企業の入れ替わり
 - 要因：新規入居：2社
 - 他地域への移転：1社
 - 事業撤退：1社
 - KICKのヘビーユーザの退居による収入減
- 屋外敷地での自動運転実証実験の急増
 - 要因：デジタル庁関連のモバイル実証実験
 - 屋外敷地の模擬信号機設置による利用の増加

主な利用内容	2024年度	2025年度
入居企業数	23社	23社
ロボセン利用	145件	142件
屋外敷地利用	103件	209件
5G環境実験	3件	0件

[KICK全体の利用状況]
※1月末時点

[課題]

- 大企業を含めた企業連携プロジェクトのコーディネート
- けいはんな万博のレガシープロジェクトへの参画
- けいはんな地区全体にわたる交流促進（交流会開催等）による新規プロジェクトの創出

- けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）の管理運営を通じ、
- ① KICKにおける学術と産業の融合によるイノベーション創出を支援・展開
 - ② 補助事業等も活用し、KICKでの実証実験をサポート
 - ③ 入居企業交流会のリアル開催等による連携テーマの創生

2026年度 KPI	目標
補助金採択プロジェクトの創出	3件
企業間連携を軸にした共創プロジェクトの発掘	1件

KPI達成に向けた具体的なアクション

目的：連携創出の仕掛け作り（イベント、施設利用推進）

- （継続取組）補助金事業の申請から完了までの一貫した伴走支援
万博レガシープロジェクトの継続支援
- （新規取組）コンテンツ産業（アニメ、マンガ、ゲーム）等の集積による新規プロジェクトの創出

担当部門	けいはんな支所			
予算額 (財源)	166,109千円 (事業収益・京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	3	3	2

京都経済センターの管理運営

中小企業から選ばれる会議室の管理運営

KPI	目標	実績
お客様満足度	100%	98.7%



ネットワーククロック

アンケートの利用者の声を反映して

1. 会議室の機能を高める環境整備

- ① 6階全大会議室（B、C、D）へのネットワーククロックの導入
- ② 6階全大会議室音響設備改善



デジタルマイク

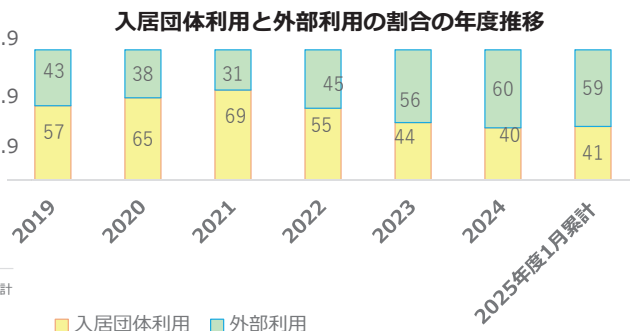
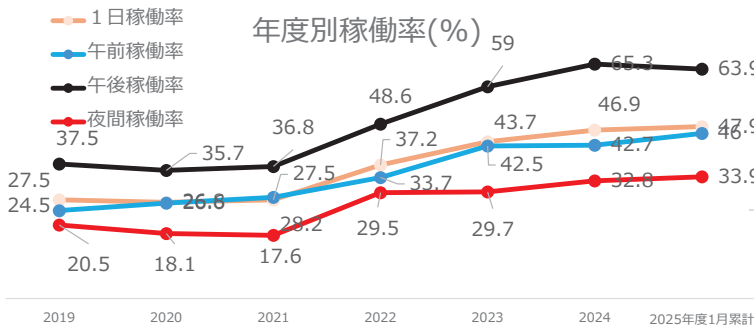
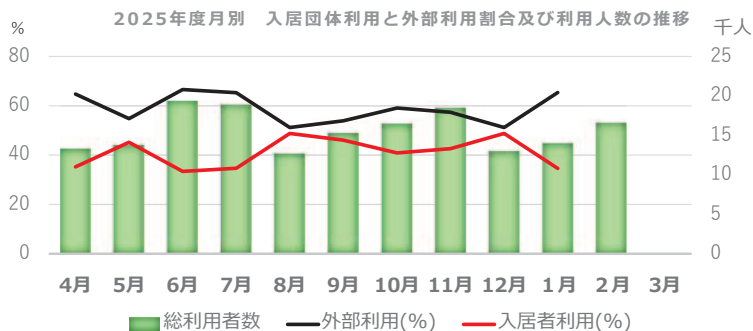
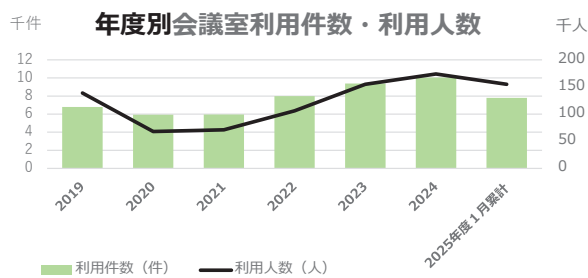


ワイヤレス受信機

2. 総合案内・共有スペースの利便性向上

- ① 4階・6階の共有スペースにデジタルサイネージ追加
- ② 3階（5カ所）・4階（6カ所）・6階（2カ所）のフロア案内板のユニバーサルデザイン化実施

担当部門	経済センター支所			
決算見込(財源)	338,095千円			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	6



利用件数・利用人数・稼働率とも年度末では対前年比増加見込み。外部利用は前年同比見込み。

<お客様満足度>

2025年 4～6月利用 (2025/7/7調査)
 満足+やや満足+普通 = 98.2%
 10～12月利用 (2026/1/14調査)
 満足+やや満足+普通 = 98.9%

<2025年度実績>
 お客様満足度 98.6%

顧客ニーズに対応した環境整備を推進した結果、向上傾向

<お客様の声>

- ・綺麗で清潔感があり使いやすかった
- ・スタッフの方の対応が素晴らしく、安心して利用できる
- ・プロジェクターの輝度が低く、もう少し充実してほしい
- ・各会議室に時計を設置してほしい

お客様満足度向上に向けて、さらなる対応が必要

<稼働率の向上>

○会議室の使い方の提案・設備強化・広報により、内部利用の支援と外部利用の呼び込みを図り、高い稼働率と収益維持を目指す。

京都経済センターが、

- ① 産業支援機能の総合力を強化し
- ② 「新しい時代のオール京都の総合支援拠点」として
- ③ 京都経済の活性化を牽引するよう会議室等の活用・「交流と協働」や「経営人材育成」を一層加速・拡大し、利用者ニーズに対応した事業環境整備を一層推進する

取り組む項目	2026年度KPI
お客様満足度	100%

担当部門	経済センター支所			
予算額(財源)	339,382千円(事業収益)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	6

KPI達成に向けた具体的なアクション

<目標：使い勝手の良い施設 外部新規利用者拡充>

- ・利用者アンケート結果を踏まえ、会議室環境整備充実を図る
 利用者の求める最新機材導入(プロジェクター、音響機器整備の推進)
- ・高稼働率維持と高い外部利用率維持を目指し、サービスと広報強化

北部地域産業支援（施設運営、伴走支援）

府北部のものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興として以下の3事業を展開

- ①ものづくり人材の育成・確保
- ②地域の新しい産業興こし
- ③北部地域ものづくり中小企業の総合支援

2025年度 KPI	目標	実績
新商品・新技術開発等への伴走支援件数	3件	3件

【取り組み】

- ・織物・機械金属振興センターとの情報共有や、景況調査等、企業訪問の機会を捉えた開発ニーズの発掘に取り組み、継続的な進捗確認や支援制度の紹介などを実施
- ・新規事業への積極的な取り組みを行う企業発掘を強化
- ・トライアルゾーンへの宇宙産業進出を目指す新規入居企業の誘致

担当部門	北部支援センター			
決算見込(財源)	10,149千円（京都府補助金・京丹後市補助金・事業収益等）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	4	-	1

全社員の基本給1.5倍を目指す スマートファクトリー構想

養父織物

課題

西陣織の市場縮小に伴いその生産現場では小ロット化が顕著で、機拵えなど製織以外の作業負担が急増する一方、工賃は織った量（越数）をベースとすることが業界の慣習のため、相対的に工賃は低下。また、織布工のなり手が少なく高齢化が顕著で技術伝承も課題。

対応

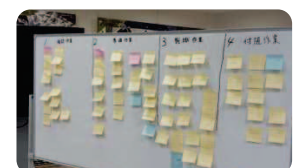
作業工程を洗い出して整理を進めるとともに、デジタル技術の活用による効率化を取り入れた「スマートファクトリー構想」実現に向け、補助金を活用した全社員参加によるワークショップを織物・機械金属振興センター及び財団職員も交えて実施（継続中）。



全社員による業務の棚卸

成果

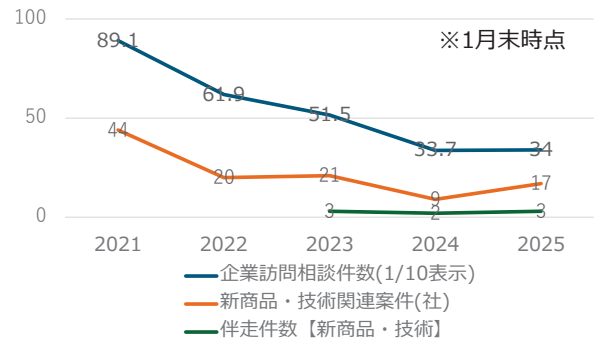
デジタル技術導入も見据えた「業務フロー」の整理から、属人化していた技術の見える化を、生成AIも活用しながら実施。これらを通じて社員のIT技術への理解が深まるとともに、技術の言語化が進み、技術伝承のためのベースが作られつつある。



標準化のための工程整理

◆分析

- ・企業訪問・相談対応件数と「新商品・新技術」の開発に関わる案件数との関連性は強いが、新規事業に取組企業への訪問を強化することで案件発掘の強化が可能。(グラフ1)
- ・北部での新商品・新技術開発は「食料・飲料」「繊維」の割合が高い(表1)
- ・開発体制は個人に頼っており、知識・リソースの不足が見られる(表2)
- ・新規取組案件の発掘については一定の成果



(グラフ1) 企業訪問件数と開発案件との関連

◆評価

- ・発掘案件から重点支援対象を設定
 - 外部専門家や副業人材の積極的活用を強化
 - 不足するリソースを補完する異業種マッチングの推進

(表1) 新規事業取組企業の業種

(表2) 開発担当者の状況

業種	社
食品・飲料	5
繊維	4
機械・金属	3
その他	5

開発担当人数	社
1人	12
2人	2
3以上	1
不明・外部など	2

- ・丹後地域を中心とした地場ものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を目的に「丹後・知恵のものづくりパーク」を運営 → 3つの機能を展開
 - ①ものづくり人材の育成・確保
 - ②地域の新しい産業興こし
 - ③北部地域ものづくり中小企業の総合支援
- ・研修事業《年55回実施》、施設運営・伴走支援《通年実施》、北部商談会《年3回実施》

2026年度 KPI	目標
新商品・新技術開発等への伴走支援件数	3件

KPI達成に向けた具体的なアクション

- 企業訪問等によるニーズ把握の強化
- 若手人材の企業へ定着率向上に焦点を当てた人材育成を充実
- 北部での展開が期待される航空宇宙産業進出に向けた伴走支援

担当部門	北部支援センター			
予算額(財源)	10,149千円(京都府補助金・京丹後市補助金・事業収益等)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	4	-	1

北部地域産業の活性化（研修事業）

北部製造業におけるものづくり人材の育成・確保のため織物・機械金属振興センターと協力し、技術・経営両面からの研修事業を実施。

項目	単位	2025年度実績	
		技術系	経営系
講座数	講座	41 (42)	15 (15)
開催日数	日	200 (258)	28 (30)
受講者数	人 【 】内延べ	515 (420) 【1077(1138)】	286 (252) 【391(389)】

※1月末時点（ ）内は前年度実績



新入社員研修



ものづくり基礎技術習得研修

担当部門	北部支援センター			
予算額 (財源)	7,149千円（京都府補助金・京丹後市補助金・事業収益等）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	0	4	-	-

北部商談会（北部体感ツアーSEASON7）

京都北部地域における販路開拓支援及び地域産業の情報発信のため、京都北部現地において府外企業との商談会+工場見学を実施《年3回》

項目	単位	2025年度実績
発注企業数	社	1(2)
受注企業数	社	7(14)
成約件数	件	0(1)

※1月末時点。（ ）内は前年度実績



担当部門	市場開拓支援部・北部支援センター			
予算額 (財源)	500千円（一般財源）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	-	1	1	1

中小企業の生産性向上と高付加価値化を両立する取組を、伴走支援と補助金で調査分析から体制構築、実践まで一貫支援《年1回実施》

2025年度 交付実績	交付決定件数	交付決定額 (千円)
I 事業創生コース	11 (23)	10,644 (20,821)
II 事業化促進コース	12 (22)	89,026 (156,438)
III 本格的事業展開コース	7 (13)	186,111 (303,741)
合 計	30 (58)	285,781 (481,000)


※2026年1月末現在 () 内は2024年度数値

担当部門	企画総務部 事業成長支援担当			
予算額 (財源)	300,000千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	-	-	3

新工場を建設して夜間無人稼働及び自動化を伴う量産体制の構築 株式会社藤原製作所

京丹後市所在企業：航空宇宙・半導体関連・医療バイオなど部品の機械加工を手掛け、
充実した検査測定器を有し、創業以来納期遅れゼロの実績

課題：既存設備のキャパシティ不足で受注損失が発生



補助金支援と伴走支援を行い、新工場建設と生産ライン構築を実現し、
夜間無人稼働と自動化を達成

<p>支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新工場の建設 ・ 加工金属を自動計測できる3次元測定器を新たに導入 ・ マシニング (切削加工機) を移設 	<p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな機械の導入で手仕上げ工程の30%改善、生産能力の強化が実現し、2年連続で過去最高の売上高を達成 (2年連続の収益納付) ・ 従業員数も昨年度から3名増えて23名体制。若手人材の確保も順調
--	--

伴走支援と補助金により多様なプレイヤーのコラボレーションを支援し、人口減少、脱炭素、働き方改革をはじめとする様々な社会課題の解決に寄与する新たなビジネスを創出
《年1回実施》

2025年度 交付実績	交付決定件数	交付決定額 (千円)
I アーリーステージコース	7 (14)	8,400 (14,261)
II 事業化促進コース	13 (15)	180,640 (197,884)
III 本格的事業展開コース	7 (7)	204,890 (232,592)
合計	27 (36)	393,930 (444,737)

※2026年1月末現在 () 内は2024年度数値

担当部門	企画総務部 事業成長支援担当			
予算額 (財源)	400,000千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	1

スキンケア化粧品の素材を応用した口腔ケア化粧品への事業展開 株式会社ニッシン

本社登記は京都市南区企業 (本社機能は亀岡市) :
歯科模型の分野では、当社を含めて世界に3社しかメーカーがない。国内唯一のメーカー

経緯：高齢化社会や口腔の健康意識が高まっていることから口腔ケア化粧品へ参入

**補助金支援と伴走支援を行い、口腔ケア化粧品の、
試作研究とモニター計画策定を実施**

<p>支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔ケア化粧品の試作研究を経てマウスプレー (試供品) の完成 (30mL、1,600~2,000円での価格設定) 口腔ケア化粧品のモニター計画策定 	<p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年11月に販売開始 1,870円の価格で、モイスチャージェル・ミストを約5,400個販売、収益納付を達成 病院歯科の患者に好評、横展開を検討中
--	--

伴走支援と補助金により

①企業間連携グループの形成から連携ビジネスの実践までを伴走支援と補助金により一貫支援

②経営資源の共有化による企業間連携ビジネスを創出

《年1回実施》 **2025年度で終了**

2025年度 交付実績	交付決定件数	交付決定額 (千円)
I 連携体制構築コース	4 (8)	13,169 (31,418)
II 連携事業実践コース	2 (6)	73,611 (108,582)
合 計	6 (14)	86,780 (140,000)

※2026年1月末現在 () 内は2024年度数値

産業財産権を活用し、海外の出願国において事業展開を行う取組を支援 《年1回実施》

2025年度 交付実績	交付決定件数	交付決定額 (千円)
合計	12 (21)	12,082(13,340)

※2026年1月末現在 () 内は2024年度数値

担当部門	企画総務部 事業成長支援担当			
予算額 (財源)	要望中・未定 (特許庁補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	-	-	1

米国関税措置の影響を乗り越えるため、新たな販路開拓や新規商品開発などの経営強化に資する事業を支援

《府R7.6補正予算》（単年度事業）

2025年度	交付実績	交付決定件数	交付決定額（千円）
	合計	94	90,002

※2026年1月末現在

賃上げの原資となる即効的な経費削減効果に資する事業を支援

《府R7.9補正予算》（単年度事業）

2025年度	交付実績	交付決定件数	交付決定額（千円）
補助金		111	258,517
奨励金		15	11,838
合計		126	270,355

※2026年1月末現在

持続的な賃上げの実現に向けた事業計画に基づき、即効性はあるものの効果が限定的なコスト削減の取組だけでなく、中長期的な収益力向上につながる経営改革・改善に向けた取組を支援《府R7.12補正予算》 (単年度事業)

- 1 補助金募集期間
2026年2月4日～3月16日
- 2 補助金概要

補助要件	(1)宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、卸売業・小売業、サービス業(他に分類されないもの)※ 事業場内最低賃金について、令和8年1月と同年2月から8月までの任意の月を比較して、4.3%以上の引き上げを実施すること (2)その他の業種※ 補助対象事業所内の給与支給総額について、令和8年1月と同年2月から8月までの任意の月を比較し、3.4%を上回る引き上げを実施すること ※日本標準産業分類に準拠
補助率	(1)中小企業者：2/3、小規模企業者：3/4 (2)中小企業者：1/2、小規模企業者：2/3
上限	500万円

担当部門	企画総務部 事業成長支援担当			
予算額 (財源)	900,000千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	1	5

⑥ 経営人材育成事業

中小企業の経営改革等をリードする人材を育成
ISOの2026年の規格改訂に関するニーズに対応し、ISO9001 規格改訂セミナーを新たに開催

<25年度 (～26年1月末まで) の主たる実績>

- ① 「事業展開力養成実践講座」 同志社ビジネススクール共同企画事業 全7回 受講：14名 (㉔17名)
- ② 「ISO9001:2015内部監査員養成講座/品質MS」 受講：第1回24名 (㉔24名) / 第2回21名 (㉔18名)
- ③ 「ISO14001:2015内部監査員養成講座/環境MS」 受講：第1回17名 (㉔21名) / 第2回16名 (㉔一)
- ④ 「ISO50001:概要講座/エネルギーMS」 2月開催
- ⑤ 新「ISO9001 規格改訂セミナー」 3月開催 * 2026年規格改訂対応

<26年度 課題・計画>

- ISO9001/ISO14001の2026年規格改訂に対応したISO講座を開催
- 中小企業の既存事業の発展、あるいは新事業の創造・展開に向け、MBA経営理論のエッセンスを実践的に学ぶ機会を提供する。

担当部門	お客様相談室			
予算額 (財源)	1,768千円 (一般財源等)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	1

生産性向上・人手不足対策事業

- ① 生産性向上に向けた勉強会等の取組への支援《府R6.2補正予算》 (単年度事業)
- ② 生産性向上に資する設備導入等への支援《府R6.2補正予算》 (単年度事業)

2025年度 交付実績	交付決定件数	交付決定額 (千円)
① 勉強会・ワークショップ事業	13	5,100
② 生産性向上モデル事業	46	69,605
合 計	59	74,705

担当部門	市場開拓支援部 販路開拓支援担当			
決算額 (財源)	79,395千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	-	1	1	1

これまでの個社支援に加え、JETRO、近畿経済産業局、京都府経済交流課、地域金融機関などとも連携のうえ、これらのニーズを的確に踏まえつつ、一層支援の間口と奥行きを拡げる

<実施結果>

商談件数 : 目標 40件 → 結果 50件 ※3月10日~13日開催のFOODEX JAPAN(東京ビックサイト)は現時点未集計
 成立件数 : 目標 8件 → 結果 調査中

<課題、評価、今後の対応>

- ・ 海外進出に対して意欲を持って取組企業が固定化 ⇒ 新たな支援先の掘り起こしが必要
- ・ 共同出展によるテスト販売後に販路開拓が継続されていない ⇒ 展示会後の継続支援が必要

<計画事業>

- ① ギフト・ショー in ソウル、国際ホテル・レストランヨーで工芸品等を共同出展
- ② 海外バイヤーを招聘し商談の場の設定
- ③ 各国の京もの常設店と連携しテスト販売を実施
- ④ 海外進出を検討している支援先の積極的な掘り起こし

担当部門	市場開拓支援部			
予算額 (財源)	4,000千円 (京都府補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	-	2	-	1

「京都を試作の一大集積地にする」こと（試作のメッカ京都）を目指す京都の試作産業の発展を支援するとともに、試作開発案件の開拓を側面支援

<実施内容>

- ・ 京都試作ネットをはじめとする、試作関連団体企業への経常支援
 - ➔ (一社)京都試作ネット（コアメンバー企業40社※）を中心とする
京都の試作関連企業への支援 ※前年度から2社増
 - ➔ 京都試作ネット定例会議 毎月1回
 - // 営業会議（営業部会）毎月1回
 - // 運営会議（運営部会）毎月1回

<2025年度の特徴的な取組>

試作ネットビジョン明確化プロジェクト
25年5月28日まで約2年間をかけて全13回に渡り、試作ネットのKGIの設定をゴールとした未来の試作ネットの在り方の検討会が、次期運営メンバーを中心に実施された。

本プロジェクトで設定されたKGI

自分で未来を創りたい挑戦者と「予期せぬ感動」を社会に共有した数

<2026年度の目標>

- ・ 試作に関連する団体・企業へ団体運営がスムーズに行われるよう側面支援を行い、府内外の行政機関とのパイプ役になるなど、マッチング支援だけでなく「伴走支援者」としての役割を強化。

担当部門	市場開拓支援部			
予算額(財源)	100千円程度(独自財源)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	1	-	-

会議名	開催日	議事
第42回評議員会(書面決議)	2025年5月21日	山田正和前評議員の辞任申し入れに伴い、小林慎一を補欠(後任)として選任すること
第43回評議員会	2025年6月23日	第1号議案 2024年度決算について承認を求める件 第2号議案 次期理事の選任について決議を求める件 第3号議案 次期監事の選任について決議を求める件
第44回評議員会(書面決議)	2025年8月18日	田中基義前監事の辞任の申し入れに伴い、川勝隆を補欠(後任)として選任すること
会議名	開催日	議事
第65回理事会(書面決議)	2025年4月28日	山田正和評議員の辞任申出に伴い小林慎一を補欠(後任)として選任すること
第66回理事会	2025年6月6日	第1号議案 2024年度事業報告について承認を求める件 第2号議案 2024年度決算について承認を求める件 第3号議案 2025年事業の新展開について決議を求める件 第4号議案 定時評議員会の開催について決議を求める件
第67回理事会(書面決議)	2025年6月23日	提案(1) 1 理事 上田輝久を代表理事に選定し、理事長とすること 2 理事 岡田博和を副理事長に選定すること 3 理事 齋藤茂を副理事長に選定すること 4 理事 樋口章憲を副理事長に選定すること 5 理事 岡本圭司を業務執行理事に選定し、専務理事とすること 6 理事 上田雅人を業務執行理事に選定し、常務理事とすること 提案(2) 辻理前副理事長を、財団顧問に委嘱すること
第68回理事会(書面決議)	2025年7月26日	田中基義前監事の辞任の申し入れに伴い、川勝隆を補欠(後任)として選任すること

① 経営戦略会議	2026年1月9日（金） 13時40分～15時10分（90分）	会場:センター 5階 交流サロン
各機関の一体的運営を推進するため、産業支援センターに【経営戦略会議】を設置。産業支援センターの事業戦略、各機関の連携方針、施設活用方途等について検討を行う。14名参加（運営主体・京都府）。2026年度は2027年1月17日開催予定。		
② 試作産業推進会議	2026年1月9日（金） 15時20分～16時50分（90分）	会場:センター 5階 研修室
「京都を試作の一大集積地にする」こと（試作のメッカ京都）を目指し、試作産業の発展を支援する試作産業推進会議ではそのやり方、方向性等を議論し参画者との間で共有。約30名が参加。2026年度は推進会議として、京都試作ネット、京都試作センターが 国内外の顧客企業から寄せられる広範な要望に応じられるよう、マッチングの側面からの支援を強化。（運営主体・市場開拓支援部）		
③ 賀詞交歓会	2026年1月9日（金） 17時30分～19時25分（90分）	会場:リーガロイヤルホテル京都 2F
参加実績 来賓 財団役員 行政関係者43名 一般来場者159名 合計202名 京都府知事や京都市副市長のほか各種来賓、関係団体、財団と関わる企業が参加。イベントとして、ステージを実施し京都府技術顕彰大賞企業、ATVK入居企業などが登壇した。（運営主体・企画総務部） 2026年度は2027年1月12日開催予定で、プロジェクトを立ち上げ企画を実施する。		

地域資源等活用支援事業（全国中小企業振興機関協会）のスキームを利用し、財団内の他の事業とも連携して、伴走支援とビジネスマッチングによる経営計画策定とターゲット市場の開拓支援を行い、中小企業の課題や変化への対応を促進することを目的とした事業。

項目	2025年度目標数 (全国協会への目標)	2025年度実績
計画策定支援件数	50件	50件
展示会参加者数	6,900人	6,598人
マッチング数	2,345件	360件

※2026年2月現在
※他事業実績と重複

<2026年度の目標>

事業2年目となるため、部門横断的な取り組みである点を更に生かし、プロジェクト会議で情報交換を実施して結果につなげる。

- ・計画策定件数 50件
- ・展示会参加者数 7,400人
- ・マッチング件数 2,465件

担当部門	企画総務部 相談室	市場開拓支援部 イノベーション統括本部	お客様	
予算額 (財源)	18,860千円 (全国中小企業振興機関協会補助金)			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	4	4	4	1

ホームページ、メルマガ、情報誌発行により情報を発信

項目	指標	単位	2024年度実績	2025年度実績	備考
クリエイティブ京都M&Tの発行	発行部数	部/回	6,000	6,000	年1回発行
財団ホームページによる情報発信	アクセス数	ページビュー	304,972	293,542	補助事業の減(中小企業経営改革支援事業、次世代地域産業推進事業)による 2026年1月末現在
メールマガジンによる情報発信	登録者数	人(社)	12,859	12,897	週1回発行

2026年1月末現在

<2026年度の目標>

- ・伴走支援成果事例の発信を強化

担当部門	企画総務部			
予算額(財源)	1,700千円 (京都府補助金・協賛金)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	-	-	2

総務事務の課題解決（決算業務、給与業務等）と多様な働き方への対応を推進

項目	実地内容	備考
リモートワークのための基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・財団電話システムのスマートフォン化 ・スマートフォンでのスケジュール管理やメール運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・財団役職員の業務に使用する電話をスマートフォン化⇔内線に対応することにより、働く場所を選ばない環境を構築 ・Microsoft365の活用拡大
総務、経理の生産性向上	・人事管理システムのDX化	・職員情報の一元管理。人事情報の有効活用及び契約行為等の合理化
	・給与事務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員分の社会保険業務、給与計算等の外部委託化 ・各種申請、給与明細等の電子化を実施

<2026年度の目標>

- ◆総務事務が残業ゼロかつ少人数で実施できる体制づくりを推進
 - ・給与事務の電子化と標準化
 - ・新会計システムの稼働とオール財団による運用で事務を効率化
- ◆多様な働き方への対応
 - ・テレワークの試行

担当部門	企画総務部			
予算額(財源)	2,573千円 (一般財源)			
執行体制	管理職	プロパー府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	2	-	5

2023年度に策定した人材育成指針（試行）に基づき、職員のステージに合わせた研修等を実施

項目	実施内容	2025年度 開催日、参加者数、内容等
初任者研修	・初任者研修	(4/7、27名)各部門による財団事業概要の説明
	・全国中小企業振興協会（東京）	(7/15-18、1名)3泊4日 初任者等職員研修
中堅職員研修	・中小企業大学校（東京等）	10名/回
	・全国中小企業振興協会（東京等）	4名/回
	・京商ビジネススクール	7名/回
	・京都工業会主催研修	3名/回
	・近畿経済産業局主催研修	1名/回
	・経営支援員研修	61名/回
管理職研修	・京商ビジネススクール	3名/回
全体研修	・プレゼンテーション研修	伴走支援事例の共有とプレゼン力強化（発表者9名）
	・同和研修	(12/18、73名)部落解放の歴史を専門の講師が講演
	・人権研修	(1/20、69名)テーマ：アンガーマネジメント
	・健康セミナー	(11/17-12/12、WEB、56名)テーマ：実践型、体力チェック

<2026年度の目標>

- ・引き続きステージ別研修を実施
- ・2025年度の試行を踏まえた研修系の検討と確立
- ・官民交流人材の育成

担当部門	企画総務部			
予算額 (財源)	500千円（独自財源）			
執行体制	管理職	プロパー 府派遣OB	コーディネータ等	嘱託等
	1	-	-	2

基本理念 われわれは、顧客とのコミュニケーションを最も大切に、あらゆる資源の有効活用を図り、中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスを提供することにより、京都産業の発展に貢献します

「中小企業の元気づくりプロジェクト」の推進
創業・成長・事業継続等のあらゆるステージにおいて、中小企業に寄り添い元気づくりを支援します

第6次の基本方針 長引くコロナ禍や物価高騰等による経済環境の変化を乗り越え、府内中小企業のビジネスの継続・創出・変革・成長を促進するため、共感・共鳴・共創をキーワードに、現地現場主義に立ち回り伴走支援を徹底します

財団としての伴走支援
(財団職員の支援姿勢) 全職員が以下を実行し、中小企業の課題解決に努めます
・顧客が気軽に情報交換できる相手となる ・タイミングの良い情報提供 ・顧客の課題発見をサポート
・顧客と同じ目線で解決方法を検討 ・財団の各部門・企業・大学・支援機関等への丁寧な“つなぎ”

顧客向け重点サービス

京都府重点分野との連動

イノベーション創出	スタートアップ ・エコシステムの展開	事業承継
-----------	-----------------------	------

財団重点分野

ビジネスマッチング	人材確保・人材育成
-----------	-----------

伴走支援成果事例数：4年間で160件（本中計での応援隊知事表彰受賞案件が成功事例）
新規登録事業者数：4年間で3,200者（SU企業創出でのCFTの活動等が成功事例）

組織力（伴走支援体制）強化の重点施策

顧客との対話機会の確保・拡大 DX推進等（office365導入、改善委員会）	
職員育成の強化 プロパ人材育成（育成プログラム活用）	内部連携の強化 内部連絡会設置、応援隊発表会等
外部ネットワークの拡大・強化 連絡会推進（成功事例：発明協会との連絡会）	働きやすい職場環境づくり 在宅、育休対応、女性活用等

取組事例数：4年間で80件（各部2件/年の改善活動を創出）
（本中計での職場改善プロジェクト等が成功事例）

顧客向け 重点サービス	目標	◆伴走支援成果事例数 : 4年間で160件
	実績	2026年2月末（2年目） : 80件（進捗率50%）
顧客向け 重点サービス	目標	◆CIS新規登録事業者数 : 4年間で3,200件
	実績	2026年2月末（2年目） : 1,874件（進捗率55%）
組織力 (伴走支援体制) 強化の重点施策	目標	◆改善取組事例数 : 4年間で80件
	実績	2026年2月末（2年目） : 68件（進捗率83%）

2025年度 公益財団法人京都産業21 支援成果事例一覧（1/5）

番号	部署	担当者	支援タイトル	会社名
1	市場開拓支援部	浦出部長	主要取引先との価格交渉により経営危機の回避に繋がった支援事例	京都シルク化工
2	イノベーション推進部	清水主任	放射冷却素材「SPACECOOL」のさらなる進化と導入拡大に向けた補助金・マッチング支援	SPACECOOL株式会社
3	けいはんな支所	木原主任	新規事業の実証から実用化へ～デジタルツインを活用した新たな鑑定方法～	キルアフィルム株式会社
4	お客様相談室	井口主任	飲食店出店を目指す新規事業の取り組みを支援	株式会社アンフィニ
5	市場開拓支援部	松井主任	配管整備現場の課題解決から始まった新製品事業化の伴走支援	株式会社山谷設備
6	イノベーション推進部	田島主事	総勢10名を巻き込み支援中 創業195年 西京白味噌の食文化継承のための生産性向上と高付加価値の同時実現プロジェクト	株式会社本田味噌本店
7	事業継続・創生支援センター	東主事	プロフェッショナル人材活用で京都の伝統染め物「手捺染」の販路拡大に挑む	有限会社鷺野染工場
8	イノベーション推進部	勝山主幹	世界初、放射線の可視化技術をビジネスへ繋げるために	エルライ株式会社
9	お客様相談室	柴田主任	創業当初から財団支援ツールを活用いただき、成長企業へ～中・長期的に支援機関・財団全体で経営をサポート～	ホロバイオ株式会社
10	市場開拓支援部	別所主事	若手女性社員のアイデアを形に～新分野への新たな挑戦をサポート～	西田製函株式会社

2025年度 公益財団法人京都産業21 支援成果事例一覧（2/5）

番号	部署	担当者	支援タイトル	会社名
11	市場開拓支援部	別所主事	関西・四国合同広域商談会きっかけで繋がる新たなあつせん	田中精工株式会社
12	市場開拓支援部	加藤主事	韓国バイヤーとの繋がり～さらなる取引の活発化へ～	株式会社木村桜土堂
13	イノベーション推進部	鹿野主事	補助事業の採択により、食における災害関連死防止の啓蒙活動を本格実施	はなすたべるくらす舎
14	市場開拓支援部	野口主任	専門家と連携したきめ細かな伴走支援により初の展示会出展をサポート	エースメタル株式会社
15	お客様相談室	加賀谷相談員	副業人材の活用による京のふんわりシフォンケーキの首都圏催事とECでの売上拡大の試み	有限会社豊和食産
16	事業継続・創生支援センター	櫻井コーディネータ	創業事業からの転換。事業の選択と集中を実現するためのM&A支援	株式会社植木屋松正
17	事業継続・創生支援センター	櫻井コーディネータ	同一地域内の異業種による後継者不在事業者支援	霜尾新聞舗
18	よろず支援拠点	奥田コーディネータ	突然の承継危機を克服、老舗のV字回復ストーリー	菊水食品株式会社
19	よろず支援拠点	高橋コーディネータ	手彫り職人が拓く新展開、クラフト部門の成長で売上114%増	株式会社森田印房
20	よろず支援拠点	西村コーディネータ	スマートファクトリーの実現を目指した、先進的DX導入の支援	川十株式会社

2025年度 公益財団法人京都産業21 支援成果事例一覧 (3/5)

番号	部署	担当者	支援タイトル	会社名
21	よろず支援拠点	増田コーディネータ	京都発、世界へ羽ばたくブランドを創る。集客を動かすのは写真の力。	株式会社京でん
22	イノベーション推進部	小島コーディネータ	「高齢者嚙下困難者向け対応」の商品開発等に伴う建屋の工事および設備導入	株式会社青木光悦堂
23	イノベーション推進部	西田コーディネータ	京都産業21が行う各種スタートアップ企業支援メニューの活用	株式会社MOXY
24	イノベーション推進部	木内コーディネータ	R6年度京都エコノミック・ガーデニング支援強化に絡め、宇治市「まちづくり・景観条例」の認可を経て、目処を立てられた。	株式会社東山
25	市場開拓支援部	栗下コーディネータ	海外委託生産が困難になり、「世の中に役立つ製品だから生産終了にしたくない」と言う想いに応え可能な限り寄り添った支援	バイコロ技研
26	イノベーション推進部	橋詰コーディネータ	医療文書AIサービス『みんなの地域連携室®』のブラッシュアップ	エニシア株式会社
27	イノベーション推進部	勝山主幹	「京柚」開発支援 - 地域資源を活用し、持続可能な農業へ	株式会社七十二候
28	イノベーション推進部	清水主任	財団自身の導入実績をレファレンスとした、京都定着と信頼性向上支援	レジリエント株式会社
29	イノベーション推進部	鳥羽コーディネータ	60年以上使用した老朽製鉛釜の復旧作戦	株式会社山梨製鉛
30	イノベーション推進部	田中主事・橋詰コーディネータ	X線遮蔽・防護フィルムシート素材の開発に向けて	中島工業株式会社

2025年度 公益財団法人京都産業21 支援成果事例一覧 (4/5)

番号	部署	担当者	支援タイトル	会社名
31	イノベーション推進部	田島主事	京都産業21の支援メニュー活用による事業計画促進支援	Blisxia株式会社
32	けいはんな支所	木原主任	世界初！有機フリー凍結保存液と培地の販路拡大	ソラリスバイオ株式会社
33	市場開拓支援部	加藤主事	BtoB市場への本格的な参入	東洋ケース株式会社
34	市場開拓支援部	松井主任	ライト付き歯ブラシホルダー作成支援	株式会社リバース・フィット・デザイン
35	市場開拓支援部	福井中小企業特別相談員	環境測定表示装置の故障修理案件	共進電機株式会社
36	市場開拓支援部	別所主事	マッチング～展示会出展で新規販路開拓をコーディネート	株式会社中川パッケージ
37	市場開拓支援部	野口主任	内製化・自走化の伴走支援	太陽機械工業株式会社
38	お客様相談室	加賀谷中小企業特別相談員	健康志向型ラーメンのフランチャイズ展開に向けた事業計画立案支援	株式会社ムシロジックホールディングス
39	お客様相談室	柴田主任	代表不在の危機から事業継続へ、前に進んだ企業の歩み	有限会社美住電線商会
40	事業継続・支援センター	東主事	副業人材の活用で店舗の企画運営とスタッフエンゲージメントの向上を図る	株式会社西川貞三郎商店

2025年度 公益財団法人京都産業 2 1 支援成果事例一覧 (5/5)

番号	部署	担当者	支援タイトル	会社名
41	北部支援センター	梅田主幹	現場改善ワークショップ（デジタル活用）の取組み	株式会社テラシマ精機
42	北部支援センター	梅田主幹	現場改善ワークショップ（デジタル活用）の取組み	牛田機工株式会社
43	北部支援センター	梅田主幹	「スマートファクトリー構想」実現の取組について	養父織物

2025年度 公益財団法人京都産業 2 1 業務改善一覧 (1/3)

No.	部門	内容	担当者
1	企画総務部	会議やセミナーの議事録等の時間短縮に貢献	村上業務推進役
2	企画総務部	職員の個人情報が外に出るのを少しでも軽減できれば	村上業務推進役
3	企画総務部	情報共有会議の見直しによる企業訪問時間の確保・拡大	後藤派遣職員
4	企画総務部	勤怠システム担当者の配置による業務の分散化	久世派遣職員
5	企画総務部	定型集計業務のExcel機能を活用した自動化による業務改善①	岡本調査役
6	企画総務部	定型集計業務のExcel機能を活用した自動化による業務改善②	岡本調査役
7	企画総務部	「財団内通知」「マニュアル類」フォルダの利用	大玉部長
8	企画総務部	新会計システムの利用による業務効率化 経過勘定システム	可畑参事
9	企画総務部	新会計システムの利用による業務効率化 エクセルプラグイン	可畑参事
10	企画総務部	カラー印刷の削減について	大玉部長

2025年度 公益財団法人京都産業 2 1 業務改善一覧 (2/3)

No.	部門	内容	担当者
11	企画総務部	給与計算業務 外部委託	柏原主事
12	企画総務部	年末調整業務の外部委託および電子化	柏原主事
13	企画総務部	ハローワーク・社会保険等 申請業務の電子化	柏原主事
14	市場開拓支援部	ビジネス交流フェアの本格的なプロジェクト制の運営	浦出部長
15	市場開拓支援部	京都ものづくり中小企業景況調査に係る調査手法の改善	藤山参事
16	イノベーション推進部	取組事業の見える化による部内事業の把握・共有の深化	田中連携推進役
17	イノベーション推進部	自己紹介シート～えがおをつなぐパスポート～作成・活用	田中連携推進役
18	雇用創出センター	地域活性化雇用創造プロジェクトコーディネータ会議の開催	井上センター長
19	けいはんな支所	KICK事務局～KICK警備・設備との情報共有	桶谷支所長
20	中小企業ワンストップ相談センター	中小企業ワンストップ相談センター ワンフロア化による効果	安東業務推進役

2025年度 公益財団法人京都産業 2 1 業務改善一覧 (3/3)

No.	部門	内容	担当者
21	中小企業ワンストップ相談センター	2階 個室型相談ブースの設置について	鈴木主幹
22	中小企業ワンストップ相談センター	職場環境改善ーガラス窓における弊害を取り除くー	東主事
23	中小企業ワンストップ相談センター	廃業相談に迅速対応する京都弁護士会との連携体制の構築	井口主任
24	北部支援センター	企業訪問用資料フォルダの作成	山内企画主任
25	北部支援センター	織金センターとの共有行事予定表	福岡センター長
26	京都経済センター	「本日の会議室案内表示」のデジタル化等を通じた業務改善	吉田業務推進役
27	京都経済センター	施設管理等日報の見直しを通じた問題事例等の抽出・収集及びマニユアル化	山本業務推進役

設立 : 2001年4月1日 基本財産 : 2億1千万円

評議員 : 7名

役員 : 理事長 1名、副理事長 3名、専務理事 1名、常務理事 1名、理事 12名、監事 2名

職員 : 137名

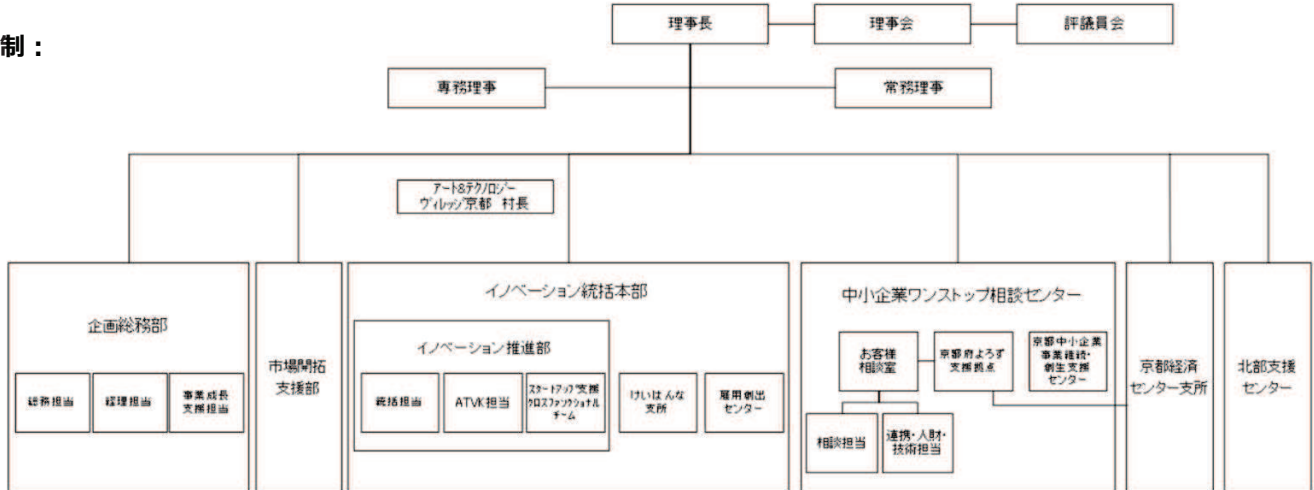
<内訳>

①常勤職員数 48名【プロパー 18名、府派遣11名、府OB10名、財団OB 3名、民間出向 3名、市町村研修生派遣 3名】

②嘱託・派遣 41名 ③相談員・専門員 6名 ④ビジネス・スーパーバイザー 1名 ⑤コーディネータ等 39名

ATVK村長 プロジェクトディレクタ

組織体制 :



イベント表（個別事業一覧） 2025年度事業実績

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
I ワ ン ス ト ッ プ サ ー ビ ス	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.7 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	WEB広告ごはじめ 知識編 講師：井上 淳コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.8 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	飲食店の創業 講師：奥田 謙一コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.10 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	審査員が共感する申請書・プレゼンの工夫 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.14 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	個人情報取扱の基本 講師：松浦 由加子コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.15 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	グッと伝わる写真の撮り方 講師：増田 えみコーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.17 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	業務委託契約書の 見方・つくり方 講師：大久保 享コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	4.25 (金) 14:00-16:00	5階第4会議室	初めての採用でも大丈夫！小さな会社のための人材獲得戦略 講師：佐藤 智美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.7 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	審査員が共感する申請書・プレゼンの工夫 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.12 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	2025年度売上計画の作り方 講師：三木 壽コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.13 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	Webサイト活用セミナー 講師：山内 孝典コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.14 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	もっと伝わる動画にする方法 講師：増田 えみコーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.15 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	モノづくり企業の原価計算のやり方 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.21 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	経営者必見！ 売上上げ実現の助成金活用セミナー 講師：佐藤 智美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.22 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	価格転嫁実現のための交渉準備と実践 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	5.26 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	問題社員への対処法 講師：松浦 由加子コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	6.10 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	一眼レフで伝わる写真を撮る方法 講師：増田 えみコーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	6.11 (水) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よ交流サロン「AI活用でSNS投稿を楽にしよう」 講師：高橋 好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	6.23 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	売れるチラシ作り講座 講師：佐藤 智美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	6.24 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	初めてのGoogleビジネス プロフィール活用講座 講師：山内 孝典コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.3 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	商品の良さが伝わる写真とは何か？ 講師：増田 えみコーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.7 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	「作った」けど「活用できていない」ホームページの改善とリスクの把握 講師：井上 淳コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.9 (水) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よ交流サロン「AI活用でSNS投稿を楽にしよう」 講師：高橋 好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.10 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	モノづくり企業の原価計算のやり方 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.14 (月) 14:00-16:00	オンライン	ハラスメント対策のキホン 講師：松浦 由加子コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.16 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	価格転嫁実現のための交渉準備と実践 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.17 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	はじめての外国人雇用 講師：宗本社会保険労務士法人 代表社員 宗本 一博氏	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	7.24 (木) 14:00-15:15	オンライン	中小事業者のための事業を守るためのハラスメント対策の基本知識 講師：松浦 由加子コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	8.6 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	中小企業のための採用力強化実践セミナー 講師：京都働き方改革推進支援センター 副センター長 藤原 良恵氏	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	8.8 (金) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よ交流サロン「AI活用でSNS投稿を楽にしよう」 講師：高橋 好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	8.21 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	SNSを活用した広報戦略をつくろう 講師：高橋 好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	9.10 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	INPIT共催：ブランディング構築について 講師：INPIT京都府知財総合支援窓口 支援担当者 今井由喜夫 氏 高橋好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	9.11 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	第4回（予定）省力化投資補助金（一般型）事業計画策定のポイント 講師：三木 壽コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	9.12 (金) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よ交流サロン「クラウド会計で経理を楽にしよう」 講師：瀬上 直人コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	9.18 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	売れるチラシ作り講座 講師：佐藤 智美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	10/2 (木) 14:00-17:00	舞鶴市商工観光センター	お料理・メニューの撮影をするときに シズル感のある写真の撮り方 講師：増田 えみコーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	10/8 (水) 14:00-16:00	5階第4会議室	INPIT共催：商品開発と知財権による保護方法 講師：INPIT京都府知財総合支援窓口 支援担当者 中里 兼次 氏 高橋 好美コーディネーター	
3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	10/14 (火) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よ交流サロン「WEBサイトをもっと活用しよう！」 講師：山内 孝典コーディネーター		

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
I ワ ン ス ト ッ プ サ ー ビ ス	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/6 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	第4回省力化投資補助金（一般型）事業計画策定のポイント 講師：三木 壽コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/10 (月) 14:00-16:00	5階第4会議室	労保連京都支部共催：ChatGPTで創業を加速化 創業者のためのAI実践セミナー 講師：フジワラ労務コンサルタントサービス 代表 藤原 良憲氏	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/11 (火) 14:00-16:30	5階第4会議室	京よろ交流サロン「WEBサイトをもっと活用しよう！」 講師：山内 孝典コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/13 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	原価計算を経営に生かしたい製造業の方へ モノづくり企業の原価計算のやり方 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/18 (火) 14:00-16:00	5階第4会議室	価格転嫁で経営危機を克服したい企業の経営者様へ 価格転嫁実現のための交渉準備と実践 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/19 (水) 14:30-16:30	5階第4会議室	取引開始時の契約に関する基礎知識を整理！ 取引に関する契約の基礎知識～失敗しない契約の結び方 押さえておきたいポイント～ 講師：INPIT京都府知財総合支援窓口 支援担当者 吉川 昭男 氏 INPIT京都府知財総合支援窓口 登録専門家 草地 邦晴 氏	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	11/20 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	プレゼンテーションの基礎講座「よいプレゼンのポイントと、プレゼン資料の基本」 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	12.18 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	～ゼロから始める経営者のためのChatGPT活用法－基礎編～ 講師：山内 孝典コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	1.15 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	～ゼロから始める経営者のためのChatGPT活用法－応用編～ 講師：山内 孝典コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	1.29 (木) 14:00-16:00	5階第4会議室	第5回省力化投資補助金（一般型）事業計画策定のポイント 講師：三木 壽コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点セミナー	2.4 (水) 15:30-17:00	オンライン	なぜ応募がこない!?明日から使える求人広告の勝ちパターン 講師：川中 一樹コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	2.19 (木) 13:30-17:00	舞鶴市商工観光センター	～オンラインでの販売を始めよう！～ 初めてのECサイト活用法 講師：高橋 好美コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点セミナー	2.20 (金) 15:30-17:00	オンライン	「知名度がない」は、理由にならない。 選ばれる企業が実践する新卒採用7つのポイント 講師：川中 一樹コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	3.6 (金) 14:00-16:00	5階第4会議室	労保連京都支部連携事業：創業予定・小規模事業者の方必見！！“知らない”と困る”労務・労働保険セミナー 講師：ADR 社会保険労務士法人代表社員 Uplus合同会社代表社員 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部長 上田篤史氏	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点ミニセミナー	3.18 (水) 13:00-16:00	5階研修室	公正取引委員会共催事業：価格転嫁と取適法で経営危機を克服したい企業の経営者様へ 価格転嫁実現のための交渉準備と実践、及び中小受託取引適正化法（取適法）セミナー 講師：西村 一弘コーディネーター	
	3	京都府よろず支援拠点	よろず支援拠点セミナー	3.19 (木) 15:30-17:00	オンライン	中小企業が“勝てる”中途採用の7つのポイント 講師：川中 一樹コーディネーター	
	3	お客様相談室	ISO9001:2015内部監査員養成講座/品質マネジメントシステム	第1回 6.9-10 (月・火) 9:30～16:30 第2回 9.16-17 (火・水) 9:30～16:30	京都経済センター 貸会議室 6-E 京都経済センター 貸会議室 4-F	中小企業の経営者、管理者、品質保証担当者、内部監査員候補者等を対象とする品質マネジメントシステムの内部監査員養成講座 講師 (株)地域環境システム研究所 代表取締役 岸孝雄氏	24名 21名
	3	お客様相談室	ISO14001:2015内部監査員養成講座/環境マネジメントシステム	第1回 8.4-5 (月・火) 9:30～16:30 第2回 2026年 1.14-15 (水・木) 9:30～16:30	京都経済センター 貸会議室 4-F 京都経済センター 貸会議室 4-F	中小企業の経営者、管理者、品質保証担当者、内部監査員候補者等を対象とする環境マネジメントシステムの内部監査員養成講座 講師 (株)地域環境システム研究所 代表取締役 岸孝雄氏	17名 16名
	3	お客様相談室	ISO50001:概要講座/エネルギーマネジメントシステム	2026年 2.12 (木) 13:30～16:30	京都経済センター 貸会議室 3-B	中小企業の経営者、管理者、品質保証担当者、内部監査員候補者等を対象とするエネルギーマネジメントシステムの概要講座 講師 (株)地域環境システム研究所 代表取締役 岸孝雄氏	4名
	3	お客様相談室	ISO9001規格改訂セミナー	2026年 3.6 (金) 14:00～16:00	京都経済センター 貸会議室 4-B	中小企業の経営者、管理者、品質保証担当者、内部監査員候補者等を対象とする規格改訂セミナー 講師 (株)地域環境システム研究所 代表取締役 岸孝雄氏	29名
3	お客様相談室	同志社ビジネススクール共同企画事業「事業展開力養成実践講座」	2025年 10/7.14.21.28.11/4.1.25 (火) 18:00～21:10	同志社大学室町キャンパス寒梅館 2階 KMB213	中小企業が既存事業を発展、あるいは新事業を創造し展開するためのMBA手法のエッセンスを学ぶことを目的として開催する全7回の連続講座であり、現役の同志社大学大学院の4人の教授が講師 中小企業のニーズに即し、①事業戦略 [児玉俊洋教授] ②マーケティング [高広伯彦教授] ③組織づくり [井上福子教授] ④会計・財務 [野瀬義明教授] の4分野	14名	
13	市場開拓/雇用P	モノづくりフェア2025	2025年10月15日(水)～10月17日(金)	マリンメッセ福岡	京都府内のモノづくり企業の九州地方での販路開拓、新規事業分野への展開を促し、雇用を生み出すことを目的に、同種の展示会では九州最大の「モノづくり展示会」に京都ブースを構え共同出展	出展社4社 来ブース112名 (名刺交換)	
14	市場開拓	京都ビジネス交流フェア2026	2026年2月18日(水)～19日(木)	京都パルスプラザ	京都府内ものづくり中小企業等の新規取引先や連携先の発掘の場となる、BtoBに特化した京都最大級の展示商談会を主催	来場者6,000名 (見込)	
15	市場開拓	西日本合同広域商談会2026	2026年2月18日(水)～19日(木)	京都パルスプラザ (2階第2展示場)	発注企業(全国)と受注企業(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)の13府県の中小企業)の広域マッチング商談会を主催	発注企業171社/ 受注企業481社 (予定)	
16	市場開拓	METALEXベトナム2025	2025年10月1日(水)～3日(金)	ベトナム・ホーチミン	事業の拡大先として有望視されているベトナム経済の中心地ホーチミンにて開催の工業系国際展示会「METALEX VIETNAM」に共同出展し、各社の販路開拓等を支援	KYOTOブース 出展者3社	

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等	
Ⅱ 販路 開拓 支援	16	市場開拓	NEPCON ASIA2025	2025年11月21日(木)~25日(月)	中国・深圳	世界の最先端技術が集結する地とされている中国深圳(シンセン)にて開催される「NEPCON ASIA」に共同出展し、各社の販路開拓等を支援	KYOTOブース 出展者2社	
	16	市場開拓	IMTEX FORMING2026	2026年1月21日(水)~25日(日)	インド・バンガロール	国際的に事業の拡大先として上位に位置し、日系企業も進出を加速させているインドにおいて、府内ものづくり系企業の販路開拓・新たな事業展開等を支援	KYOTOブース 出展者6社	
	16	市場開拓	第54回国際ホテル・レストランショー	2026年2月17日(火)~20(金)	東京ビッグサイト	国内外のホテル・レストラン業を対象とした国際的な展示会に共同出展し、販路の拡大の目的で京都企業をPR	KYOTOブース 出展者8社	
	17	市場開拓	京都ものづくり中小企業景況調査 検討会議	四半期毎開催(4/18、7/15、10/15、1/20)	京都府産業支援センター 交流サロン	府内ものづくり企業を対象として、「受注」の動向についての調査を定期的(3ヶ月毎)に実施後、担当する役員間において府内景気動向の情報共有と、記者発表による情報発信内容の検討を目的として開催	市場開拓支援部・北部支援センター役員	
	41	市場開拓	(補助金)生産性向上・人手不足対策事業費補助金(勉強会・ワークショップ事業)	募集期間:3/18~4/30(グループ認定)意見聴取会:5/8 交付決定日:5/28、6/20、6/25	京都府内にて各グループ実施	京都府内に生産性向上の活動を協力して行う企業グループを形成し、生産性向上等に係る先進事例等を学び、グループ間での議論等を含む勉強会・ワークショップ等の取組を支援	申請グループ13 (128社)	
	41	市場開拓	(補助金)生産性向上・人手不足対策事業費補助金(生産性向上等モデル事業)	募集期間:結果通知日~7/4 意見聴取会:7/30 交付決定日:8/7	京都府内にて各社実施	勉強会・ワークショップ事業に参加したグループ構成企業が、生産性向上等に繋がる取組を実施することへの支援	申請46社	
	43	市場開拓	試作産業の振興	通年	京都府産業支援センター 研修室、財団会議室 他	一般社団法人京都試作ネットの運営活動の支援の他、京都試作センター株式会社と連携した取組の調整等により、京都における試作産業を振興	会員40社	
	43	市場開拓	京都試作産業推進会議	2026年1月9日(金)15:20~16:50	京都府産業支援センター 研修室	「試作」を京都の新たな産業として育成し、京都を「試作産業」の一大拠点とすることを目的に、京都試作産業推進会議委員で構成する会議体で協議し、委員に協力を要請	参加者30名	
	27	市場開拓/雇用P	京都ジョブパーク 就業・育成一貫支援マッチングフェア(京都試作ネット特別回)	2025年9月18日(木)	京都テルサ(京都ジョブパーク)	京都ジョブパーク 就業・育成一貫支援マッチングフェア 2025年度第2期プログラムにおいて、京都試作ネット会員企業による限定回を連携開催	参加企業13社 参加求職者29名 後日採用成立5件	
	27	市場開拓/雇用P	京都ビジネスフェア2026共催 求職者・学生向けイベント(展示会見学ツアー)	2026年2月18日(水)~19日(木)	ハルスプラザ 5階会議室、展示場	京都ジョブパークと連携し、求職者・学生向けに展示会見学ツアーを開催。求職者・学生が府内ものづくり企業を知り、就職先候補としてのアテンションを高める目的で実施	参加者10名(見込)	
	13	市場開拓	近畿ブロック下請問題連絡会議	2026年3月6日(金)13:00~15:00	オンライン	近畿7府県の産業支援機関がそれぞれにありません業務や商談会等について提案議題を出し合い、協議を実施	参加者15名(予定)	
	18	お客様相談室	令和7年度京都中小企業技術顕彰 表彰式	2025年11.12(水)13:00~16:30	京都府民ホール・アルティ	技術開発において成果を挙げ、京都産業の成長に貢献した府内中小企業および技術者の功績を讃えるため開催。	83名	
	Ⅲ イ ノ ベ ー シ ョ ン 推 進	20	ATVK	若手経営塾	2025年4月~2026年3月	ATVK	若手経営者の経営課題解決やビジョンの実現に向け、相互の課題発表と意見交換、先輩経営者からの助言により、リーダーとしての資質向上を図り、魅力ある企業づくりを支援する全12回の連続研修会	毎回12+5名
		21	ATVK	第3回 健康経営セミナー	2025年7月15日(火)	ATVK	「いま、企業で生かされる、子育てのちから」をテーマにフェムテック部会の取組としてセミナー実施 講師:(株)ウエダ本社 代表取締役 岡村充泰氏他	51名
		21	ATVK	寺CARE 2025 OMOIYARI & フェムテック	2025年11月3日(月)~11月9日(日)	仁和寺	フェムテック部会参加企業による女性のこころと身体に寄り添う講演や体験イベントを出展協力	1,200名
		41	ATVK	京都子ども探究博inイオンモール	2025年8月20日(水)	イオンモール京都桂川	子どもの能力開発部会プロジェクトとして、部会企画企業等によるものづくり体験、企画展示協力等を実施	1,000名
		20	ATVK	京都ビジネス交流博	2025年9月26日(金)	ATVK	オープンイノベーションに係る講演と入居企業による取組(計画含む)発表、地域企業・大学との交流会	80名
		20	ATVK	京都子ども探究博	2025年10月19日(日)	ATVK	子どもの能力開発部会プロジェクトとして、ものづくり体験ワークショップや未来創造アイデアコンテスト等を実施	1,000名
21		ATVK	ロボット搬送自動化のための実践セミナー	2026年3月5日(日)	ATVK	ロボティクス部会の取組として、自動搬送ロボットについて講演・実演(講師:(株)Keigan 専務取締役 栗本直彰氏)	30名	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	AI時代に向けたものづくり産業振興戦略フォーラム~セミコンフォーラム~	2025年6月10日	ホテルグランヴィア京都	登壇者 大阪大学名誉教授 菅沼克昭氏、NTT研究機関部門IOWN推進室長 荒金陽助氏、imecシニアバイスプレジデントLode Lauwers氏、ITRI副院長 胡竹生氏 企業ブース展示11社	201名	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	第1回京都半導体振興サロン	2025年7月23日	京都経済センター	登壇者 名古屋大学客員教授 乙木洋平氏、日清紡マイクロデバイス(株)元常務執行役員 山賀重来氏	21名	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	第2回京都半導体振興サロン	2025年8月21日	京大ナノテクノロジーハブ拠点	登壇者 京都大学大学院工学研究科教授 土屋智由氏、京都大学iCeMS解析センター 本間貴之氏、(株)New-Techプロジェクトマネージャー 永嶋浩二氏	60名	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	第3回京都半導体振興サロン	2025年8月22日	府産業支援センター交流サロン	登壇者 SEMIジャパン カスタマーサービス部シニアマネージャー金子直樹氏、(株)牧野フライス製作所カスタマーサポート部マネージャー 中川裕也氏	22名	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	SEMICON Taiwan	2025/9/10~2025/9/12	台湾口 TaiNEX 1&2	府内企業6社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	-	
22		イノベーション推進部統括担当(半導体)	第4回京都半導体振興サロン	2025年10月17日	京都経済センター	登壇者 NTT(株)NTTデバイスイノベーションセンターセンター長 才田隆志氏	22名	
Ⅳ		22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	半導体振興セミナー(光半導体)	2025年10月29日	からすま京都ホテル	登壇者 立命館大学半導体応用研究センターセンター長 金子健太郎氏、京都大学大学院工学研究科電子工学専攻 浅野卓氏、立命館大学総合科学技術研究機構 教授 藤原康文氏、名古屋大学客員教授 乙木洋平氏	64名
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	第5回京都半導体振興サロン	2025年11月14日	府産業支援センター研修室	登壇者 日本アイ・ピー・エム(株) 高橋志津氏	21名	
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	第6回京都半導体振興サロン	2025年12月5日	京都経済センター	登壇者 株式会社SCREENセミコンダクタソリューションズ 春本 将彦氏、大阪大学産業科学研究所 教授 古澤孝弘氏	19名	
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	SEMICON JAPAN	2025/12/17~2025/12/19	東京ビッグサイト	府内企業8社とともにKYOTOパビリオンとして共同出展	-	
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	第7回京都半導体振興サロン	2026年1月22日	京都経済センター	登壇者 FLOSFIA人羅俊美氏、Silicone Catalyst園城寺啓一氏、Techno Libero中村健二氏、(株)テムザック大東流	26名	

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等	
Ⅲ イ ノ バ ー シ ヨ ン 推 進	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	冷却研究会	2026年2月2日	府産業支援センター 研修室	登壇者 三洋化成工業株式会社営業部 主任 能勢謙太氏、(株)最上インクス新事業推進部部長 福田真弘氏、(株)ジーマックス 代表取締役 高井淳治氏	37名	
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	第8回京都半導体振興サロン	2026年3月5日	ATVK交流棟	ロボット搬送自動化のための実践セミナー 登壇者 株式会社Keigan 専務取締役 栗本直彰氏	30名	
	22	イノベーション推進部統括担当(半導体)	AIで切り拓くものづくりの未来フォーラム	2026年3月16日	からすま京都ホテル	登壇者 Preferrd Networks、UBS証券(株)アナリスト安井健二氏、ヌヴォンテクノロジー(株)、テムザック(株)代表取締役議長 高木陽一氏	64名	
	23	イノベーション統括本部(フードテック)	フードテック産業振興	2026年2月6日	府産業支援センター 研修室	(共催) 食品製造プロセス改善セミナー 登壇者 Robots Town株式会社 代表取締役社長 白坂紳滋氏 ほか	参加者39名 (会場24名 オンライン15名)	
	23	イノベーション統括本部(フードテック)	フードテック産業振興	2026年2月25日	府産業支援センター 研修室	からくり改善 (R) セミナー 登壇者 (公社)日本プラントメンテナンス協会 普及推進部 部長代理 府川恵介氏	31名	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	京MED事業説明会(総会)	2025年5月30日	5F研修室	2024年度事業報告、2025年度事業計画 京MEDアドバイザー自己紹介(12名参加/全16名) メディカルジャパン共同出展企業7社からの出展報告	参加者46名 会場28名 ワライ18名	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	京都府薬事支援セミナー	2025年10月24日	京都府薬事支援センター	薬事支援センターと共催 ・がんに対するCAR-T細胞の開発と臨床応用 ・ビジネス×知財=攻める・守る	参加者103名 会場3名 ワライ100名	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	メディカルクリエーションふくしま2025	2025/10/29~ 2025/10/30	ビッグパレットふくしま	京MEDとして出展 メンバー会員8社の商材を借りて展示し、企業に代わって商材や企業の技術を紹介	名刺枚数41枚	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	病院での内覧会事業 in 三菱京都病院	2025年11月3日	三菱京都病院	病院従事者に製品のユーザー評価をしていただく展示会を三菱京都病院内で開催 今年度から、出展企業がユーザー評価を希望する病院従事者に参加いただける日に開催	出展社2社 参加者25名	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	病院での内覧会事業 in 三菱京都病院	2026年2月13日	三菱京都病院	病院従事者に製品のユーザー評価をしていただく展示会を三菱京都病院内で開催 今年度から、出展企業がユーザー評価を希望する病院従事者に参加いただける日に開催	出展社1社 参加者9名	
	24	イノベーション統括本部(京MED)	京MED交流会	2026年3月17日	からすま京都ホテル	会員の連携・交流を促進する講演会及び懇親会 登壇者 三菱京都病院 臨床工学科長 篠原智善氏、(株)日本医工研究所 代表取締役 柏野聡彦氏		
	26	イノベーション推進部	京都エンジェルコミュニティ交流会	2025年8月1日(金) 15:00~18:00 2025年12月11日(木) 15:00~18:00 2026年2月24日(火) 15:00~18:00	ホテル等	シード・アーリー期のディープテック型スタートアップとエンジェルアドバイザーとの定期的な交流会の開催	71名 58名 59名	
	25	イノベーション推進部	京都発 スター創生事業	2025年9月25日(木) 14:00~16:30	ZET-BASE KYOTO	研究開発型・社会課題解決型のスタートアップ企業が主に資金調達を目的として事業計画をプレゼンテーションするピッチ会の開催	参加者61名 会場30名 ワライ31名	
	25	イノベーション推進部	京都×TOKYO VC HUB スタートアップピッチ会	2025年6月4日(水) 16:00~18:30	TOKYO VENTURE CAPITAL HUB	大規模ベンチャーキャピタル集積拠点「TOKYO VENTURE CAPITAL HUB(TOKYO VC HUB)」と連携したスタートアップピッチ会の開催	31名	
	25	イノベーション推進部	The JSSA KYOTO Pitch & Booth	2025年5月20日(火)	京都産業会館ホール	札幌、東京、大阪、京都、福岡、沖縄で過去に50回以上開催されているスタートアップを対象としたビジネス交流会の開催	318名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクトキックオフミーティング	2025年4月21日(火) 14:00~15:30	京都経済センター 4-A会議室	今年度新たにプロジェクトを始めるに当たり、府所管課、実施機関が集まり、プロジェクトのねらいや目標値等を共有	24名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 事業推進会議	2025年4月24日(木) 13:30~14:30	ZOOM	今年度新たにプロジェクトを始めるに当たり、府所管課、実施機関が集まり、事務の進め方等協議		
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 第1回タスクフォース会議	2025年5月23日(金) 13:30~15:50	京都経済センター 4-D会議室	各事業の前年度までの分析及び今後の戦略等について協議	20名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 第2回タスクフォース会議	2025年7月10日(木) 15:00~17:05	京都経済センター 4-D会議室	各事業の進捗状況等について協議	21名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 第3回タスクフォース会議	2025年10月3日(木) 13:30~15:30	京都経済センター 4-B会議室	当プロジェクトが連携している京都府産業界リーディングゾーンの説明及び各事業の進捗状況等について協議	20名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 第4回タスクフォース会議	2025年12月22日(月) 13:30~16:00	京都経済センター 4-B会議室	各事業の進捗状況及び課題等について協議	22名	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト 第5回タスクフォース会議	2026年2月13日(金) 13:30~15:30	京都府産業支援センター 5階研修室	各事業の今年度の進捗状況及び次年度事業計画について協議	20名	
	Ⅳ 拠 点 支 援	27	北部支援センター	新入社員研修	4月7日、8日	丹後・知恵のものがたりパーク 大研修室	講師(株)いごいご 池内詠子氏 社会人としての心構えや基礎知識、企業人に求められる役割、意欲の向上、コミュニケーションのあり方を学習する。	18名 (延べ34名)
		27	北部支援センター	技能検定対策講座(マシニングセンタ1級2級実技)	6月30日、7月7日、7月14日	丹後・知恵のものがたりパーク 研修室	講師:ポリテクカレッジ 藤原力氏 マシニングセンタ加工作業における加工工程、段取り、プログラミング、切削条件、工具損傷(摩耗)等の知識習得とともに、技能検定1級・2級実技試験レベルに対応した技術・知識を習得するための研修	9名 (延べ27名)
31		北部支援センター	技能検定対策講座(機械加工1級2級学科)	7月11日、7月18日、7月25日	丹後・知恵のものがたりパーク 研修室	講師:ポリテクカレッジ 藤原力氏 (1)技能検定・機械加工1級・2級学科試験の概要 (2)共通問題の出題例及び解説 (3)加工法による出題例及び解説 (4)練習問題及び解説	6名 (延べ16名)	

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
IV 拠 点 支 援	31	北部支援センター	コーチング研修	2025年8月21日	福知山市企業交流プラザ 講堂	講師：(株) ポジカル 横山美裕 氏 コーチングの基本「聞く」を学び、部下の動かし方のコツをつかむ。怒りの仕組みを知って自分の怒りとうまく付き合う方法を学ぶ。「あの人の1on1なら受けてみたい」と思われる上司になるための行動を習得する。	36名
	31	北部支援センター	管理者育成研修	2025年8月22日	丹後・知恵のものづくりパーク 大研修室	講師：(株) ウィズネス 本田姫世 氏 組織内で部下等と指揮・管理を担う職位の者に求められる能力・役割等を踏まえたスキルアップを図る。	23名
	31	北部支援センター	DX活用セミナー（販売促進編）	2025年8月27日	北部産業創造センター	講師：京都コンピュータシステム事業協同組合 桂田佳代子 氏、龍野優也 氏、高橋幸司 氏 ガイダンスでは、生成AIの発展でハードルが非常に低くなったホームページやSNS活用とは切り離せなかったHTMLの知識や文章構築を演説。ワークショップでは各企業の具体的な課題について、実際のツールを例示しながら改善策の検討を行った。	5名
	31	北部支援センター	コミュニケーション研修	8月28日、9月4日、9月11日	丹後・知恵のものづくりパーク 大研修室	講師：(株) ポジカル 白井幹人 世代や性別、国籍の違う人などとの職場でのコミュニケーションを活性化させる基本的な認識とスキルアップを図る。	5名 (延べ14名)
	31	北部支援センター	生産管理研修	2025年9月5日	丹後・知恵のものづくりパーク	(株) テクノ経営総合研究所 エキスパートコンサルタント 岩崎行緒 氏 生産活動の基本の解説から生産性の向上と生産に直接関係のない作業の見直し、原価の基本的な構成要素と考え方、生産現場における「管理会計」の重要性について講義	23名
	31	北部支援センター	現場改善ワークショップ	9月24日、10月17日、11月18日、12月2日、12月17日	丹後・知恵のものづくりパーク他 (各企業)	指導員：京都コンピュータシステム事業協同組合(KCA) 桂田佳代子 氏、大伴英雄 氏、木村秀和 氏、桑原人司 氏 企業の課題解決のため、講師を派遣し各企業の現状に合わせた指導や意見交換、デジタル技術の活用により課題解決を目指す。	2名 (延べ9名)
	31	北部支援センター	ものづくり基礎技術習得研修	10月15日～12月2日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：上羽一博 氏、植村完 氏、大柳邦夫 氏 京都府北部地域の機械金属産業の発展に資する人材を育成・確保するため、「ものづくり（機械金属関係）」の基礎技術習得機会を提供する。	6名 (延べ146名)
	31	北部支援センター	ホームページの見せ方セミナー	2025年10月31日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京なか(株) 桂田佳代子 氏 取引先、消費者及び求職者など、自社のアピールの起点となるホームページにおける改善ポイントや未活用となる要因を学び、より良い広報手段の確立支援を目的とする。	7名
	31	北部支援センター	DX中核人材育成セミナー	2025年11月12日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京なか(株) 桂田佳代子 氏 企業内でのDX化を進めるにあたり、その中核を担う職員の育成が必要不可欠である。本研修では、企業の中で各社に合ったDX化を牽引する人材の育成を目的とする。	8名
	31	北部支援センター	中小企業のためのAI入門セミナー	2025年11月17日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都コンピュータシステム事業協同組合 桂田佳代子氏、吉本光希氏、大友英雄氏 AIを構築するための基本となる機械学習の仕組みや活用事例を学び、機械学習の基礎を習得するとともに、機械学習の機会を提供することで北部企業のAI活用の切っ掛けをつくる。	28名
	31	北部支援センター	若手社員育成研修	2025年11月21日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：(株) ウィズネス 本田姫世 氏 課題抽出から原因分析・解決策の考案、ロジカルシンキング、タイムマネジメントなど、若手から中堅社員に求められる要素を学び、業務遂行能力の向上を図る。	15名
	31	北部支援センター	DX活用セミナー（生産管理編）	2025年11月26日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都コンピュータシステム事業協同組合 吉本光希 氏、桂田佳代子 氏、桑原人司 氏、芦田昌寛 氏、大迫郁也 氏、日並正貴 氏、森安亮 氏、水島聡視 氏 オープンガイダンスにて企業内における生産管理へのデジタル技術導入と活用事例を紹介の後、各講師より展示デモを実施した。	13名
	31	北部支援センター	安全衛生管理研修	2025年12月9日	丹後・知恵のものづくりパーク	(株) テクノ経営総合研究所 岩崎行緒 氏 持続可能な企業として成長を促すため、労働者の健康と安全を保護し、労働環境の改善につなげる。 (導入) 労働災害はなぜ起こるか、(解説) 安全衛生と5S活動の基本/基礎学習と他社事例を交えて、(制度) 危険予知訓練とヒヤリ・ハット制度について、(締め) 安全衛生活動の基本	8名
	31	北部支援センター	京都経営者講座① 京都府北部アツギベンチャー道場（信用保証協会、北部信用金庫との3者共同開催）	8月25日、9月9日、9月25日、10月7日、10月24日、11月5日、11月19日	北部産業創造センター 宮津市福祉・教育総合プラザ 野田川ワークパル 舞鶴赤レンガパーク 丹後・知恵のものづくりパーク ハビネスふくちやま	講師：一財）ベンチャー型事業承継、(株) 千年治商店 山野千枝 氏、(株) 飯尾醸造 飯尾彰浩 氏、(株) WELLZ UNITED 井上大輔 氏 (株) 大滝工務店 大滝雄介 氏、(株) ローカルフラッグ 濱田裕太 氏 中小企業の後継者を対象に、家業でイノベーションを起こすためのノウハウや知識を学ぶとともに、参加者間の交流により新事業創出の意識向上を図る。	20名 (延べ93名)
	31	北部支援センター	京都経営者講座② 環境マネジメントシステム内部環境監査員養成講座（丹機共催）	2025年10月20日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：(株) 地域環境システム研究所 岸 孝雄 氏 ISO14001認定企業の環境マネジメントシステムの円滑な運用と継続的な改善を図るための人材育成を目的とする。	5名
	31	北部支援センター	京都経営者講座③ ものづくり講演会（丹機共催）	2025年11月28日	KISSUIEN Stay & Food	講師：青山 和弘 氏（政治ジャーナリスト/政治部記者・元ニュースキャスター） 世界的に地政学リスクが高まる中、日本の製造業は円安・人手不足・資源高などの課題に直面している。政治がどのように産業と地域を支え、成長の道筋を描いていくのか。製造業の今後の経営指針となる視点を提供する。	82名
	31	北部支援センター	京都経営者講座④ 品質マネジメントシステム内部品質監査員養成講座（丹機共催）	2025年12月2日	丹後・知恵のものづくりパーク	(株) 地域環境システム研究所 岸 孝雄 氏 ISO9001認定企業の品質マネジメントシステムの円滑な運用と継続的な改善を図るための人材育成を目的とする。	19名

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
IV 拠点 支援	32	北部支援センター／市場開拓／雇用P	北部商談会 「北部体感ツアー Season6」	①12月4日～5日 ②3月18日～19日	京都府北部各受注企業 ①コアマシナリー(株)、サント機(株)、(株)シオノ精工、(株)松田精工、(株)日昌製作所、ヒロセ工業(株)、(株)川口金属 ②(株)タムラ、(株)精進、(株)日昌製作所、(株)ミネヤマ精機、ヒロセ工業(株)	発注企業：(株)中村製作所 京都北部地域における販路開拓支援及び地域産業の情報発信のため、京都北部現地において府外企業との商談会+工場見学を実施	発注企業2社 受注企業7社
	31	北部支援センター	織物基礎【対面方式】 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年5月～9月	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 織物の製造に必要な知識について、実際に顕微鏡、試験機、撚糸機、織機等を利用して学んだ。	10名 (延べ27名)
	31	北部支援センター	織物基礎【オンライン方式】 (織物・機械金属振興センター共催)	6月18日 6月25日 7月2日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 織物の製造に必要な知識について、オンラインで学んだ。	6名 (延べ18名)
	31	北部支援センター	製織準備【整経】 (織物・機械金属振興センター共催)	9月3日、9月10日 9月17日、9月24日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 整経に必要な知識や、部分整経機を使用した整経の作業を学んだ。	1名 (延べ4名)
	31	北部支援センター	製織準備【たて継ぎ(手つなぎ)】 (織物・機械金属振興センター共催)	7月10日、7月11日 7月15日、7月16日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 手つなぎによる、たて継ぎの作業を学んだ。	7名 (延べ13名)
	31	北部支援センター	製織準備【たて継ぎ(機械つなぎ)】 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年11月10日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：職業訓練指導員 塩見 晋 氏 たて継ぎ機を利用した、たて継ぎの作業を学んだ。	4名
	31	北部支援センター	製織【基礎】 (織物・機械金属振興センター共催)	5月22日～7月24日 7月2日～8月28日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 製織に従事され始めた方を対象にマンツーマンで、糸の扱い方、織機の操作、織り合わせ等を学んだ。	6名 (延べ26名)
	31	北部支援センター	製織【応用】 (織物・機械金属振興センター共催)	10月30日～12月17日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 平田 好宣 氏 織機やジャカードの日頃の調整、作業環境の整備等について、質疑応答形式で学んだ。	2名 (延べ15名)
	31	北部支援センター	織物組織と紋織技術 (織物・機械金属振興センター共催)	8月26日～12月23日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 加畑 満久 氏 織物組織と機符えの関係を明確にし、紋データ作成の技術を学んだ。	6名 (延べ73名)
	31	北部支援センター	織機調整【シャトル基礎】 (織物・機械金属振興センター共催)	9月17日～11月19日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：丹後テキスタイル・テクノ会員 シャトル織機の調整方法を学んだ。	4名 (延べ40名)
	31	北部支援センター	織機調整【レピア基礎】 (織物・機械金属振興センター共催)	12月11日、12月15日 12月18日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：南藤田機料商会 藤田 和生 氏 レピア織機の調整方法を学んだ。	3名 (延べ9名)
	31	北部支援センター	現場実践研修 (織物・機械金属振興センター共催)	9月29日、9月30日 10月28日、10月30日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 講師が企業の現場に赴き、研修で学んだ内容を企業の現場で実践する手法を学んだ。	3名 (延べ6名)
	31	北部支援センター	現地セミナー (織物・機械金属振興センター共催)	2025年11月19日	株式会社エイト 他	商品開発、販路開拓、生産基盤の維持・発展に向けて、先進的に取り組んでいる企業等を見学した。	9名
	31	北部支援センター	新商品開発【AIとデジタル 捺染】 (織物・機械金属振興センター共催) (織物・機械金属振興センター共催) (織物・機械金属振興センター共催)	7月17日、7月23日 7月24日、7月31日 8月7日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 松川 恵一 氏 他 AIでプリント柄を生成し、デジタル捺染をします。また、その販売促進ツールのデザイン手法を学んだ。	6名 (延べ26名)
	31	北部支援センター	新商品開発【縫製】 (織物・機械金属振興センター共催)	10月2日～2月12日	丹後・知恵のものづくりパーク	京都府中小企業特別技術指導員 白敷 持治子 氏 ファッション製品を試作縫製する知識や手法を学んだ。	8名 (延べ101名)
	31	北部支援センター	新商品開発【ものづくり& 機器活用】 (織物・機械金属振興センター共催)	9月16日、9月17日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター職員 センターが保有する機器を利用して、新商品を開発する手法を学んだ。	4名 (延べ11名)
	31	北部支援センター	機械製図基礎講座(L E V E L 0) (織物・機械金属振興センター共催)	4月9日、4月10日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：小島技術士事務所 小島 祥平 氏、(株)ラブ・ノーツ 山田 学 氏 ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学んだ。(はじめて製図を学ぶ方対象)	12名 (延べ24名)
	31	北部支援センター	機械製図講習会(L E V E L 0→1) (織物・機械金属振興センター共催)	5月26日、5月27日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：小島技術士事務所 小島 祥平 氏、(株)ラブ・ノーツ 山田 学 氏 ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学んだ。(基本的な製図知識を有する方対象)	8名 (延べ16名)
	31	北部支援センター	機械製図講習会(L E V E L 2) (織物・機械金属振興センター共催)	6月2日、6月3日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：小島技術士事務所 小島 祥平 氏 ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学んだ。(製図が読める方・製図に携わる方対象)	6名 (延べ12名)

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
IV 拠点 支援	31	北部支援センター	3次元CAD基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	4月23日、4月24日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：ヨシカワメイブル(株) 鈴木 浩貴 氏 初心者を対象にパソコンを用いた3次元CADの操作解説と演習を行った。	4名 (延べ8名)
	31	北部支援センター	3次元CAM基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	4月16日、4月17日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：(株)Aiソリューションズ 山下 慶介 氏 初心者を対象にパソコンを用いた3次元CAMの操作解説と演習を行った。	6名 (延べ11名)
	31	北部支援センター	NCプログラム基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	4月14日、4月15日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 大柳 邦夫 氏 NC旋盤の操作を目的としたプログラムの解説と実習を行った。	6名 (延べ12名)
	31	北部支援センター	NC旋盤基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	4月18日、4月21日 4月22日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 大柳 邦夫 氏 NC旋盤の操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行った。	3名 (延べ9名)
	31	北部支援センター	NC旋盤講習会(基礎、実習) (織物・機械金属振興センター共催)	12月16日、12月23日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 神川 謙一 氏 NC旋盤の操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行った。	4名 (延べ8名)
	31	北部支援センター	NCフライス基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	4月28日、5月2日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 大柳 邦夫 氏 NCフライスの操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行った。	4名 (延べ7名)
	31	北部支援センター	3軸マシニングセンタ講習会 (基礎、実習) (織物・機械金属振興センター共催)	9月5日、9月12日 9月19日、9月26日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 藤原 力 氏 座学及び演習を用いて工作機械の基礎技術の習得を図った。	4名 (延べ16名)
	31	北部支援センター	安全衛生 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年4月25日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：一代技術士事務所 鈴木 孝 氏 安全衛生に関する基礎知識を学んだ。	8名
	31	北部支援センター	VRを活用した危険体験学習 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年4月10日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター 職員 VRを活用した危険体験・機器操作について学んだ。	3名
	31	北部支援センター	金属材料基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年4月14日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター 職員 金属材料に関する基礎知識を学んだ。	2名
	31	北部支援センター	新分野進出支援技術セミナー I (織物・機械金属振興センター共催)	2025年10月22日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：スペースNSプラン(株) 鈴木 直志氏、大井 成人氏 宇宙関連の加工に関する技術や受注にまつわる要件等を学んだ。	23名
	31	北部支援センター	新分野進出支援技術セミナー II (織物・機械金属振興センター共催)	2025年2月12日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：スペースNSプラン(株) 鈴木 直志氏 先進企業による宇宙関連の受注に関する現状解説及びマッチング情報を提供した。	集計中
	31	北部支援センター	IoT技術基礎 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年4月30日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：舞鶴電脳工作室合同会社 町田 秀和 氏 IoT技術に関する基礎知識の習得を図った。	1名
	31	北部支援センター	Excelマクロ・VBA活用セミナー(入門) (織物・機械金属振興センター共催)	12月10日、12月17日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 加畑 満久 氏 社内業務の改善を目的とした業務システムの開発について学んだ。	4名 (延べ7名)
	31	北部支援センター	Excelマクロ・VBA活用セミナー(応用) (織物・機械金属振興センター共催)	1月14日、1月21日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 加畑 満久 氏 生産システムに関する設計・開発支援の基礎知識について学んだ。	4名 (延べ8名)
	31	北部支援センター	測定工具基礎講座 (織物・機械金属振興センター共催)	2025年4月11日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府中小企業特別技術指導員 大柳 邦夫 氏 機械加工に使用する工具の使用方法等の解説と実習を行った。	12名
	31	北部支援センター	表面粗さ・輪郭形状測定機講習会(座学・実習) (織物・機械金属振興センター共催)	2025年7月3日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：株式会社ミットヨ 横島 伸明 氏 表面粗さ・輪郭形状測定の基礎的事項に関する講義と操作実習を行い測定技術の基本を学んだ。	3名
	31	北部支援センター	CNC三次元測定機講習会 (座学・実習) (織物・機械金属振興センター共催)	8月6日、8月7日 8月20日、8月21日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：近畿職業能力開発短期大学校京都校 藤原 力 氏 三次元測定機による精密測定のための基礎的事項の解説と操作実習を行い精密測定技術の基本を学んだ。	6名 (延べ24名)
	31	北部支援センター	次世代を担う人材のための化学イベント (織物・機械金属振興センター共催)	10月4日、10月5日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：京都府織物・機械金属振興センター 職員 化学について関心を深めるワークショップを行った。 (織物・機械金属振興センター120周年記念イベント内)	延べ227名
	31	北部支援センター	食品品質向上セミナー (織物・機械金属振興センター共催)	2025年12月10日	丹後・知恵のものづくりパーク	講師：学校法人大和学園京都栄養医療専門学校 石伏 穰 氏 食品を調理、加工、商品化、または、販売する際に、役立つ技術や知識を学んだ。	34名
V その 他の 産 業 振 興	33	企画総務部(事業成長)	(補助金) 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業	募集期間：4/1~5/23 意見聴取会：6/30、7/22、7/16 交付決定日：7/3、7/28	事業実施は京都府内	・プロセスの見直しによる生産性向上と高付加価値化の同時実現を目指す持続可能性の高い事業の取組を支援	Iコース：11件 IIコース：12件 IIIコース：7件
	34	企画総務部(事業成長)	(補助金) 「産学公の森」推進事業	募集期間：4/1~5/31 意見聴取会：6/26、7/17、7/23 交付決定日：7/1、8/1	事業実施は京都府内	・企業や大学等研究機関と連携し、社会課題の解決に寄与する新たなビジネス創出を図る産学公による取組を支援	Iコース：7件 IIコース：13件 IIIコース：7件
	35	企画総務部(事業成長)	(補助金) 共創型ものづくり等支援事業	募集期間：5/1~6/30 意見聴取会：8/8 交付決定日：8/20	事業実施は京都府内	・経営資源の共有化による企業間連携ビジネスの創出に向け、企業連携グループの取組を支援	Iコース：4件 IIコース：2件
	36	企画総務部(事業成長)	(補助金) 海外出願支援事業	募集期間：5/7~6/6 意見聴取会：7/4 交付決定日：7/11	海外の出願国において事業展開を行う府内中小企業者	・産業財産権を活用し、海外の出願国において事業展開を行う府内中小企業者を支援	12件

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
推進	37	企画総務部（事業成長）	（補助金）米国関税措置緊急対策事業費補助金	募集期間：7/18～8/20 意見聴取会：9/5 交付決定日：9/10	事業実施は京都府内	・米国関税措置の影響を乗り越えるため、新たな販路開拓や新規商品開発などの経営強化に資する事業に取り組む京都府内の中小企業を支援	94件
	38	企画総務部（事業成長）	（補助金等）経営基盤強化推進事業費補助金・奨励金	募集期間：10/24～11/25 意見聴取会：12/9 交付決定日：12/10	事業実施は京都府内	・賃上げの原資となる即効的な経費削減効果に資する事業に取り組む京都府内の中小企業者を支援	補助金：111件 奨励金：15件
	39	企画総務部（事業成長）	（補助金等）賃上げ実現緊急支援事業費補助金	募集期間：2/4～3/16	事業実施は京都府内	・中長期的な収益力向上につながる経営改革・改善に向けた取組を支援	
VI 総務	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年6月3日（火）～5日（木）	中小企業大学校関西校	ものづくり企業の見方と支援の進め方	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年6月25日（水）～27日（金）	中小企業大学校東京校	販売促進のためのIT活用支援	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年7月16日（水）～18日（金）	中小企業大学校東京校	ビジネスプラン策定の実践術	2名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年10月22日（水）～24日（金）	中小企業大学校東京校	製造業の新市場への参入支援	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年11月5日（水）～7日（金）	中小企業大学校東京校	経営支援員向け事業者へのアプローチ術〔NEW〕	2名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年12月16日（火）～19日（金）	中小企業大学校東京校	経営革新計画の策定支援	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年10/20日（月）、27日（月）	中小企業大学校東京校	効果的な展示会・商談会支援の進め方【10月・午後】	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年7月1日（火）、8日（火）	中小企業大学校東京校	伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力【7月・午前】	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年7月15日（火）～18日（金）	機械振興会館	2025年度「初任者職員研修」	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年9月17日（水）～19日（金）	中小企業大学校東京校	2025年度「オーダーメイド型研修」	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年11月13日（木）～14日（金）	機械振興会館	2025年度「公益法人における会計に関する研修」	2名
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2025年10月23日（木）～24日（金）	機械振興会館	債権管理研修	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2025年7月24日（木）	京都経済センター	職場を活性化するリーダー実践研修	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2025年9月4日（木）	京都経済センター	人を育て辞めさせない！中小企業の人事制度	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2025年10月23日（木）	京都経済センター	自身と部下の強みを活かすマネジメント法	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	新任研修	2025年9月3日（水）	京都経済センター	会社を変える創造的リーダーになる実践研修	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	新任研修	2025年11月19日（水）	京都経済センター	若手・中堅社員のための仕事の段取り・タイムマネジメント力向上セミナー	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2025年7月2日（水）	京都経済センター	異なる世代を巻き込むリーダーシップの極意	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2025年10月9日（木）	京都経済センター	管理職として覚えておきたい基本的労務管理	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2025年11月7日（金）	京都経済センター	「人を動かす」3つの交渉テクニック	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	若手研修	2025年11月14日（金）	京都経済センター	人と組織を動かすプレゼンテーション講座	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	若手研修	2026年1月21日（水）	京都経済センター	効果的な会議運営・ファシリテーション技術	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	京都工業会主催研修	2025年7月30日（水）、8月21日（木）、9月30日（火）、10月21日（火）、11月14日（金）	京都経済センター or Zoom	エンジニアでなくても解る『モノづくり超基本』勉強会	3名
	50	企画総務部（総務・経理）	近畿経済産業局主催研修	2025年9月5日（金）、9月～2026年1月（5回程度）、2月上旬（振り返り会）	大阪産業創造館、支援先中小企業、大阪市内会議室	組織越境型伴走支援実践研修	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年4月17日（木）	京都経済センター	中小企業支援施策と支援機関について	2名
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年4月28日（月）	京都経済センター	経営計画書策定支援	2名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年4月28日（月）	京都経済センター	小規模事業者支援現場における基礎知識	1名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年5月8日（木）	京都経済センター	財務分析（基礎）	1名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年5月30日（金）	京都経済センター	経営環境分析	1名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年5月30日（金）	京都経済センター	海外市場の基礎知識	2名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年6月11日（水）	Zoom	事業承継（基礎）	10名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年6月11日（水）	Zoom	IT化・デジタルツール活用（基礎）	6名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年6月24日（火）	Zoom	補助金申請支援	3名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年7月10日（木）	Zoom	「IT化・デジタルツール活用（発展）」	4名	
50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年7月10日（木）	Zoom	WEBマーケティング	3名	

区分	事業No.	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容	参加者等
VI 総務	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年7月18日（金）	京都経済センター	創業支援	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年7月24日（木）	Zoom	ITリテラシー向上	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年9月3日（水）	Zoom	DXを見据えた支援の進め方	4名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年9月18日（木）	Zoom	原価計算・価格転嫁	4名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年9月24日（水）	Zoom	展示会商談会での支援	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年10月3日（金）	京都経済センター	財務分析（発展）	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年11月4日（火）	Zoom	原価計算	2名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年11月4日（火）	Zoom	業種別価格転嫁	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年11月26日（水）	京都経済センター	事業承継（発展）	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2025年12月8日（月）	京都経済センター	経営力再構築伴走支援（発展）	4名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年1月23日（金）	Zoom	令和8年度中小企業税制	5名
	50	企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年2月9日（月）	Zoom	最新の税制改正と所得税の基礎知識	1名
	50	企画総務部（総務・経理）	初任者研修	2025年4月7日（月） 13:30～16:00	京都府産業支援センター 財団会議室	各部門の業務内容を新任者に向け説明	27名
	50	企画総務部（総務・経理）	理事会	2025年6月6日（金） 10:00～12:00	京都リサーチパーク 1号館G会議室	公益財団法人京都産業21の業務執行について決定するための理事会（第66回）を開催	理事14名 監事2名
	50	企画総務部（総務・経理）	支援事例プレゼン研修会	2025年10月7日（月） 13:00～17:00	京都府産業支援センター 研修室	中期経営計画に基づく伴走支援時連のプレゼン研修	発表者 11名
	50	企画総務部（総務・経理）	近畿府県中小企業支援機関連絡協議会担当者会議	2025年10月21日（金） 14:00～16:00	財団会議室	令和6年度事業報告・決算について 令和7年度事業計画・予算について 各府県からの提案議題について協議	26名
	50	企画総務部（総務・経理）	人権研修（中技セン共催）	2025年12月1日（月） 13:30～15:00	京都府産業支援センター5階研修室	自然災害と人権について	81名（うち中技セン33名）
	50	企画総務部（総務・経理）	近畿府県中小企業支援機関連絡協議会経営問題協議会	2025年12月4日（木） 14:00～17:00	京都経済センター	全国中小企業振興機関協会より報告 各府県からの提案議題について協議	21名
	50	企画総務部（総務・経理）	人権研修（中技セン共催）	2025年12月18日（木） 10:00～11:45	京都府産業支援センター5階研修室	同和問題研修「京あまべの歴史を語る2」	73名（うち中技セン1名）
	50	企画総務部（総務・経理）	広報・情報提供事業（クリエイティブ）	2026年1月6日（火）発行	広報誌	がんばる企業を「経営」と「技術」の両面からサポートする（公財）京都産業21、京都府中小企業技術センターの情報誌です。	配布先3,600件
	46	企画総務部（総務・経理）	京都府産業支援センター 経営戦略会議	2026年1月9日（金） 13:40～15:10	京都府産業支援センター 交流サロン	京都府中小企業技術センター、織物・機械金属振興センターと技術・経営両面の一体的運営を推進するため、京都府産業支援センターとして事業戦略、各機関の連携方針、施設活用用途等について検討	13名
	45	企画総務部（総務・経理）	新春賀詞交歓会	2026年1月9日（金） 17:30～19:00	リーガロイヤルホテル京都	京都産業21に関わる団体や企業をお呼びし、新年の慶びを伝えようと もに、交流を促す	202名
	50	企画総務部（総務・経理）	人権問題職場研修	2026年1月20日（火）	京都府産業支援センター5階研修室	ハラスメントの無い職場づくり～今注目されるアンガーマネジメント～	36名（うち中技セン2名）
	44	企画総務部（総務・経理）	理事会	2026年3月10日（火） 10:00～12:00	京都リサーチパーク 1号館G会議室	公益財団法人京都産業21の業務執行について決定するための理事会（第66回）を開催	理事14名 監事2名
	50	企画総務部（総務・経理）	近畿府県中小企業支援機関連絡協議会研修会	2026年3月12日（木） 10:00～12:00	オンライン	取適法・振興法について 事例発表	

イベント表（個別事業一覧） 2026年度事業計画

区分	No.	事業	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容
I ワ ン ス ト ッ プ 相 談 サ ー ビ ス	3		お客様相談室	よろず支援拠点ミニセミナー	未定	未定	各種経営課題解決セミナーを実施予定
	40		お客様相談室	ISO9001内部監査員養成講座 /品質マネジメントシステム 第1回	2026年 8/4(火)・5(水)	京都経済センター 4階 4-F 会議室	府内中小企業の経営・事業活動、新たな事業展開などにおいて必要とする専門知識等の普及や、人材育成等に寄与することを目的として、ISO9001に係る内部監査員養成講座を実施する。
	40		お客様相談室	ISO14001内部監査員養成講座 /環境マネジメントシステム 第1回	2026年 10/5(月)・6(火)	京都経済センター 4階 4-F 会議室	府内中小企業の経営・事業活動、新たな事業展開などにおいて必要とする専門知識等の普及や、人材育成等に寄与することを目的として、ISO14001に係る内部監査員養成講座を実施する。
	40		お客様相談室	ISO9001内部監査員養成講座 /品質マネジメントシステム スキルアップコース	2027年 1/13(水)・14(木)	京都経済センター 4階 4-F 会議室	府内中小企業の経営・事業活動、新たな事業展開などにおいて必要とする専門知識等の普及や、人材育成等に寄与することを目的として、ISO9001に係る内部監査員養成講座を実施する。
	40		お客様相談室	ISO9001内部監査員養成講座 /品質マネジメントシステム 第2回	2027年 2/9(火)・10(水)	京都経済センター 4階 4-F 会議室	府内中小企業の経営・事業活動、新たな事業展開などにおいて必要とする専門知識等の普及や、人材育成等に寄与することを目的として、ISO9001に係る内部監査員養成講座を実施する。
	40		お客様相談室	ISO14001内部監査員養成講座 /環境マネジメントシステム 第2回	2027年 2/25(木)・26(金)	京都経済センター 4階 4-F 会議室	府内中小企業の経営・事業活動、新たな事業展開などにおいて必要とする専門知識等の普及や、人材育成等に寄与することを目的として、ISO14001に係る内部監査員養成講座を実施する。
	40		お客様相談室	同志社ビジネススクール共同 企画事業 「事業展開力養成実践講座」	予定2026年 10/8(水)・15(水)・22(水)・29 (水)・11/5(水)・12(水)・26(水)	同志社大学室町キャンパス 寒梅館	中小企業が既存事業を発展、あるいは新事業を創造し展開するために、MBA手法のエッセンスを学ぶことを目的とし、中小企業のニーズに即した、事業戦略、マーケティング、組織づくり、会計・財務の各分野を全7回で学ぶ連続講座。
II 販 路 開 拓 支 援	13		市場開拓	川崎重工工業(株)を会場とした セミナー & 個別商談会	2026年7月頃	京都経済センター or 京都府 産業支援センター	府内ものづくり企業を集め、川崎重工工業(株)による事業と技術・生産ニーズに係るセミナーを開催した後、個別商談の形式でマッチング会を実施予定
	13		市場開拓/雇用P	府外展示会出展事業	2026年10月~12月	(未定)	京都府内ものづくり企業の販路開拓や新規事業分野への展開を促し雇用を生み出すことを目的として、近畿圏外のものづくり系展示会に京都ブースを構成して共同出展を実施
	14		市場開拓	京都ビジネス交流フェア	2027年2月18日(木)~19日 (金)	京都パレスプラザ	京都府内ものづくり中小企業等の新規取引先や連携先の発掘の場となる、BtoBに特化した京都最大級の展示商談会を主催
	15		市場開拓	西日本合同広域商談会	2027年2月18日(木)~19日 (金)	京都パレスプラザ	発注企業(全国)と受注企業(西日本の中小企業)の広域マッチング商談会を主催
	16		市場開拓	第3回ギフトショーinソウル (予定) (変更の可能性あり)	2026年11月下旬(予定)	韓国・ソウル	府内の物産系事業者のビジネスの展開先として有望な国で開催される展示会に、販路開拓を目的として複数社で共同出展を予定
	16		市場開拓	IMTEX2027(予定) (変更の可能性あり)	2027年1月頃(予定)	インド・バンガロール	府内ものづくり系企業の新たな事業展開の対象として有望な国の展示会に、主に販路開拓を目的として府内企業複数社で共同出展
	16		市場開拓	第55回国際ホテル・レストラン ショー(予定) (変更の可能性あり)	2027年2月頃(予定)	東京ビッグサイト	国内外のホテル・レストラン業を対象とした国際的な展示会等に共同出展し、販路の拡大の目的で京都企業をPR
	17		市場開拓	京都ものづくり中小企業実況 調査 検討会議	四半期毎開催(4月、7月、10 月、1月)	京都府産業支援センター 交流サロン	府内ものづくり企業を対象として、「受注」の動向についての調査を定期的(3ヶ月毎)に実施後、担当する役職員間において府内景気動向の情報共有と、記者発表による情報発信内容の検討を目的として開催
	27		市場開拓/雇用P	京都ジョブパーク 就業・育成 一貫支援マッチングフェア (京都産業21 連携実施)	2026年6月頃(第1期) 2026年9月頃(第2期) 2027年1月頃(第3期)	京都テルサ(京都ジョブ パーク)	京都ジョブパーク 就業・育成一貫支援マッチングフェアプログラムにおいて参加企業募集に協力・連携し、ものづくり企業で構成する実施回を設定開催。財団と関係性の強い企業グループ等とも連携し企画する予定
	14		市場開拓/雇用P	京都ビジネスフェア2027共催 求職者・学生向けイベント (展示会見学ツアー)	2027年2月18日(木)~19日 (金)	パレスプラザ 5階会議室、展示場	京都ジョブパーク他と連携し、求職者・学生向けに展示会見学ツアーを開催。求職者・学生が府内ものづくり企業を知り、就職先候補としてのアテンションを高める目的で実施
	13		市場開拓	近畿ブロック下請問題連絡会 議	2026年3月上旬	(未定)	近畿7府県の産業支援機関がそれぞれにあっせん業務や商談会等について提案議題を出し合い、協議を実施
	18		お客様相談室	令和8年度京都中小企業 技術顕彰 表彰式	2026年11/11(火) 13:00~16:30	京都府民ホール・ アルティ	技術開発において成果を挙げ、京都産業の成長に貢献した府内中小企業および技術者の功績を讃えるため開催。
	III イ ノ ベ ー シ ョ ン 推 進	20		ATVK	若手経営塾	年12回	ATVK
20			ATVK	京都ビジネス交流博(BtoB向 け)	2026年7月、8月頃	ATVK	入居企業の順次操業開始を踏まえ、ビジネスマッチングと協業機会の創出に向けて取組(計画含む)発表、地域企業・大学との交流会を開催
21			ATVK	京都子ども探究博	2026年10月頃	ATVK	子どもの能力開発部会プロジェクトとして、地域企業・大学の協力を得てものづくり体験ワークショップ等を実施。子どもの知的探究心を刺激し次世代人材育成を図る。
21			ATVK	フェムテック部会、ロボティ クス部会等によるセミナー・ 交流会	年10回程度	ATVK他	部会活動として、マッチングから新たなビジネスの創出・実装につながるよう、セミナー、交流会等を開催
22			イノベーション推進部	半導体関連サロン	年10回程度	京都経済センター等	半導体関連等の新しい技術や業界動向などの講演等
22			イノベーション推進部	冷却研究会マッチング会	3回程度	京都府産業支援センター研 修室等	冷却研究会登録企業の技術等に対するマッチング会
22			イノベーション推進部	半導体関連セミナー	2026年10月下旬	ホテル等	電子デバイス・光デバイスに焦点をあてた新しい今後の技術と最先端で活躍する大学の先生方の講演等
23			イノベーション推進部	食品工場向けのセミナー	年2回程度	京都府産業支援センター研 修室等	食品製造会社が課題とするテーマ(自動化へのハードルが高い、設備担当者が不在、重労働が多い等)に関するセミナーを予定。※年2回のうち、1回は、フードテックEXPOでの開催の可能性有
24			イノベーション推進部	Medtec Japan 2026	2026年4月21日~23日	東京ビッグサイト	医療関係の展示会に、京MED会員3社、会員外企業1社で共同出展
24			イノベーション推進部	京MED事業説明会	2026年5月下旬	京都府産業支援センター研 修室等	2025年度事業報告、2026年度事業計画の説明等
24			イノベーション推進部	メディカルクリエーションふ くしま2026	2026年10月1日~2日	ビッグパレットふくしま	医療関係の展示会に京MEDとして出展 会員企業から商材を借りて展示予定
24			イノベーション推進部	京都府薬事支援セミナー	2026年秋ごろ	京都府薬事支援センター	5月に開催予定の、2026年度薬事講習会実行委員会にてセミナーの内容を決定予定
24			イノベーション推進部	京MED交流会	2027年3月中旬	ホテル等	会員の連携・交流を促進するため、医療に関する講演会および懇親会を開催
24			イノベーション推進部	医療関連セミナー	2回程度	経済センター等	医療に関するセミナー等
24		イノベーション推進部	病院での内覧会事業	1~2回程度	三菱京都病院等	病院従事者に製品のユーザー評価をしていただく展示会を病院内で開催	

区分	No.	事業	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容
	26	イノベーション推進部	京都エンジェルコミュニティ交流会	年3回	ホテル等	シード・アーリー期のディープテック型スタートアップとエンジェルアドバイザーとの定期的な交流会の開催	
	25	イノベーション推進部	京都発 スター創生事業	年1回	ホテル等	研究開発型・社会課題解決型のスタートアップ企業が主に資金調達を目的として事業計画をプレゼンテーションするピッチ会の開催	
	25	イノベーション推進部	京都xTOKYO VC HUB スタートアップピッチ会	年1回	TOKYO VENTURE CAPITAL HUB	大規模ベンチャーキャピタル集積拠点「TOKYO VENTURE CAPITAL HUB (TOKYO VC HUB)」と連携したスタートアップピッチ会の開催	
Ⅲ イ ノ ベ ー シ ョ ン 推 進	25	イノベーション推進部	The JSSA KYOTO Pitch & Booth	2026年10月下旬	京都産業会館ホール	札幌、東京、大阪、京都、福岡、沖縄で過去に50回以上開催されているスタートアップを対象としたビジネス交流会の開催	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト第1回タスクフォース会議	2026年4月下旬	(未定)	前年度の実績及び当該年度事業計画等協議	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト第2回タスクフォース会議	2026年6月下旬	(未定)	各事業の進捗状況及び課題等について協議	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト第3回タスクフォース会議	2026年9月上旬	(未定)	各事業の進捗状況及び課題等について協議	
	27	雇用創出センター	京都府地域活性化雇用創造プロジェクト第4回タスクフォース会議	2026年12月下旬	(未定)	各事業の進捗状況及び課題等について協議	
Ⅳ 拠 点 支 援	31	北部支援センター	ものづくり基礎技術習得研修(実習)	2026年10月～12月	丹後・知恵のものづくりパーク	機械金属加工の基礎的な技術・技能等を学ぶ。	
	31	北部支援センター	技能検定対策講座(マシニングセンタ1級、2級実技)	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	技能検定(マシニングセンタ1・2級)の実技試験に対応した技術を学ぶ。	
	31	北部支援センター	技能検定対策講座(機械加工1級、2級学科)	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	技能検定(機械加工1・2級)の学科試験に対応した理論を学ぶ。	
	31	北部支援センター	新入社員育成研修	2026年4月6日～7日	丹後・知恵のものづくりパーク	新入社員に必要な社会人としての心構え、企業組織の一員としての基本的知識と仕事の進め方、職場マナー等を学ぶ。	
	31	北部支援センター	若手社員研修(3年目程度)	2026年9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	入社し概ね3年目の社員を対象に、仕事の段取り、時間管理を学び、戦力になることを目指す。	
	31	北部支援センター	コーチング研修(係長・G長向け)	2026年8月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	自己理解が深まることでコーチングスキルが上達し、課題の本質を見つけ、相手をゴールへと導けるリーダーに近づくことを目指す。	
	31	北部支援センター	管理者育成研修(課長級向け)	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	企業経営の維持、更なる発展に寄与するため、管理者に求められるマネジメント能力、役割、スキル等を学ぶ。	
	31	北部支援センター	コミュニケーション研修(ハラスメント研修編)	2026年8月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	職場のグループ長やリーダーなどを対象に、多様なメンバーと一緒に職場のコミュニケーションを活性化させ、職場環境・生産性の向上を支援する。	
	31	北部支援センター	キャッシュフロー研修(取適法の影響)	2026年9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	取適法の施行に伴い現預金の管理がより一層重要となった。本研修では、資金ショートしないためのキャッシュ管理について学ぶ。	
	31	北部支援センター	安全衛生管理研修(社内ルールの重要性)	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	従業員を守るための安全衛生の基本的な目的や考え方、社内ルールの重要性など現場管理についても学ぶ。	
	31	北部支援センター	生産管理研修(原価管理・品質管理)	2026年8月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	生産管理の手法を幅広く学ぶ。	
	31	北部支援センター	IT・IoT活用セミナー(生産管理・販売促進)	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	IT・IoTとは何か、何が出来るかを学び、その活用のきっかけを作る契機する。(生産管理、販売促進の2コース開催)	
	31	北部支援センター	現場改善ワークショップ(デジタル活用)	2026年8月～12月	各企業	生産性向上等を図るため、企業に専門家を派遣し、生産現場の課題抽出からデジタル等を活用した改善まで個別指導を行う。	
	31	北部支援センター/雇用P	(仮) デジタル中核人材育成セミナー	2026年11月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	企業の中で各社に合ったDX化の推進をけん引する人材を育てる。	
	31	北部支援センター/雇用P	(仮) AI入門セミナー	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	AIを構築するための基本となる機械学習の仕組みを学ぶ。	
	31	北部支援センター	織物基礎【対面方式】(織金センター共催)	2026年5～6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	織物の製造に必要な知識について、実際に顕微鏡、試験機、擦糸機、織機等を利用して学びます。	
	31	北部支援センター	織物基礎【オンライン方式】(織金センター共催)	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	織物の製造に必要な知識について、オンラインで学びます。	
	31	北部支援センター	製織準備【整経】(織金センター共催)	2026年11月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	整経に必要な知識や、部分整経機を使用した整経の作業を学びます。	
	31	北部支援センター	製織準備【たて継ぎ(手つなぎ)】(織金センター共催)	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	手つなぎによる、たて継ぎの作業を学びます。	
	31	北部支援センター	製織準備【たて継ぎ(機械つなぎ)】(織金センター共催)	2026年10月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	たて継ぎ機を利用した、たて継ぎの作業を学びます。	
	31	北部支援センター	製織【基礎】(織金センター共催)	2026年5月～9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	製織に従事され始めた方を対象にマンツーマンで、糸の扱い方、織機の操作、織り合わせ等を学びます。	
	31	北部支援センター	製織【応用】(織金センター共催)	2026年10月～11月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	織機やジャカードの日頃の調整、作業環境の整備等について、質疑応答形式で学びます。	
	31	北部支援センター	織物組織と紋織技術(織金センター共催)	2026年7月～9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	織物組織と機拵えの関係を明確にし、紋データ作成の技術を学びます。	
31	北部支援センター	織機調整【シャトル基礎】(織金センター共催)	2026年9月～10月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	シャトル織機の調整方法を学びます。		
31	北部支援センター	織機調整【レピア基礎】(織金センター共催)	2026年10月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	レピア織機の調整方法を学びます。		
31	北部支援センター	現場実践研修(織金センター共催)	2026年4月～12月頃	各企業	講師が企業の現場に赴き、研修で学んだ内容を企業の現場で実践する手法を学びます。		
31	北部支援センター	現地セミナー(織金センター共催)	2026年9月頃	調整中	商品開発、販路開拓、生産基盤の維持・発展に向けて、先進的に取り組んでいる企業等を見学します。		
31	北部支援センター	新商品開発【AIとデジタル染色】(織金センター共催)	2026年6月～7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	AIでプリント柄を生成し、デジタル染色をします。また、その販売促進ツールのデザイン手法を学びます。		
31	北部支援センター	新商品開発【縫製】(織金センター共催)	2026年7月～9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	ファッション製品を試作縫製する知識や手法を学びます。		
31	北部支援センター	新商品開発【ものづくり&機器活用】(織金センター共催)	2026年4月～12月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	センターが保有する機器を利用して、新商品を開発する手法を学びます。		

区分	No.	事業	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容
	31		北部支援センター	機械製図基礎講座（LEVEL 00） （織金センター共催） （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学びます。（はじめて製図を学ぶ方対象）
	31		北部支援センター	機械製図講習会（LEVEL 0→1） （織金センター共催）	2026年5月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学びます。（基本的な製図知識を有する方対象）
IV 拠 点 支 援	31		北部支援センター	機械製図講習会（LEVEL 2） （織金センター共催）	2026年6月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	ものづくり全般に必要な図面を読む、描くために必要な知識を学びます。（製図が読める方・製図に携わる方対象）
	31		北部支援センター	3次元CAD基礎 （織金センター共催）	2026年5月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	初心者を対象にパソコンを用いた3次元CADの操作解説と演習を行います。
	31		北部支援センター	3次元CAM基礎 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	初心者を対象にパソコンを用いた3次元CAMの操作解説と演習を行います。
	31		北部支援センター	NCプログラム基礎 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	NC旋盤の操作を目的としたプログラムの解説と実習を行います。
	31		北部支援センター	NC旋盤基礎 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	NC旋盤の操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行います。
	31		北部支援センター	NC旋盤講習会（基礎、実習） （織金センター共催）	2026年9月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	NC旋盤の操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行います。
	31		北部支援センター	NCフライス基礎 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	NCフライスの操作を目的とした機器操作等の説明と実習を行います。
	31		北部支援センター	3軸マシニングセンタ講習会（基礎） ◆新任者向け技術研修 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	座学及び演習を用いて工作機械の基礎技術の習得を図ります。
	31		北部支援センター	3軸マシニングセンタ講習会（基礎、実習） （織金センター共催）	2026年8月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	座学及び演習を用いて工作機械の基礎技術の習得を図ります。
	31		北部支援センター	鍛造基礎入門（仮） （織金センター共催）	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	鍛造加工に関する講習
	31		北部支援センター	VR体験学習 ◆新任者向け技術研修 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	VRを活用した危険体験・機器操作について学びます。
	31		北部支援センター	新分野進出支援技術セミナーI （織金センター共催）	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	宇宙関連の加工に関する技術や受注にまつわる要件等を学びます。（予定）
	31		北部支援センター	品質管理研修（仮） （織金センター共催）	2026年12月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	品質管理の基礎を学びます。
	31		北部支援センター	IoT技術基礎 ◆新任者向け技術研修 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	IoT技術に関する基礎知識の習得を図ります。
	31		北部支援センター	Excelマクロ・VBA活用セミナー（入門） （織金センター共催）	2026年12月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	社内業務の改善を目的とした業務システムの開発について学びます。
	31		北部支援センター	Excelマクロ・VBA活用セミナー（応用） （織金センター共催）	2026年12月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	生産システムに関する設計・開発支援の基礎知識について学びます。
	31		北部支援センター	測定工具基礎講座 ◆新任者向け技術研修 （織金センター共催）	2026年4月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	機械加工に使用する工具の使用法等の解説と実習を行います。
	31		北部支援センター	CNC三次元測定機講習会（座学・実習） （織金センター共催）	2026年7月頃	丹後・知恵のものづくりパーク	三次元測定機による精密測定の基礎的事項の解説と操作実習を行い精密測定技術の基本を学びます。
	31		北部支援センター／市場開拓／雇用P	北部商談会「北部体感ツアー Season7」	2026年9月～2027年3月	各企業	京都北部地域における販路開拓支援及び地域産業の情報発信のため、京都北部現地において府外企業との商談会＋工場見学を実施
V そ の 他 の 産 業 振 興 推 進	33	企画総務部（事業成長）	（補助金）京都工コミック・ガーデニング支援強化事業	2026年3月下旬	事業実施は京都府内		・自社の経営資源を活かした高付加価値化による経営基盤の強化に向けた取組を、調査分析から体制構築、実践まで一貫支援を行う。
	34	企画総務部（事業成長）	（補助金）「産学公の森」推進事業	2026年4月中旬	事業実施は京都府内		・産学公の多様な連携プロジェクトの組成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援
	35	企画総務部（事業成長）	（補助金）海外出願支援事業	2026年5月上旬	海外の出願国において事業展		・産業財産権を活用し、海外の出願国において事業展開を行う府内中小企業者を支援
	41	市場開拓	（補助金）生産性向上・人手不足対策事業費補助金（勉強会・ワークショップ事業）	募集期間：2026年3月下旬～4月下旬（グループ認定） 意見聴取会：2026年5月上旬 交付決定日：2026年6月頃	京都府内にて各グループ実施		京都府内に生産性向上の活動を協力して行う企業グループを形成し、生産性向上に係る先進事例等を学び、グループ間での議論等を含む勉強会・ワークショップ等の取組を支援
	41	市場開拓	（補助金）生産性向上・人手不足対策事業費補助金（生産性向上等モデル事業）	募集期間：結果通知日～2026年7月上旬 意見聴取会：2026年7月下旬 交付決定日：2026年8月上旬	京都府内にて各社実施		勉強会・ワークショップ事業に参加したグループ構成企業が、生産性向上等に繋がる取組を実施することへの支援
	43	市場開拓	試作産業の振興	通年	京都府産業支援センター 研修室、財団会議室 他		一般社団法人京都試作ネットの運営活動の支援の他、京都試作センター株式会社と連携した取組の調整等により、京都における試作産業を振興
	43	市場開拓	京都試作産業推進会議	2027年1月12日(火)	京都府産業支援センター 研修室（予定）		「試作」を京都の新たな産業として育成し、京都を「試作産業」の一大拠点とすることを目的に、京都試作産業推進会議委員で構成する会議体で協議し、委員に協力を要請
VI 総 務		企画総務部（総務・経理）	25周年記念事業	8月頃	（未定）		財団発足25周年を記念し、理事長と京都府知事の対談や職員表彰を予定（未定）
	44	企画総務部（総務・経理）	理事会・評議員会の運営	2026年6月5日（金） 2027年3月9日（火）	京都市リサーチパーク予定		業務執行と経営監督の最高意思決定機関として実施
	45	企画総務部（総務・経理）	新春賀詞交歓会	2027年1月12日(火)	（未定）		財団関係者、関係団体、企業等への感謝を込め、新年の挨拶として賀詞交歓会を実施
	46	企画総務部（総務・経理）	京都産業支援センター経営戦略会議	2027年1月12日(火)	京都府産業支援センター		京都府産業支援センターの事業戦略、各機関の連携方針、施設活用方途等について検討する
	48	企画総務部（総務・経理）	広報・情報提供事業 クリエイティブ京都M&T発行	2027年1月6日（水）発行	広報誌		財団が実施している多様な事業や制度をはじめ、支援事例紹介、セミナー等の講演録などを掲載
	50	企画総務部（総務・経理）	研修	2026年6月上旬	中小企業大学校関西校		ものづくり企業の見方と支援の進め方

区分	No.	事業	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年6月下旬	中小企業大学校東京校	販売促進のためのIT活用支援
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年7月中旬	中小企業大学校東京校	ビジネスプラン策定の実践術
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年10月下旬	中小企業大学校東京校	製造業の新市場への参入支援
VI 総務	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年11月上旬	中小企業大学校東京校	経営支援員向け事業者へのアプローチ術（NEW）
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年12月中旬	中小企業大学校東京校	経営革新計画の策定支援
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年10月下旬	中小企業大学校東京校	効果的な展示会・商談会支援の進め方【10月・午後】
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年7月上旬	中小企業大学校東京校	伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力【7月・午前】
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年7月中旬	機械振興会館	2025年度「初任者職員研修」
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年9月中旬	中小企業大学校東京校	2025年度「オーダーメイド型研修」
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年11月中旬	機械振興会館	2025年度「公益法人における会計に関する研修」
	50		企画総務部（総務・経理）	研修	2026年10月下旬	機械振興会館	債権管理研修
	50		企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2026年7月下旬	京都経済センター	職場を活性化するリーダー実践研修
	50		企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2026年9月上旬	京都経済センター	人を育て辞めさせない！中小企業の人事制度
	50		企画総務部（総務・経理）	管理職研修	2026年10月下旬	京都経済センター	自身と部下の強みを活かすマネジメント法
	50		企画総務部（総務・経理）	新任研修	2026年9月上旬	京都経済センター	会社を変える創造的リーダーになる実践研修
	50		企画総務部（総務・経理）	新任研修	2026年11月中旬	京都経済センター	若手・中堅社員のための仕事の段取り・タイムマネジメント力向上セミナー
	50		企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2026年7月上旬	京都経済センター	異なる世代を巻き込むリーダーシップの極意
	50		企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2026年10月上旬	京都経済センター	管理職として覚えておきたい基本的労務管理
	50		企画総務部（総務・経理）	中堅研修	2026年7月上旬	京都経済センター	「人を動かす」3つの交渉テクニック
	50		企画総務部（総務・経理）	若手研修	2026年11月中旬	京都経済センター	人と組織を動かすプレゼンテーション講座
	50		企画総務部（総務・経理）	若手研修	2027年1月下旬	京都経済センター	効果的な会議運営・ファシリテーション技術
	50		企画総務部（総務・経理）	京都工業会主催研修	2026年7月下旬、8月下旬、9月下旬、10月下旬、11月中旬	京都経済センター or Zoom	エンジニアでなくても解る『モノづくり超基本』勉強会
	50		企画総務部（総務・経理）	近畿経済産業局主催研修	2026年9月上旬、9月～2027年1月（5回程度）、2月上旬（振り返り会）	大阪産業創造館、支援先中小企業、大阪市内会議室	組織越境型伴走支援実践研修
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年4月中旬	京都経済センター	中小企業支援施策と支援機関について
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年4月下旬	京都経済センター	経営計画書策定支援
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年4月下旬	京都経済センター	小規模事業者支援現場における基礎知識
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年5月上旬	京都経済センター	財務分析（基礎）
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年5月下旬	京都経済センター	経営環境分析
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年5月下旬	京都経済センター	海外市場の基礎知識
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年6月中旬	Zoom	事業承継（基礎）
	49		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年6月中旬	Zoom	IT化・デジタルツール活用（基礎）
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年6月下旬	Zoom	補助金申請支援
	49		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年7月中旬	Zoom	「IT化・デジタルツール活用（発展）」
	49		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年7月中旬	Zoom	WEBマーケティング
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年7月中旬	京都経済センター	創業支援
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年7月下旬	Zoom	ITリテラシー向上
49		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年9月上旬	Zoom	DXを見据えた支援の進め方	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年9月中旬	Zoom	原価計算・価格転嫁	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年9月下旬	Zoom	展示会商談会での支援	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年10月上旬	京都経済センター	財務分析（発展）	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年11月上旬	Zoom	原価計算	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年11月上旬	Zoom	業種別価格転嫁	
50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年11月下旬	京都経済センター	事業承継（発展）	

区分	No.	事業	部門	イベントの名称	とき	ところ	内容
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2026年12月上旬	京都経済センター	経営力再構築伴走支援（発展）
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2027年1月下旬	Zoom	令和8年度中小企業税制
	50		企画総務部（総務・経理）	経営支援員研修	2027年2月上旬	Zoom	最新の税制改正と所得税の基礎知識